令和３年度
第２回 都島区民アンケート結果

（防災、防犯、マナー向上、広報誌・ホームページ・ＳＮＳ）

令和４年６月

大阪市都島区役所

目次

1：調査概要	
1-1：調査目的	1
1-2：調査方法	1
1-3：調査内容	2
1-4：配布・回収結果	3
1-5：調査結果の見方	4
1-6：標本誤差	4
1-7：母集団の代表性	4
2：アンケートの結果（ダイジェスト）	5
3：アンケートの結果	
3-1：防災について	
1：防災・減災の日頃からの意識	6
2：「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度	7
3：災害が起きた時の避難場所の認知度	8
4：在宅避難が困難時に避難する場所の認知度	9～12
5：災害時の備えが必要の意識	13
6：個別の災害の備えに対する意識	14
7：災害の備えの実行度	15～23
8：備えをしていない理由	24
9：助け合い（共助）の重要性	25
3-2：防犯について	
10：防犯啓発の取り組み	26
11：普段から意識して取り組む防犯対策	27
12：特殊詐欺発生状況を踏まえた啓発活動	28
3-3：マナー向上について	
13：交通事故防止の取り組み	29
14：交通安全対策推進が必要な項目	30
15：環境美化意識を高めるための啓発活動	31
16：今後、環境美化意識を高めるために必要な項目	32
17：京橋地区の路上喫煙禁止地区に対する認知度	33
18：京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識	34
3-4：広報誌・ホームページ・SNS	
19：区役所からの情報の入手先	35
20：広報誌に対する感想	36
21：広報誌のページ数	37～39
22：広報誌において都島区や区政に対して関心の認知度	40
23：区民の意見やニーズを伝える方法の認知度	41
3-5：自由意見	42

1 調査の概要

1-1.　調査目的

都島区役所では、取組の成果を定期的にチェックするため、幅広い区民の皆様の評価やご意見をお聞きしています。
今回のテーマは、「防災」、「防犯」、「マナー向上」、「広報誌・ホームページ・ＳＮＳ」です。

1-2.　調査方法

調査区域：都島区全域
調査対象：住民基本台帳および外国人登録から無作為抽出をした都島区民3,000人
回答者数：1,204人
回答率：40.1%
調査時期：令和4年2月及び令和4年3月（令和4年2月に1,500人、令和4年3月に残りの1,500人を対象に送付）
調査方法：郵送による配布・回収及び大阪市行政オンラインシステムによるアンケート
経過：都島区では、毎年度、それぞれ内容が異なる全２回の区民アンケートを実施し、各回1,500名の方にアンケートをお送りしていますが、今年度は、各回の送付先の年齢に偏りがありました。つきましては、幅広い年齢層の方からご意見をいただき回答データの信頼性を高めるため、追加調査を実施しました。

1-3. 調査内容

アンケート調査の内容は、以下の通りです。

■アンケート調査の項目

1.属性		問12	重点をおいて取り組む防犯対策
A.	性別	問13	特殊詐欺発生状況を踏まえた啓発活動
B.	年代（令和3年12月1日現在）	**4.マナー向上について**	
C.	お住まいの地域	問14	交通事故防止の取り組み
D.	現在お住まいになってからの年数	問15	交通安全対策推進が必要な項目
E.	高校生以下のお子さまの子育ての有無	問16	今後、環境美化意識を高めるために必要な項目
2.防災について		問17	今後、環境美化意識を高めるために必要な項目
問2	防災・減災の日頃からの意識	問18	京橋地区の路上喫煙禁止地区に対する認知度
問3	「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度	問19	京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識
問4	災害が起きた時の避難場所の認知度	**5.広報誌・ホームページ・SNS**	
問5	在宅避難が困難時に避難する場所の認知度	問20	区役所からの情報の入手先
問6	災害時の備えが必要の意識	問21	広報誌に対する感想
問7	個別の災害の備えに対する意識	問22	広報誌のページ数
問8	災害の備えの実行度	問23	広報誌において都島区や区政に対して関心の認知度
問9	備えをしていない理由	問24	区民の意見やニーズを伝える方法の認知度
問10 助け合い（共助）の重要性		**7.区政についての意見・感想（自由意見）**	
3.防犯について		問25	区政についての意見・感想（自由意見）
問11	防犯啓発の取り組み		

1-4.　配布・回収結果

(n=1,204)		アンケート送付数			回答者数					回答率
		男性	女性	合計	男性	女性	その他・回答しない	無回答	総計	
年代	20代以下	222	242	464	30	63	2	0	95	20.5%
	30代	232	242	474	53	107	4	1	165	34.8%
	40代	253	282	535	73	135	3	0	211	39.4%
	50代	235	225	460	72	105	0	1	178	38.7%
	60代	171	203	374	85	109	0	3	197	52.7%
	70代以上	290	403	693	162	189	1	3	355	51.2%
	無回答	0	0	0	0	0	0	3	3	－
合計		1,403	1,597	3,000	475	708	10	11	1,204	40.1%

1-5.　調査結果の見方

・回答結果の割合「%」は、小数点以下第１位を四捨五入したものです。このため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
・複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ形式）の場合、回答は選択肢の有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
・図表中の「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
・図表中の「ｎ」（サンプル数）は有効標本数（集計対象者総数）、あるいは分類別の該当対象者数を示しています。

1-6.　標本誤差

【1】　信頼区間

今回の調査は標本調査ですので、標本による測定値(調査の結果)に基づいて、母集団値を推定できます。
信頼度95%で推定した場合の信頼区間1/2幅(標本誤差)は、次の式で算出されます。

$$\text{標本誤差} = 1.96 \times \sqrt{\frac{P \times (1-P)}{n}}$$

■性別・年代別　回答比率ごとの標本誤差　（単位：%）

	回答比率(P) / 回答者数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	1,204	1.2	1.7	2.0	2.3	2.4	2.6	2.7	2.8	2.8	2.8
男性	475	2.0	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.5	4.5
女性	708	1.6	2.2	2.6	2.9	3.2	3.4	3.5	3.6	3.7	3.7
その他	10	13.5	18.6	22.1	24.8	26.8	28.4	29.6	30.4	30.8	31.0
20代以下	95	4.4	6.0	7.2	8.0	8.7	9.2	9.6	9.9	10.0	10.1
30代	165	3.3	4.6	5.4	6.1	6.6	7.0	7.3	7.5	7.6	7.6
40代	211	2.9	4.0	4.8	5.4	5.8	6.2	6.4	6.6	6.7	6.7
50代	178	3.2	4.4	5.2	5.9	6.4	6.7	7.0	7.2	7.3	7.3
60代	197	3.0	4.2	5.0	5.6	6.0	6.4	6.7	6.8	6.9	7.0
70代以上	355	2.3	3.1	3.7	4.2	4.5	4.8	5.0	5.1	5.2	5.2

例えば、問2の「防災・減災の日頃からの意識」の結果を見ると、『肯定的意見の割合』（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）は男性73%で、ここから導き出される標本誤差の数値は、表にある最も近い値(75%)の『男性』の標本誤差の数値「3.9%」です。
つまり、母集団を対象にこの調査を行なったところ、「肯定的意見の割合」の男性が73%の前後3.9%の区間内、すなわち69.1%-76.9%の区間内にあることが95%の確率で期待されるということを意味しています。

1-7.　母集団の代表性

【1】母集団の男女間・各年齢区分間の割合と比べた回答率の偏り

母集団の男女間・各年齢区分間の割合と比べた回答率の偏りをみる数値(P値)を、分散分析によって算出し、有意水準５％で検証しています。
有意水準=偏りがあるかどうかを決める基準となる確率のことで事前に設定します。
（今回は有意水準を５％で設定しています。）
※P値が有意水準５％以上であれば、回答率に偏りがあるとは言えないと判断します。
※P値が有意水準５％未満であれば、回答率に偏りがあると判断します。

■母集団の大きさ（N）　（単位：人）

	18歳～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	7,112	7,122	7,961	6,995	5,633	8,227	43,050
女性	7,521	7,413	8,069	7,234	6,171	11,558	47,966

■有効回答者数（ｎ）　（単位：人）

	18歳～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	30	53	73	72	85	162	475
女性	63	107	135	105	109	189	708

■有効回答者数の母集団の大きさに対する割合（n/Ｎ）　（単位：%）

	18歳～29歳	30代	40代	50代	60代	70代以上	合計
男性	0.42	0.74	0.92	1.03	1.51	1.97	1.10
女性	0.84	1.44	1.67	1.45	1.77	1.64	1.48

■回答率の偏りを見る数値（Ｐ値）

男女間におけるP値	6.31%
各年齢区分間におけるP値	6.93%

男女間の値 6.31%：P値が有意水準5%以上なので、回答率に偏りがあるとは言えない（有意差があるといえない）と判断します。

各年齢区分間における値 6.93%：P値が有意水準5%以上なので、回答率に偏りがあるとは言えない（有意差があるといえない）と判断します。

2 アンケートの結果（ダイジェスト）

2-1.防災について（問2～問10）

・防災・減災について日頃から“意識している”（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）人は、76%で8割弱となっている。
・「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度については、「両方知っている」が40%、「都島区防災マップは知っている」が19%、「都島区水害ハザードマップは知っている」が13%、「両方知らない」が26%となった。
・在宅避難が困難時に避難する場所の認知度については、一時避難場所を「知っている」が73%、災害時避難所が82%、広域避難場所が54%、津波避難ビルが46%と、特に災害時避難場所においては、肯定的意見「知っている」+「名前だけ知っている」が89%と約9割となっている。
・災害時の備えが必要であると“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）人は、84%で8割強となっている。

2-2.防犯ついて（問11～問13）

・防犯啓発の取り組みが防犯意識の向上につながると“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）人は、69%で約7割となっている。
・区民が重点をおく必要があると思う防犯対策は、「防犯カメラの設置（区設置）」が78%で約8割となっている。

2-3.マナー向上について（問14～問19）

・交通ルールや交通マナーの啓発活動の取り組みが交通事故防止につながっていると“感じない”（「感じない」＋「あまり感じない」）人は、55%と半数以上となっている。
・今後、どのような交通安全対策を推進していくことが必要かについては、「自転車ルール・マナー対策」が67%と7割弱となっている。
・マナー啓発等の取り組みが区民や来街者の環境美化意識の向上につながると”思う”（「思う」+「どちらかと言えば思う」）人は、93%と9割以上となっている。
・京橋地区の路上喫煙禁止地区を“知っている”（「禁止地区の範囲まで知っている」＋「知っているが範囲まではわからない」）人は、68%で約7割となっている。

2-4.広報誌・ホームページ・SNS（問20～問24）

・区役所からの情報を「区広報誌「広報みやこじま」」で入手している人は、80%で約8割となっている。
・区役所からの情報でもっと知りたい内容が、「防犯・防災」が45%、次いで「福祉」が43%、「健康」が37%の順となっている。
・意見やニーズを伝える方法を知らない人は、47%と5割弱となっている。

2-5.自由記載欄について

（「防災・防犯・マナーの向上」、「広報誌・ホームページ・SNS」）（問25）

・自由意見については、合計107件のご意見をいただきました。
内容は以下の通りとなります。

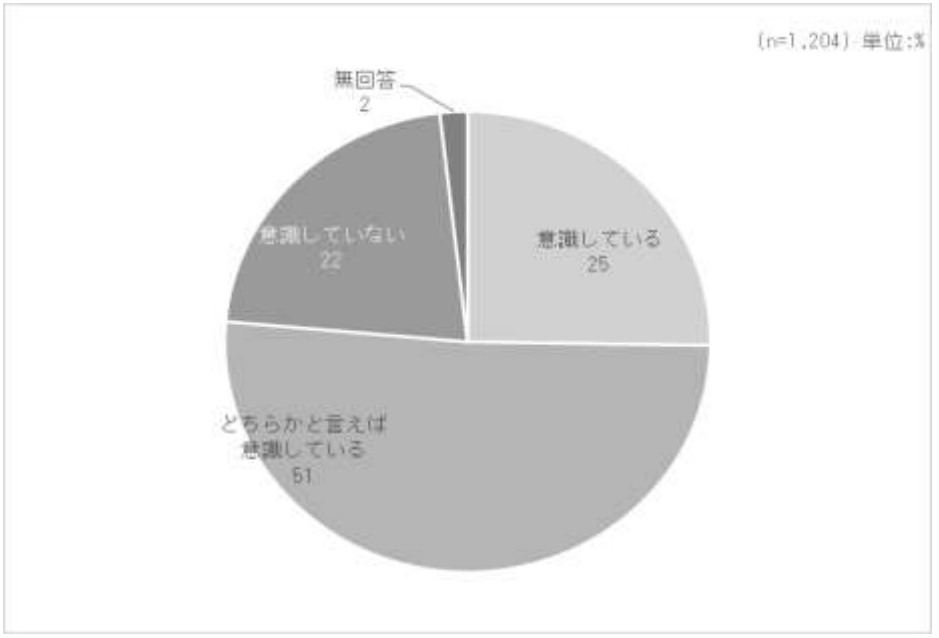
①防災・防犯・マナー向上（53件）	
②広報誌・ホームページ・SNS（22件）	
③職員の対応窓口サービスについて（6件）	
④市政区政について（15件）	
⑤区民アンケートについて（3件）	
⑥その他（8件）	合計107件

①防災・防犯・マナー向上についてのご意見が圧倒的に多く、区民の関心の高さが伺えます。その内容からは現在の都島区の課題、区民性、行政に対する要望等が顕著に現れています。

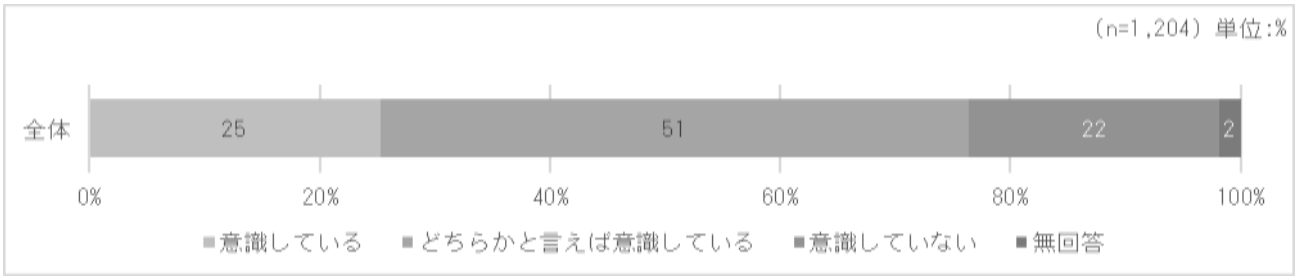
3 アンケートの結果

3-1. 防災について	
問2	日頃から、防災・減災について意識していますか。（１つだけ選んでください）

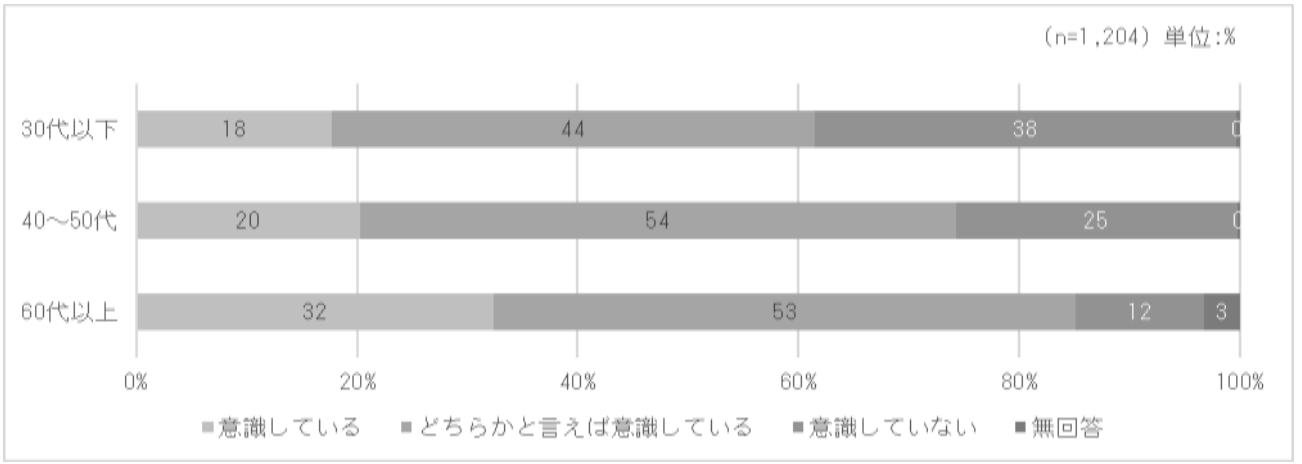
●防災・減災の日頃からの意識（単数回答）



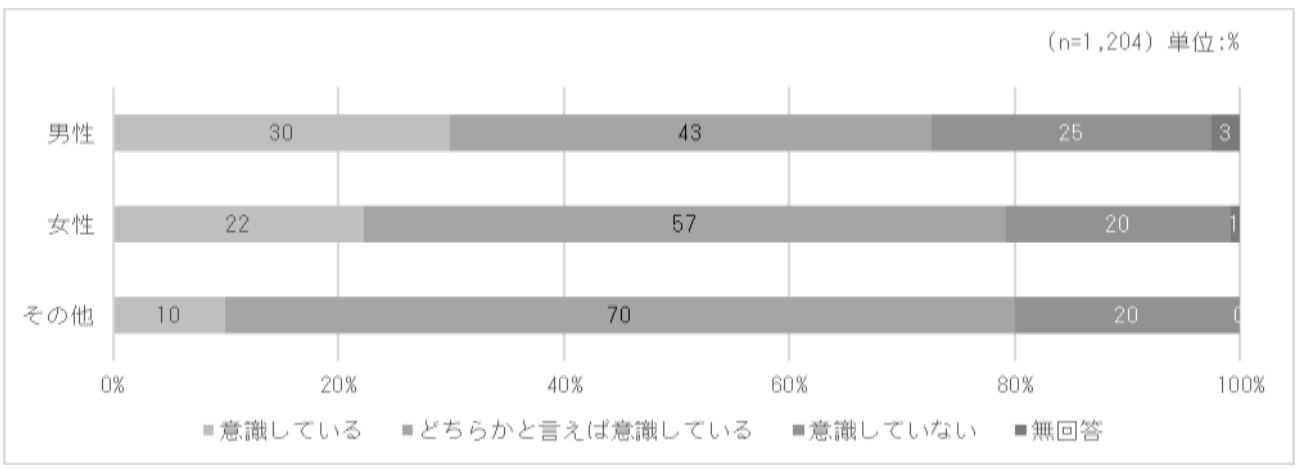
■全体



■年代別



■性別



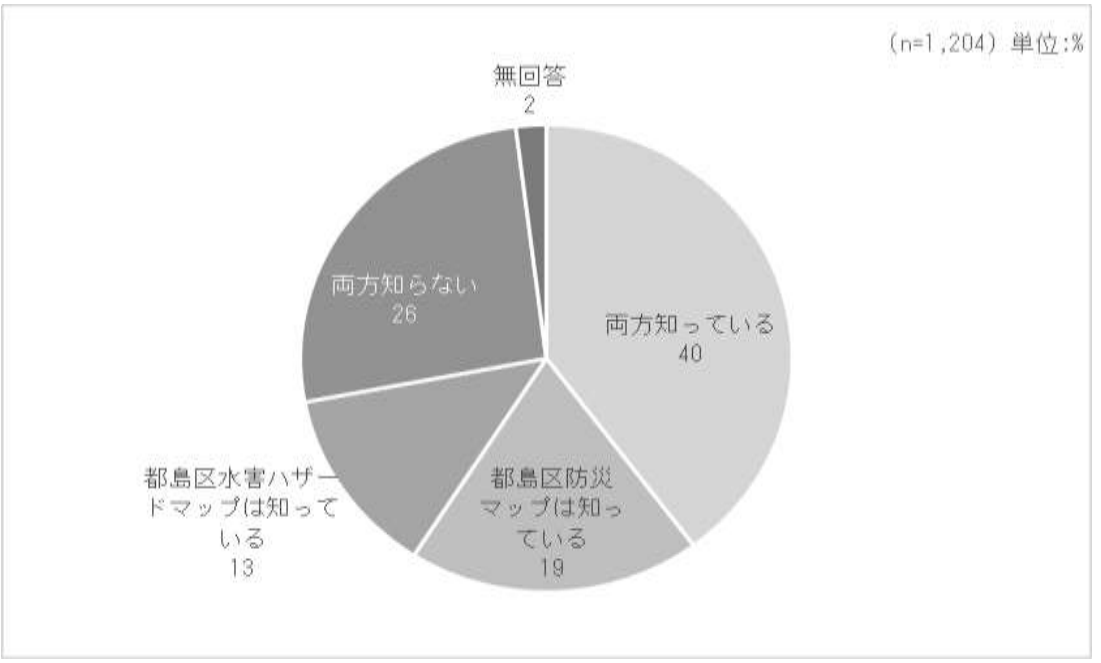
「意識している」「どちらかと言えば意識している」の合算の割合は８割弱

・防災・減災の日頃からの意識について見ると、“意識している”（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）が76%となっている。
・年代別に見ると、年代が上がるにつれて“意識している”（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）が高い傾向にある。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

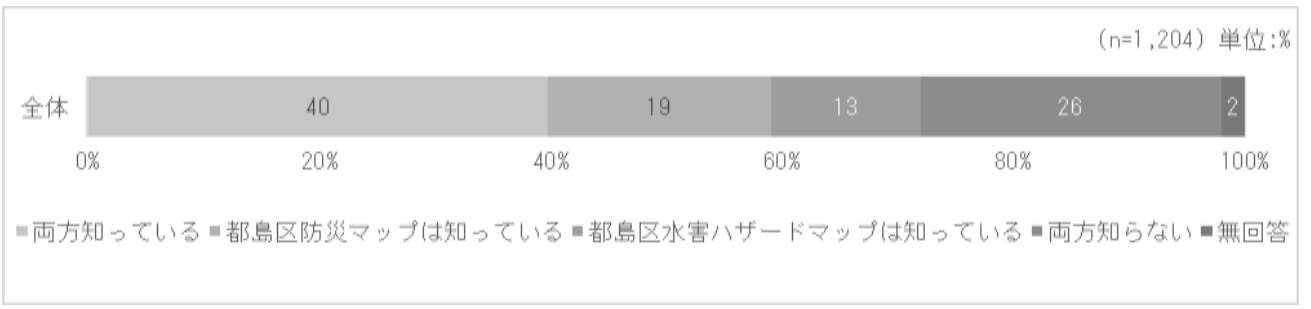
3 アンケートの結果

3-1. 防災について	
問3	避難所などを記載した「都島区防災マップ」や浸水想定を記載した「都島区水害ハザードマップ」をご存じですか。（１つだけ選んでください）

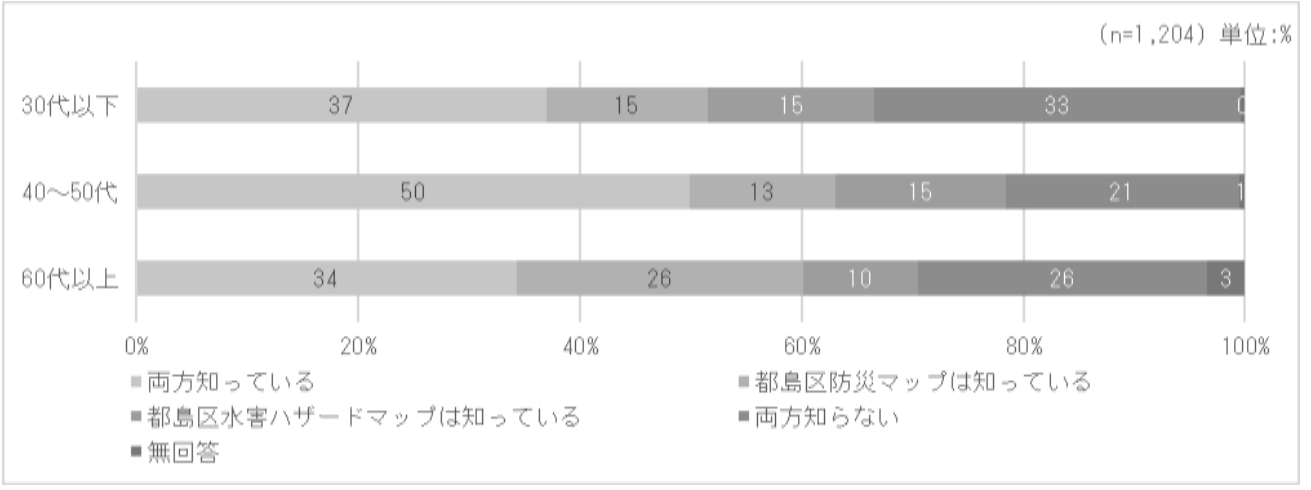
●「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度（単数回答）



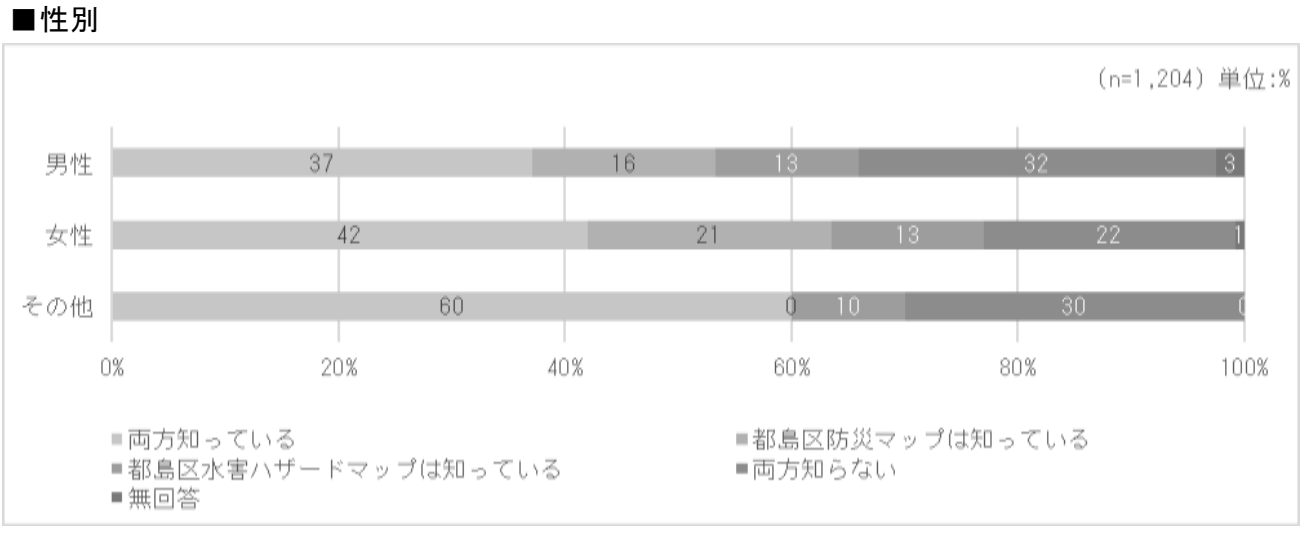
■全体



■年代別



■性別



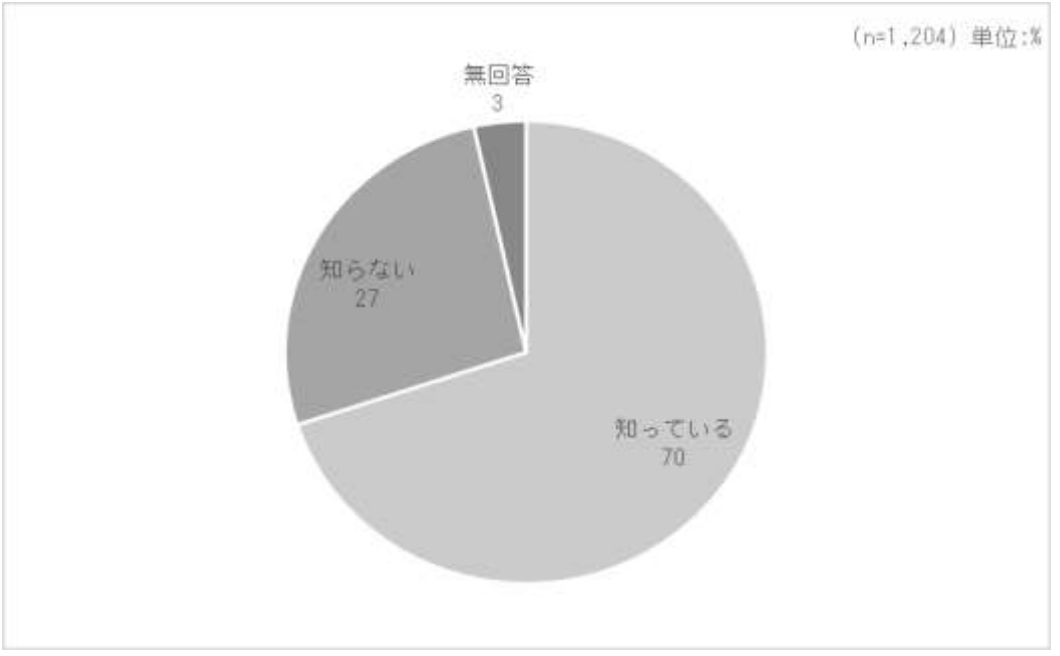
「両方知っている」の割合は約４割

・「都島区防災マップ」「都島区水害ハザードマップ」の認知度について見ると、「両方知っている」が40%と最も高く、次いで「両方知らない」が26%、「都島区防災マップは知っている」が19%の順となっている。
・年代別に見ると、「40代～50代」の「両方知っている」が50%と他の年代に比べて最も高くなっている。
・性別に見ると、『男性』の「両方知らない」が32%と、『女性』の22%より10ポイント高くなっている。

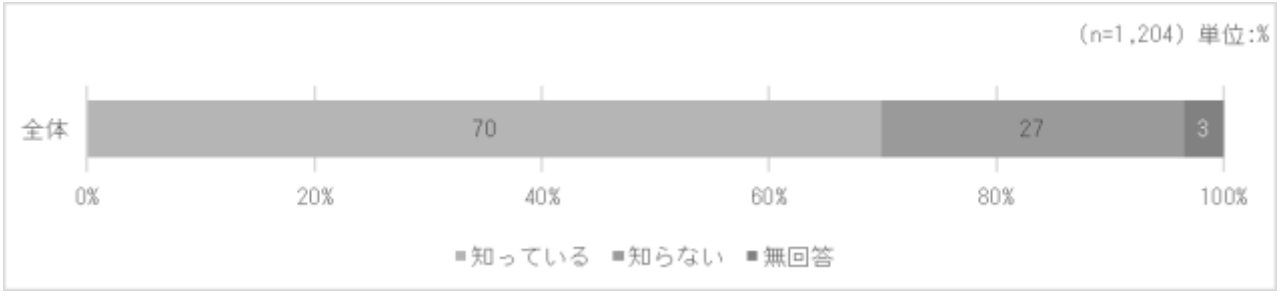
3 アンケートの結果

3-1. 防災について	
問4	災害が起きた時に避難する場所を知っていますか。（１つだけ選んでください）

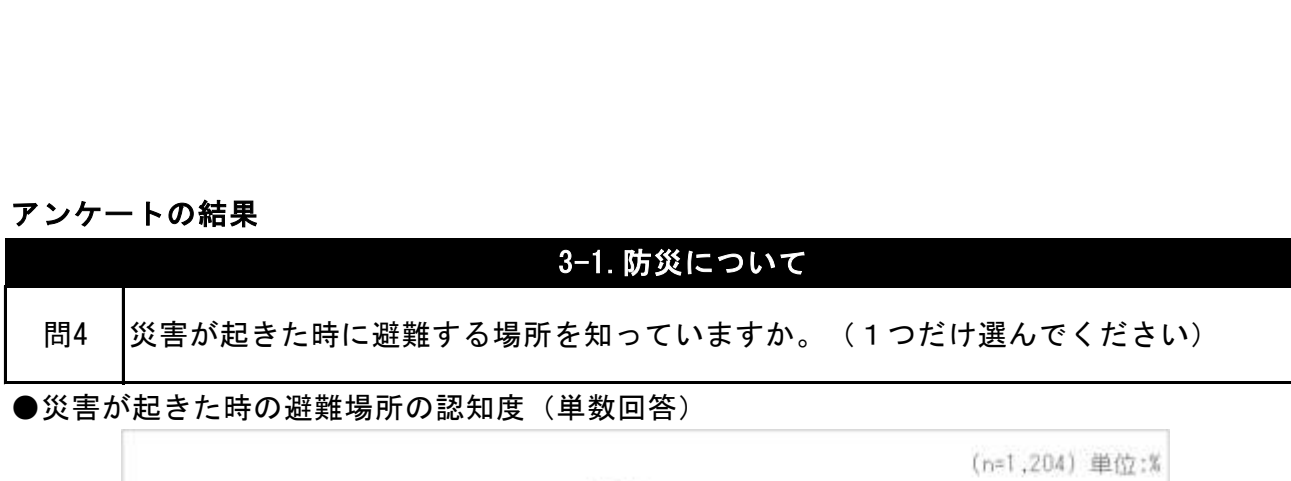
●災害が起きた時の避難場所の認知度（単数回答）



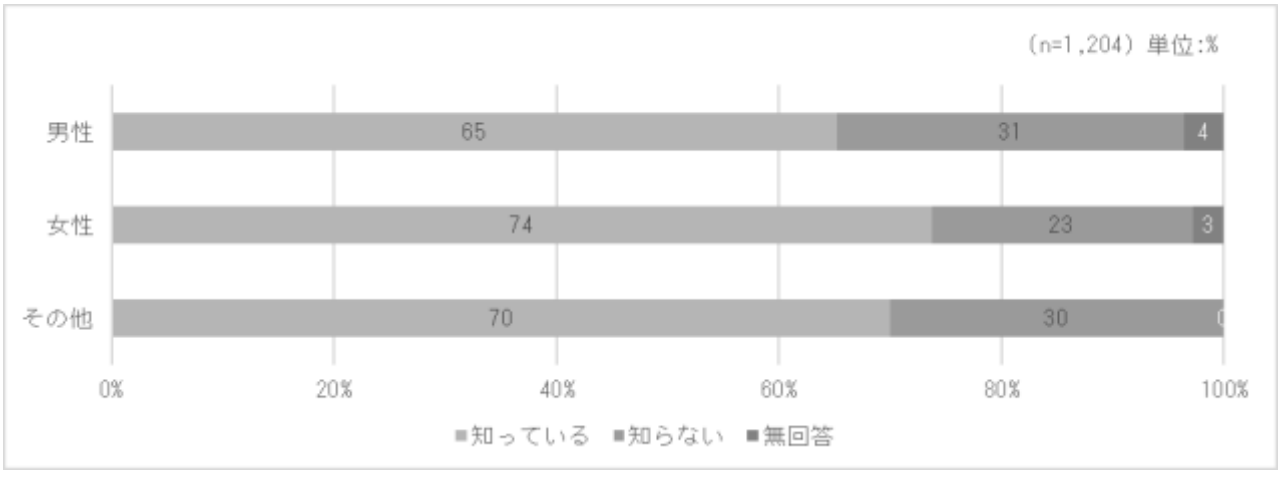
■全体



■年代別



■性別



「知っている」の割合は約７割

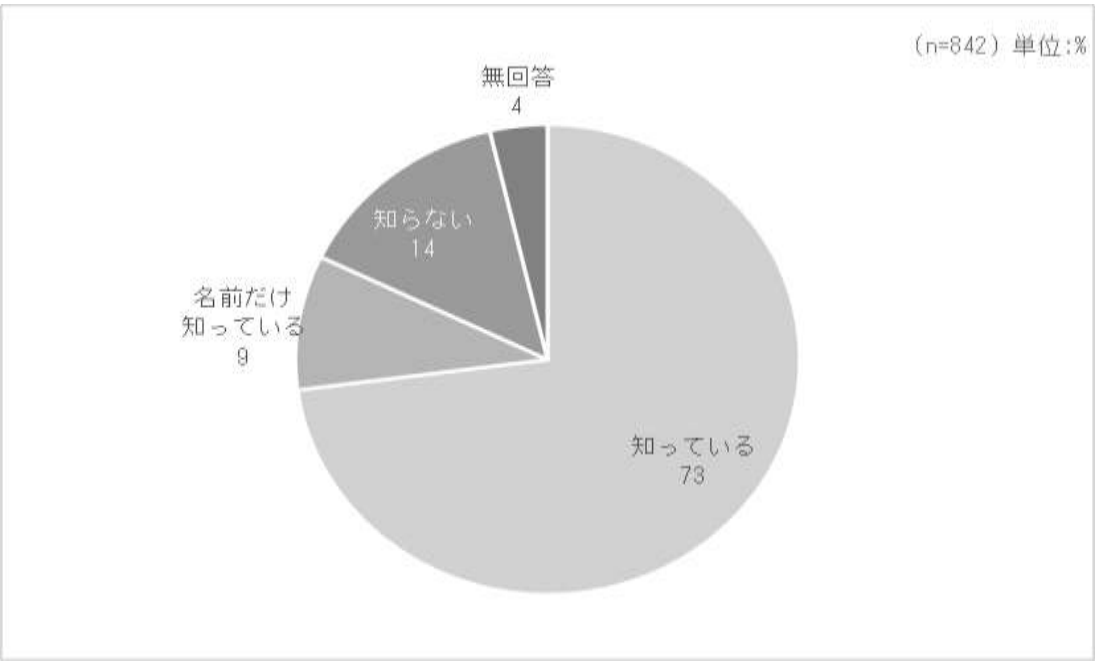
・災害が起きた時の避難場所の認知度について見ると、「知っている」が70%となっている。
・年代別に見ると、全ての年代において「知っている」が６割以上となっている。
・性別に見ると、『女性』の「知っている」が74%と、『男性』の65%より9ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

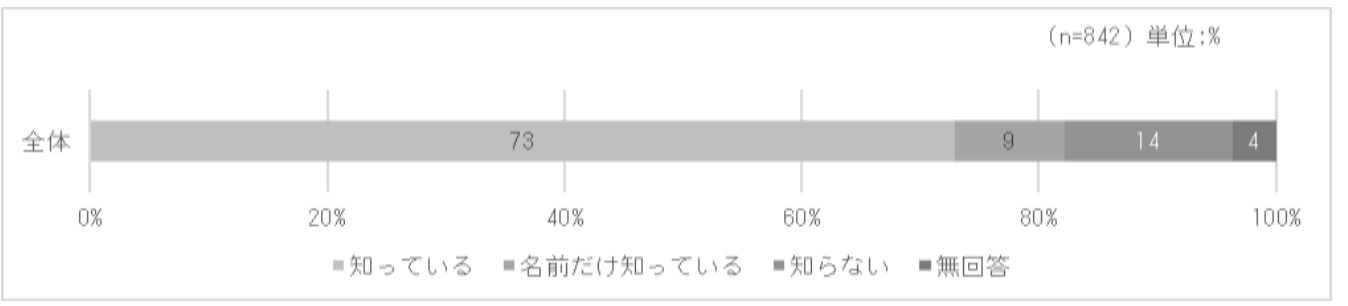
3-1. 防災について	
問4で「１　知っている」と回答された方へおたずねします。	
問5-1	自宅での在宅避難や親戚等の家などへの分散避難を推奨しています。 在宅避難や分散避難が困難な場合、避難する場所を知っていますか。それぞれあてはまる数字をまる（〇）で囲んでください。

●在宅避難が困難時に避難する場所の認知度（単数回答）

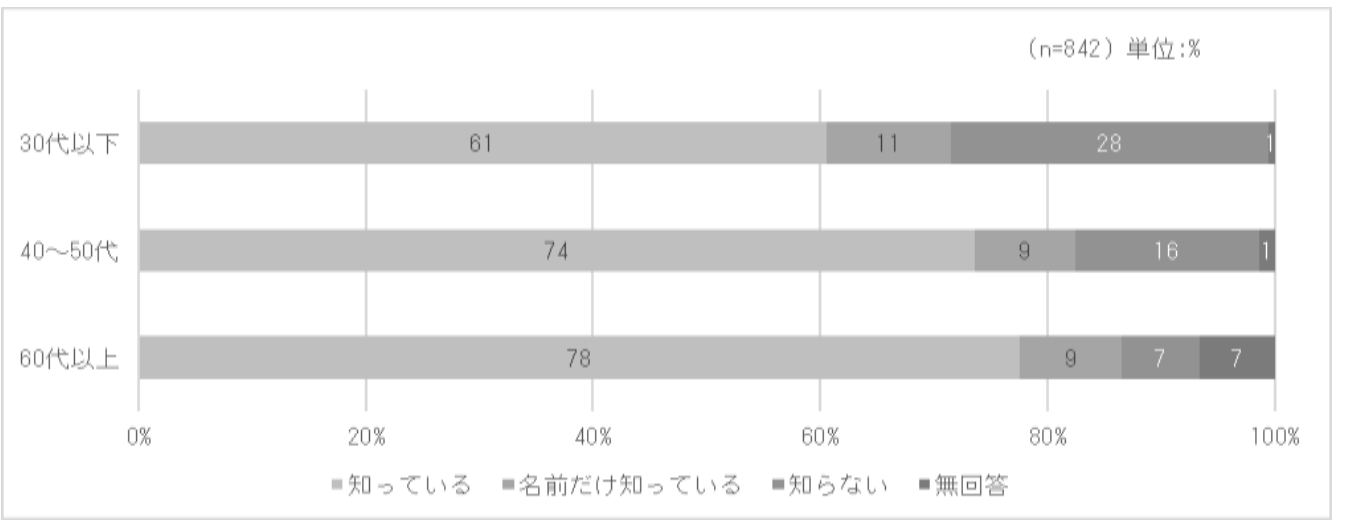
1.一時避難場所（一時的に避難する公園、広場など）



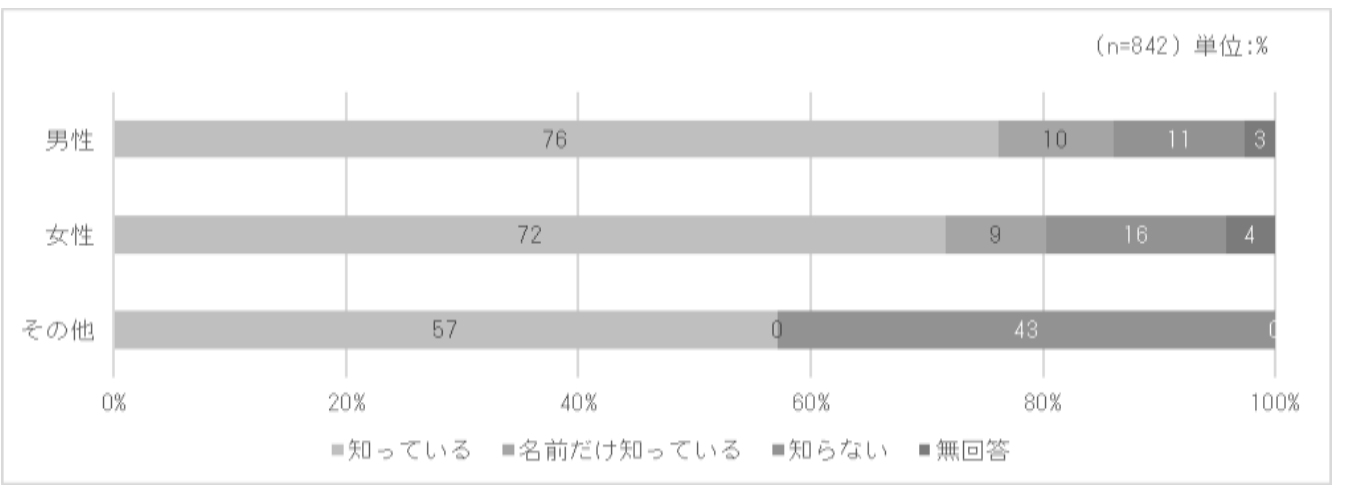
■全体



■年代別



■性別



「知っている」「名前だけ知っている」の合算の割合は約８割

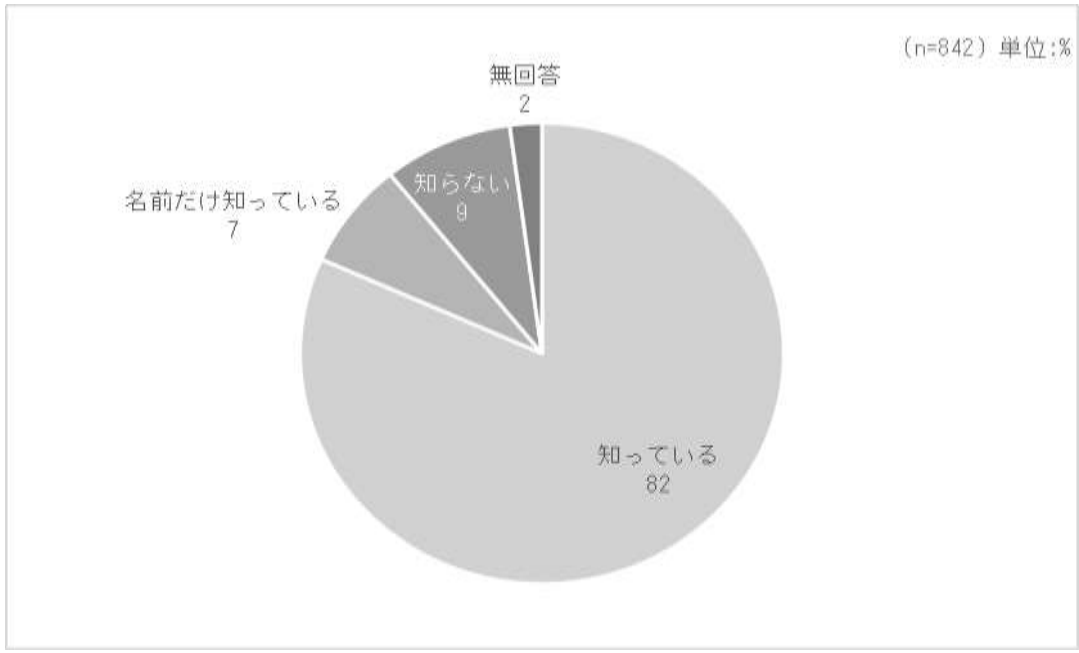
・一時避難場所の認知度について見ると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が82%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の「知っている」が78%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、『男性』『女性』の「知っている」に大きな違いは見られない。

3 アンケートの結果

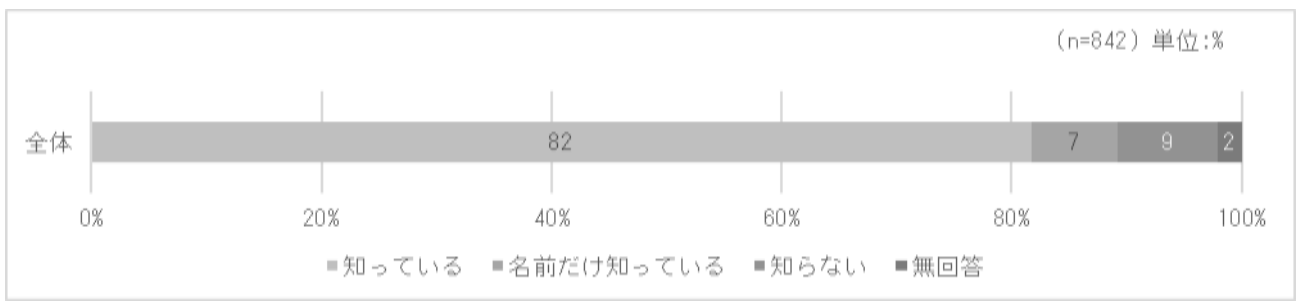
3-1. 防災について	
問4で「１　知っている」と回答された方へおたずねします。	
問5-2	自宅での在宅避難や親戚等の家などへの分散避難を推奨しています。 在宅避難や分散避難が困難な場合、避難する場所を知っていますか。それぞれあてはまる数字をまる（〇）で囲んでください。

●在宅避難が困難時に避難する場所の認知度（単数回答）

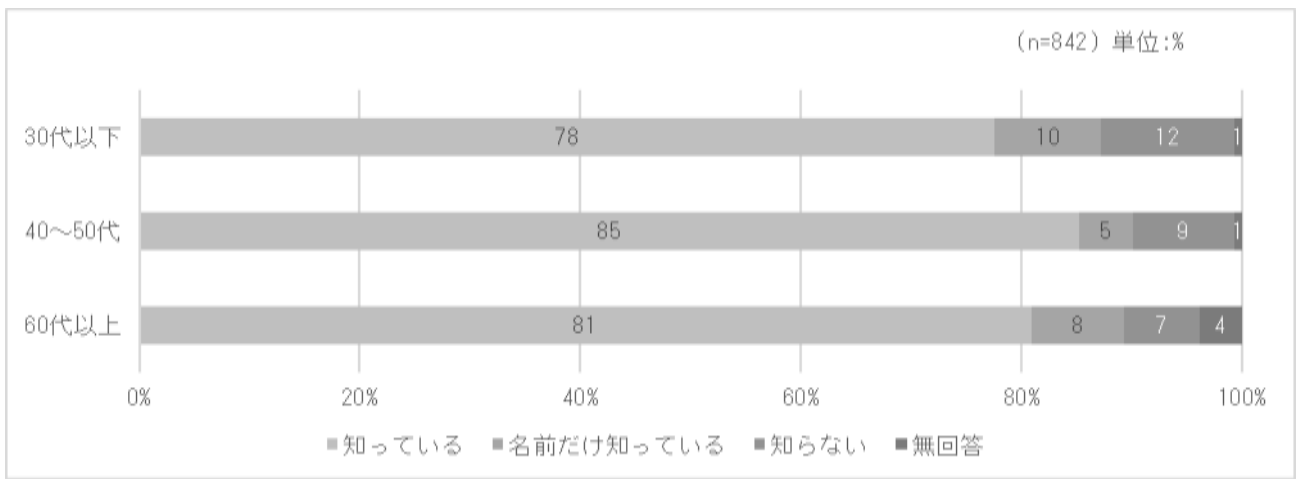
2. 災害時避難所（住居を失った場合に避難生活を送る学校の体育館など）



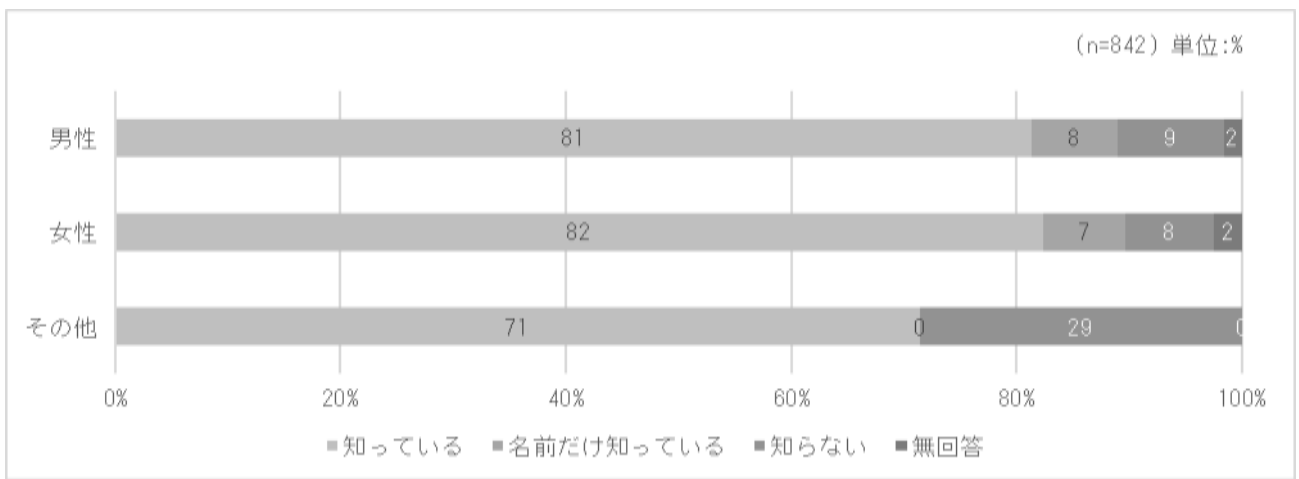
■全体



■年代別



■性別



「知っている」「名前だけ知っている」の合算の割合は約９割

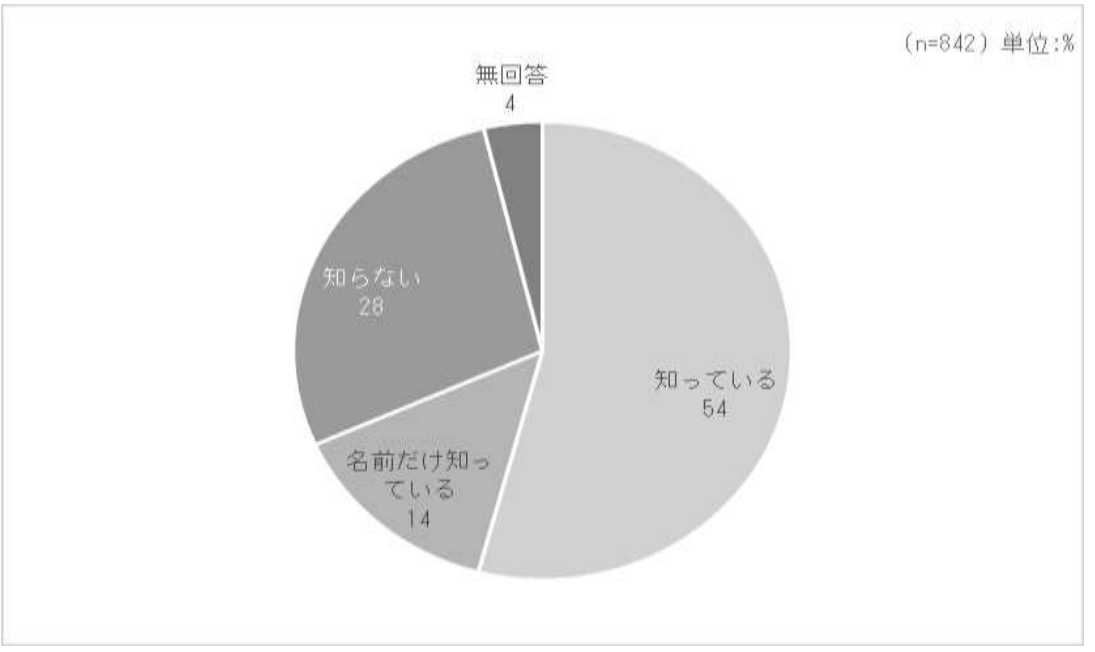
・災害時避難所の認知度について見ると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が89%となっている。
・年代別に見ると、『40～50代』の“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が90%と他の年代と比べてやや高い傾向にある。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3 アンケートの結果

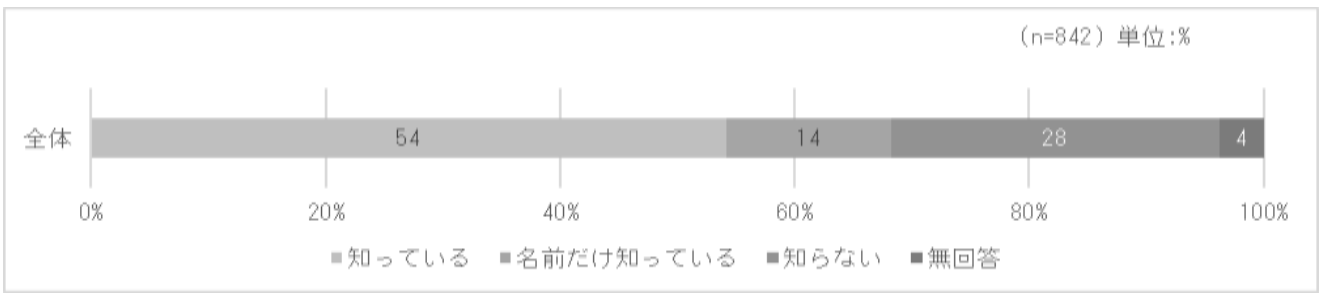
3-1. 防災について	
問4で「１　知っている」と回答された方へおたずねします。	
問5-3	自宅での在宅避難や親戚等の家などへの分散避難を推奨しています。 在宅避難や分散避難が困難な場合、避難する場所を知っていますか。それぞれあてはまる数字をまる（〇）で囲んでください。

●在宅避難が困難時に避難する場所の認知度（単数回答）

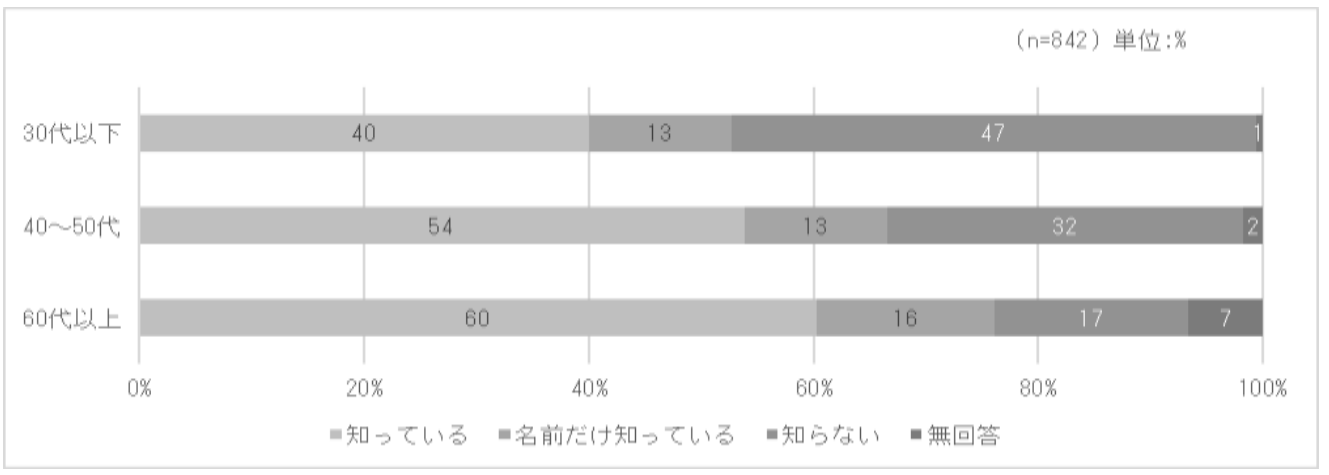
3. 広域避難場所（地震で大火災になっている場合に避難する淀川河川敷公園や大阪城公園など）



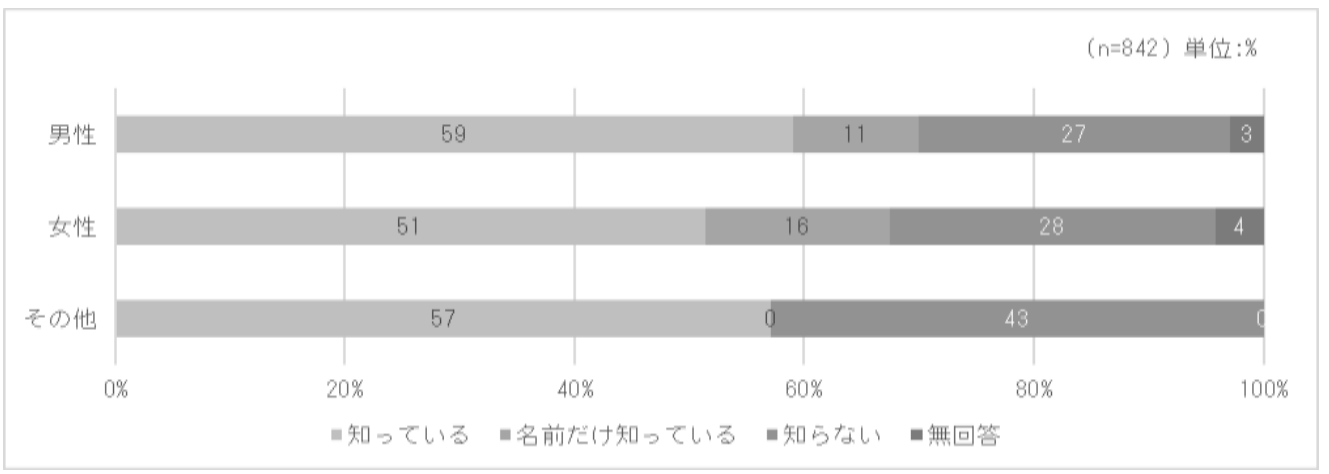
■全体



■年代別



■性別



「知っている」「名前だけ知っている」の合算の割合は約７割

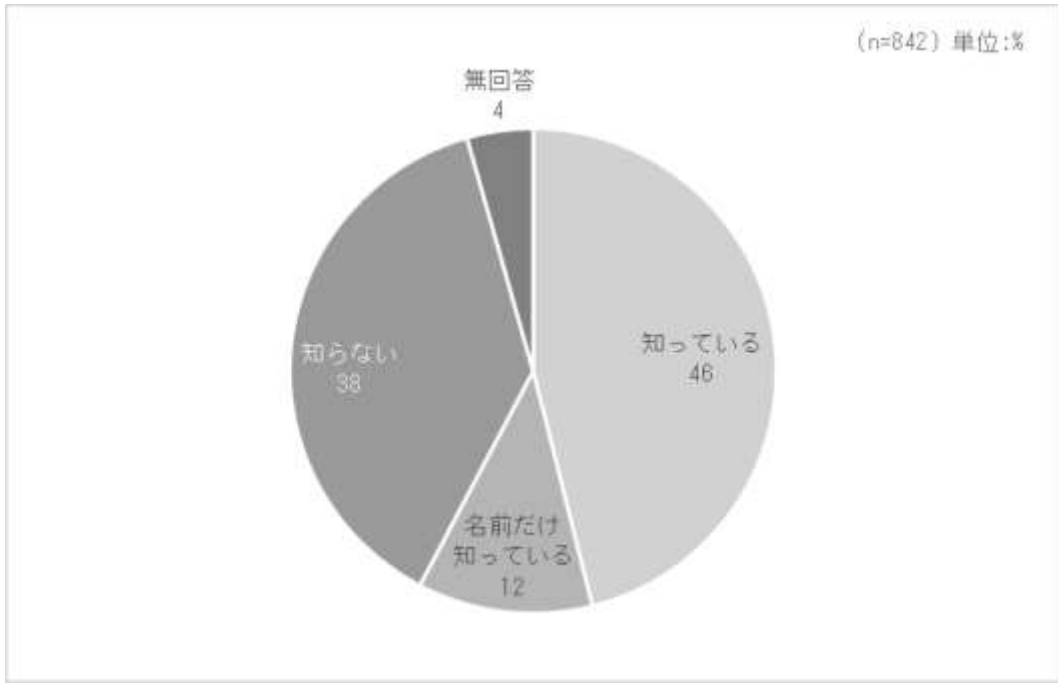
・広域避難場所の認知度について見ると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が68%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が76%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、『男性』の“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が59%と『女性』の51%より８ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

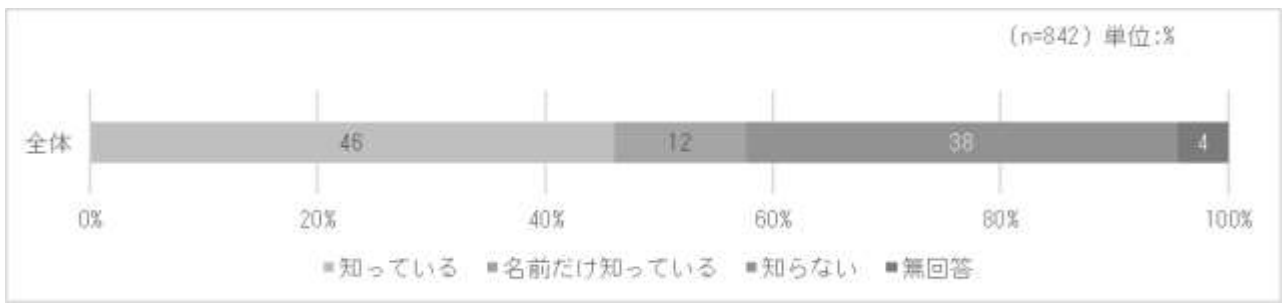
3-1. 防災について	
問4で「１　知っている」と回答された方へおたずねします。	
問5-4	自宅での在宅避難や親戚等の家などへの分散避難を推奨しています。 在宅避難や分散避難が困難な場合、避難する場所を知っていますか。それぞれあてはまる数字をまる（〇）で囲んでください。

●在宅避難が困難時に避難する場所の認知度（単数回答）

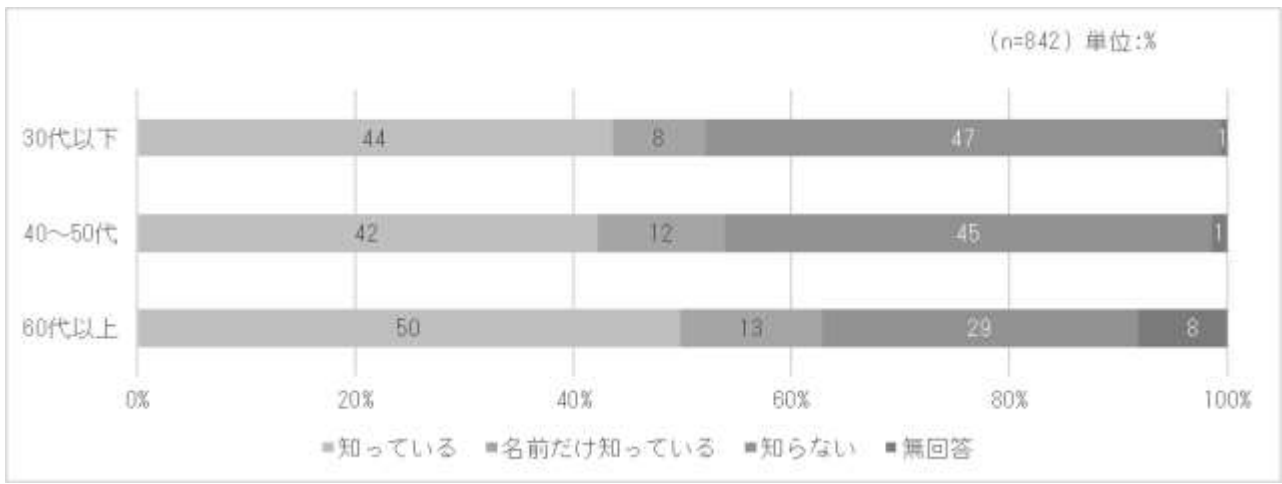
4. 津波避難ビル（津波の襲来時に一時的に避難する学校や指定された建物など）



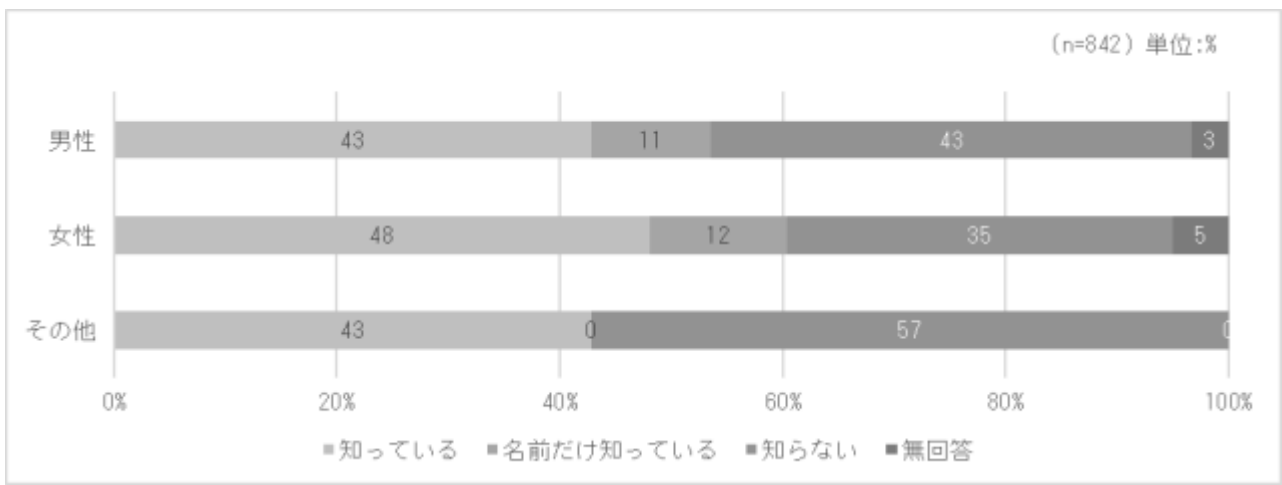
■全体



■年代別



■性別



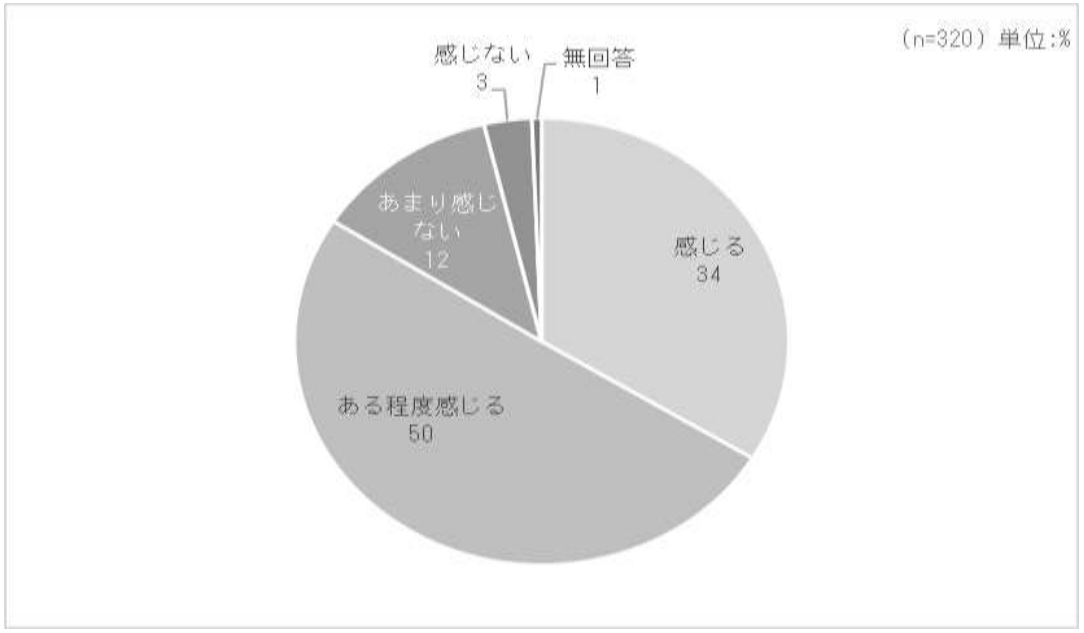
「知っている」「名前だけ知っている」の合算の割合は約６割

・津波避難ビルの認知度について見ると、“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が58%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が63%と他の年代と比べて最も高くなっている。
・性別に見ると、『女性』の“知っている”（「知っている」＋「名前だけは知っている」）が60%と『男性』の54%より６ポイント高くなっている。

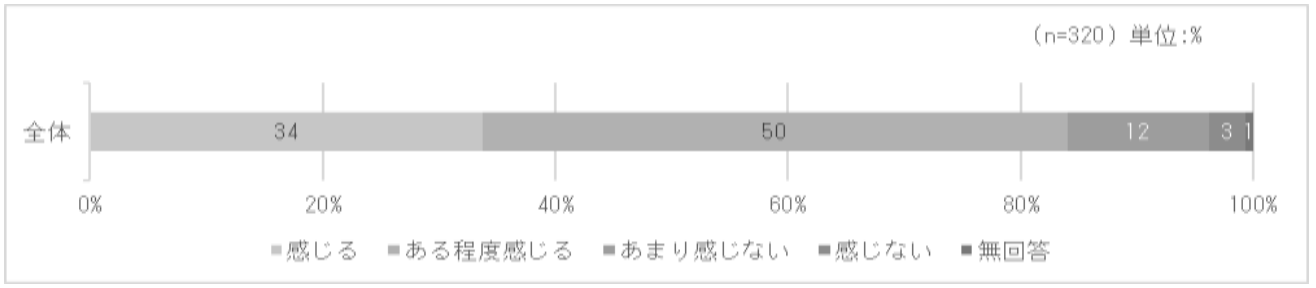
3 アンケートの結果

3-1. 防災について	
問6	日頃からの災害時の備えが必要であると感じますか。（１つだけ選んでください）

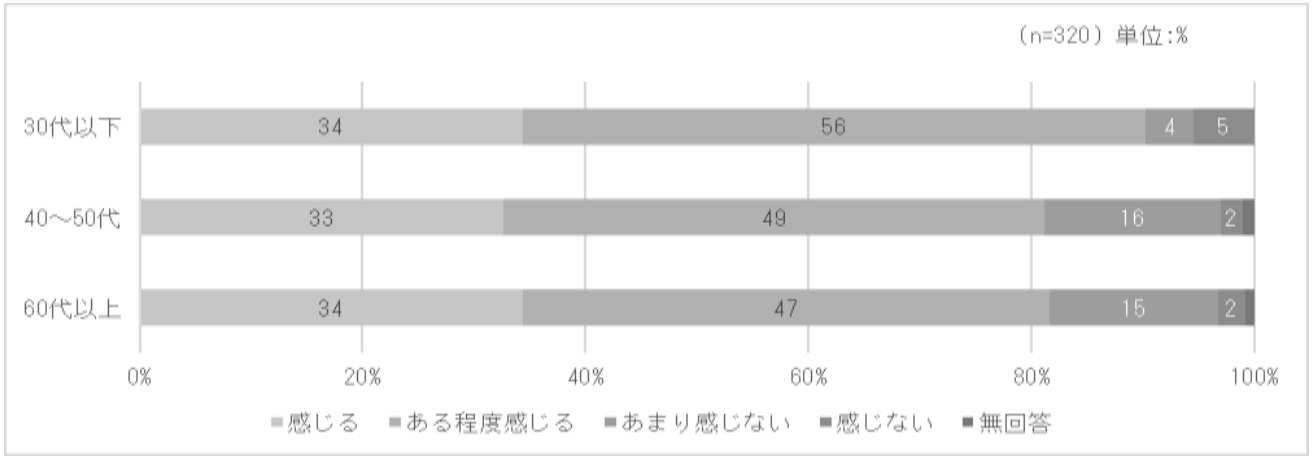
●災害時の備えが必要の意識（単数回答）



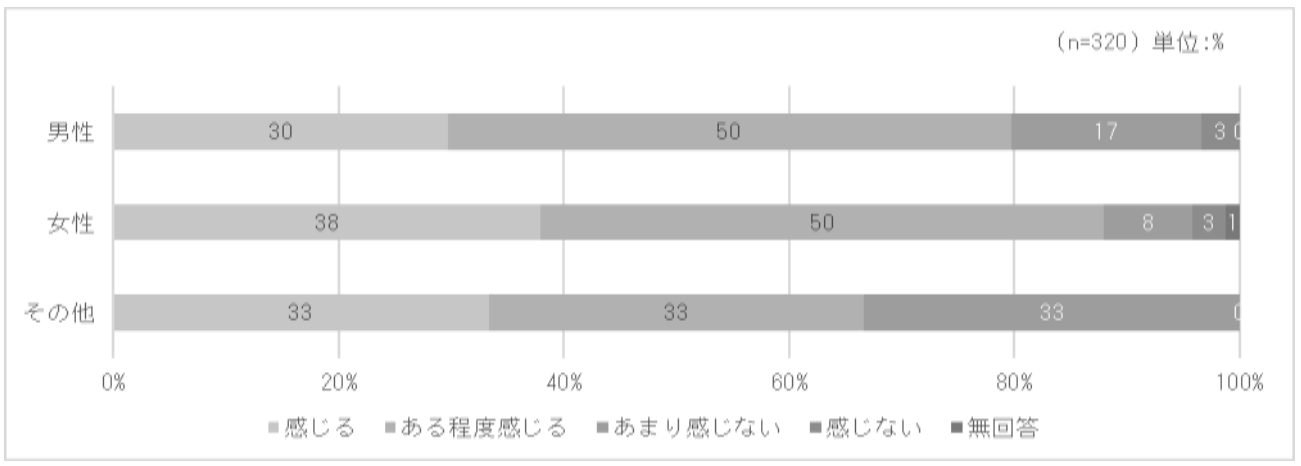
■全体



■年代別



■性別



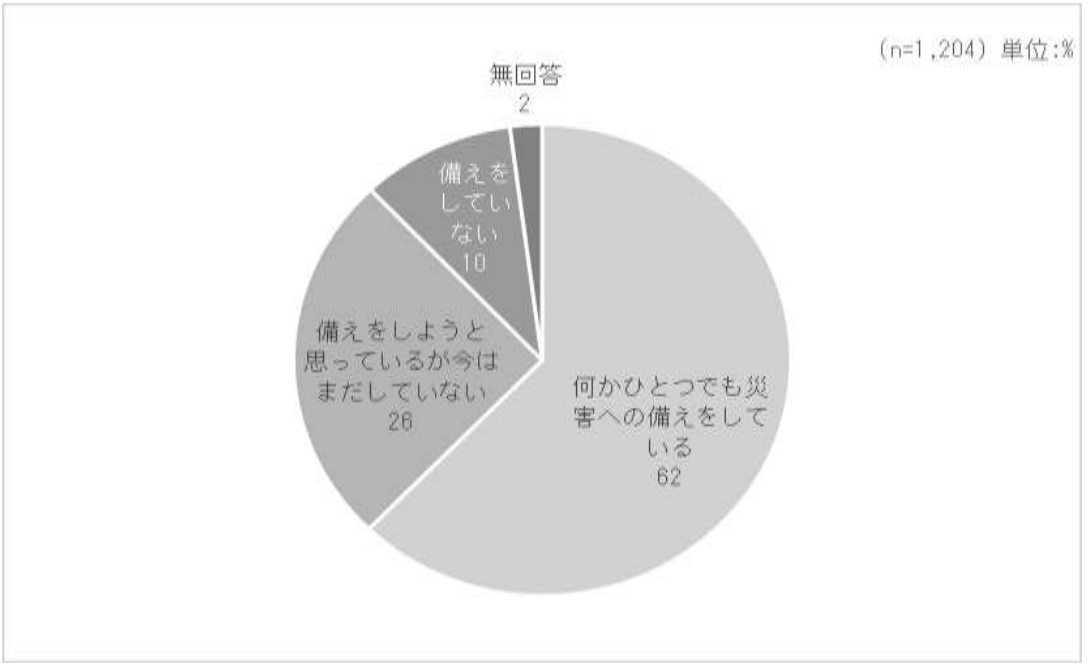
「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は８割強

・災害時の備えが必要の意識について見ると、“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が84%となっている。
・年代別に見ると、『30代以下』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が90%と他の年代と比べて最も高くなっている。
・性別に見ると、『女性』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が88%と『男性』の80%より８ポイント高くなっている。

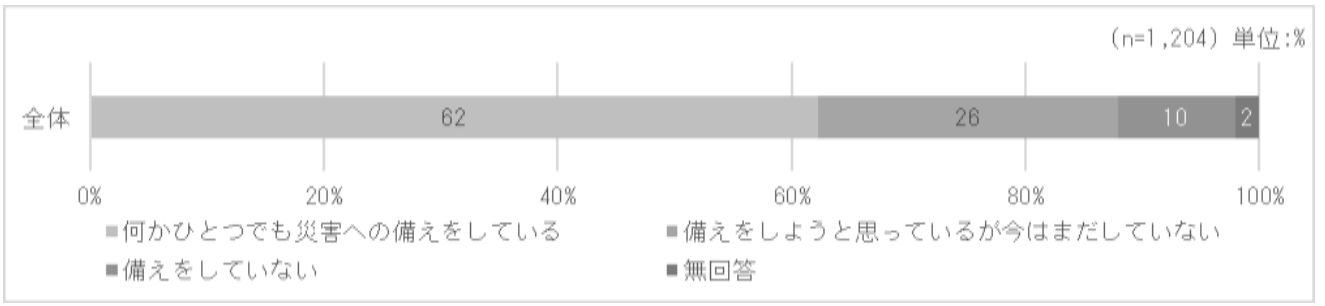
3 アンケートの結果

3-1. 防災について	
問7	防災・減災には日頃からの備えが大切です。食料の備蓄、家具の固定、家族との連絡方法の確認など何かひとつでも災害の備えを行っていますか。 （１つだけ選んでください）

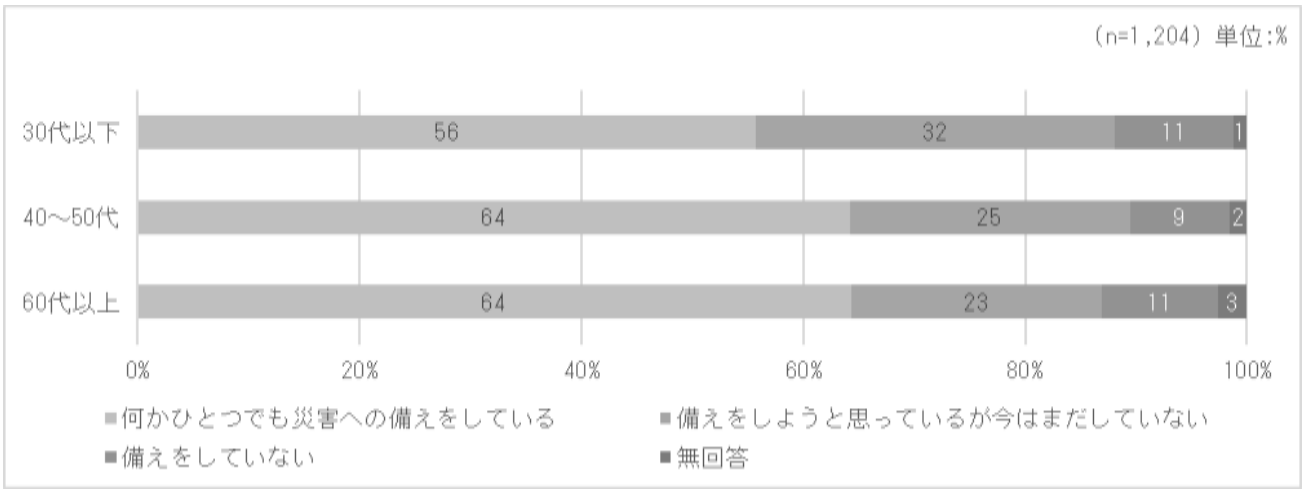
●個別の災害の備えに対する意識（単数回答）



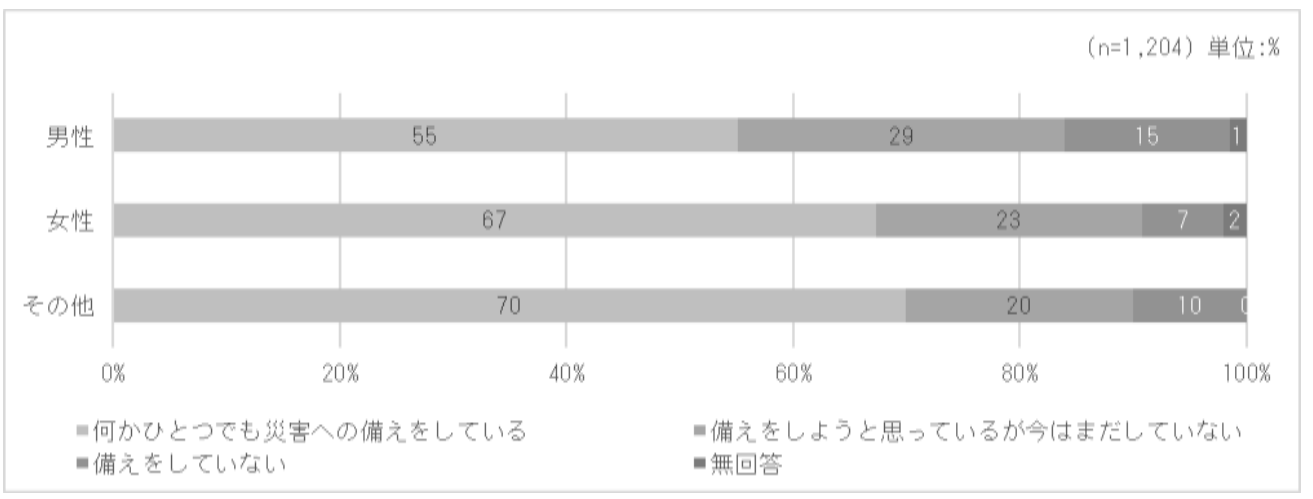
■全体



■年代別



■性別



「何かひとつでも災害への備えをしている」の割合は約６割

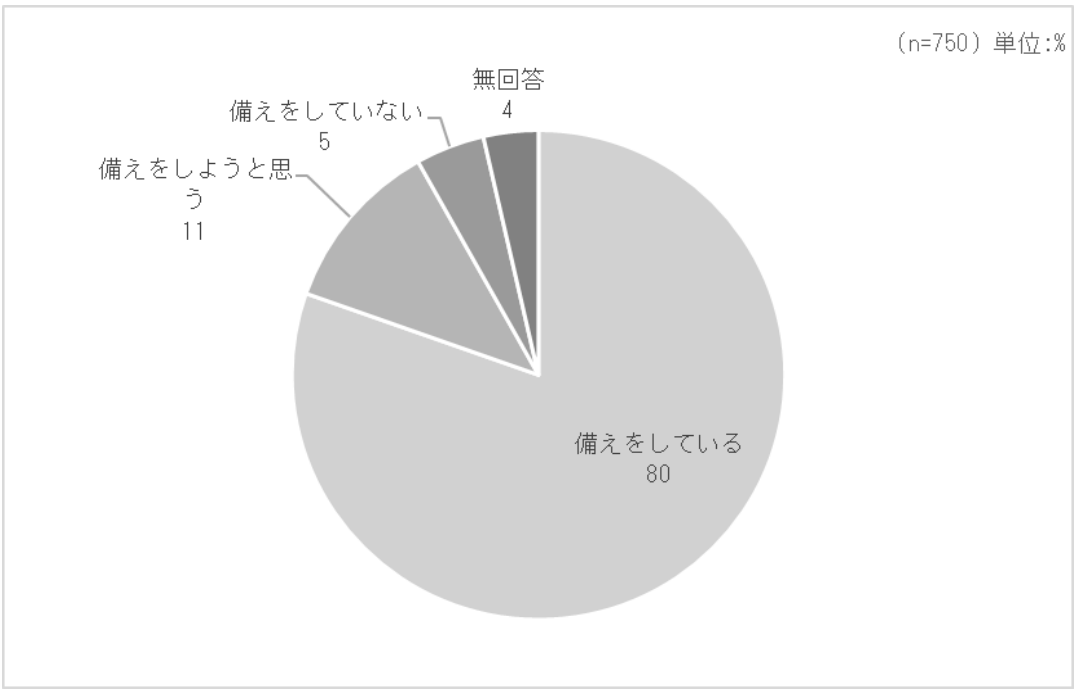
・災害の備えの実行度について見ると、「何かひとつでも災害への備えをしている」が62%となっている。
・年代別に見ると、『30代以下』の「何かひとつでも災害への備えをしている」が56%と他の年代と比べて低い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の「何かひとつでも災害への備えをしている」が67%と『男性』の55%より12ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

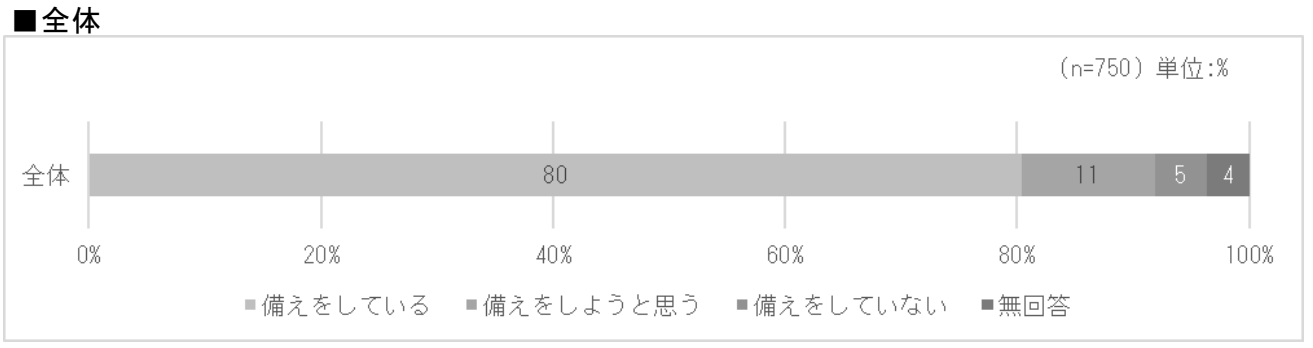
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-1	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

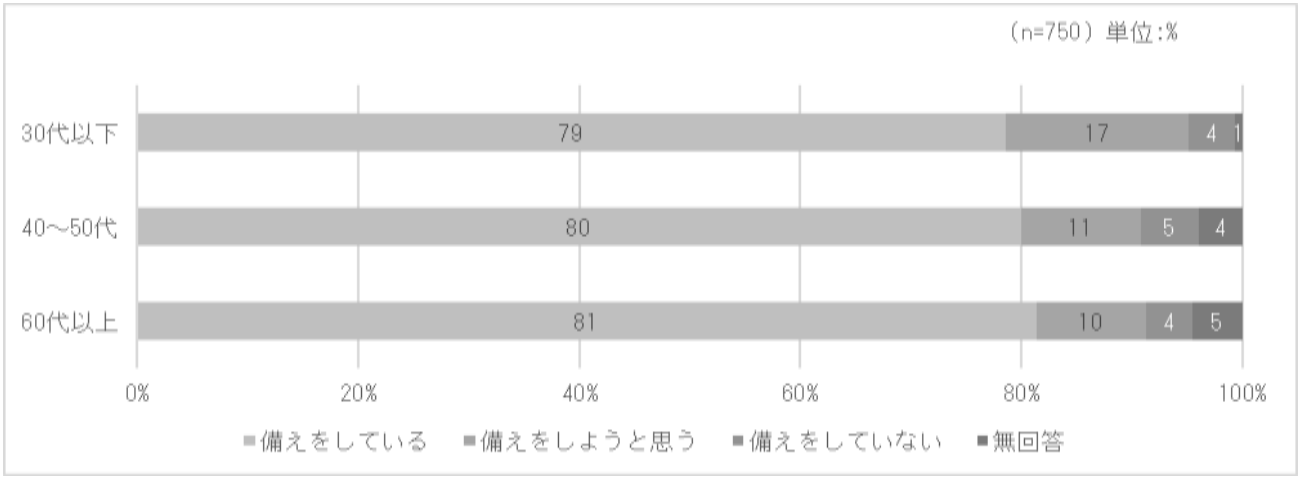
1. 水・食料などの備蓄をしている（多めに買って災害時に備える）



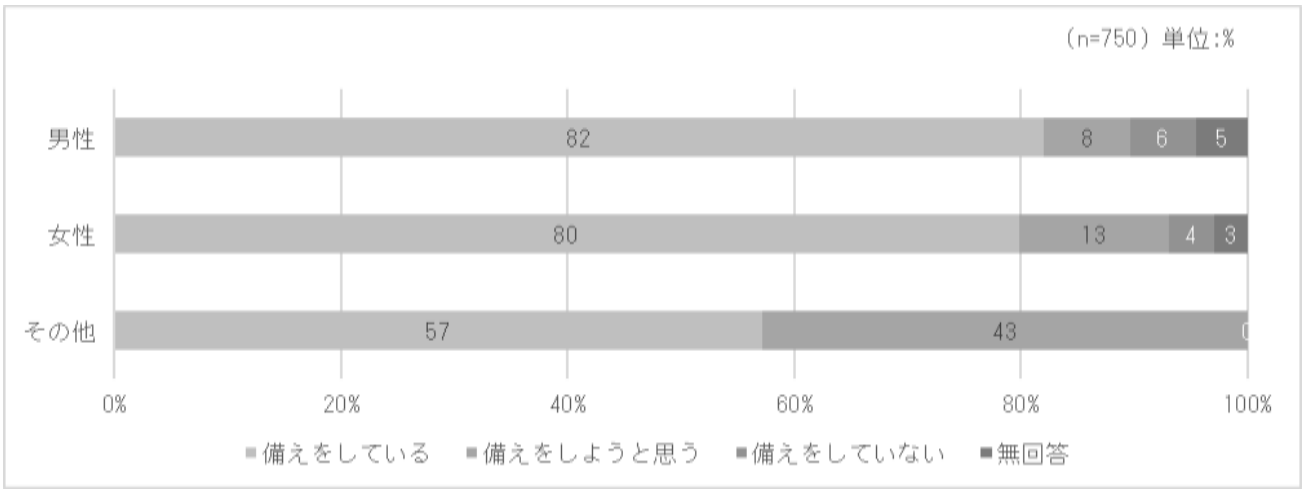
■全体



■年代別



■性別



「備えをしている」の割合は約８割

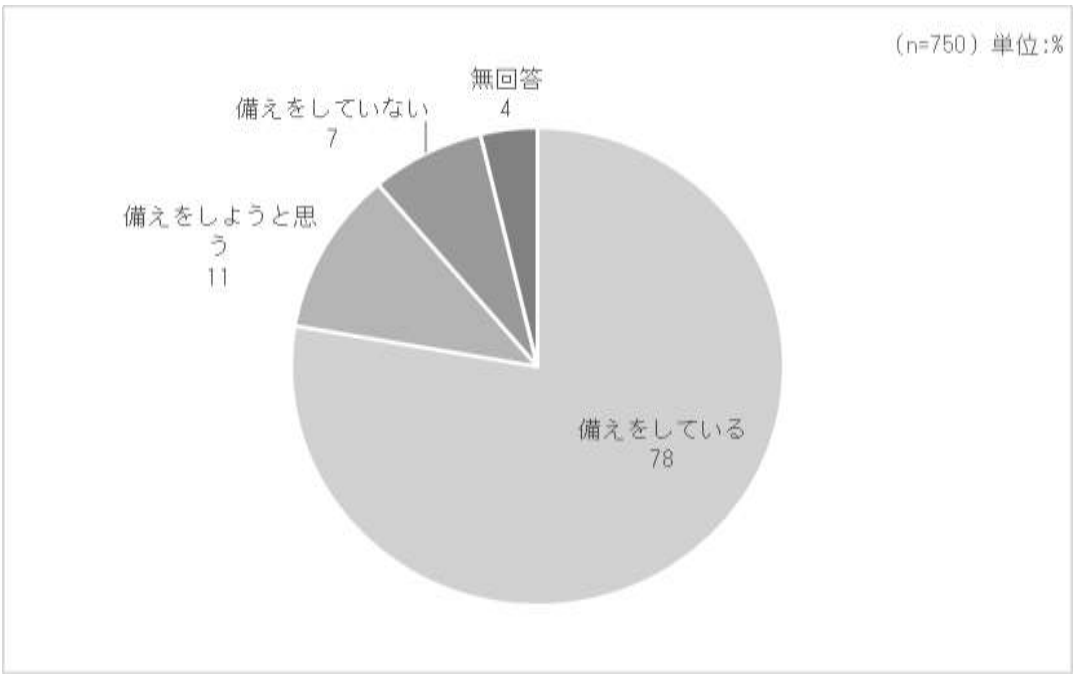
・水・食料などの備蓄をしている割合について見ると、「備えをしている」が80%となっている。
・年代別に見ると、『30代以下』の「備えをしようと思う」が17%と他の年代と比べて最も高くなっている。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3 アンケートの結果

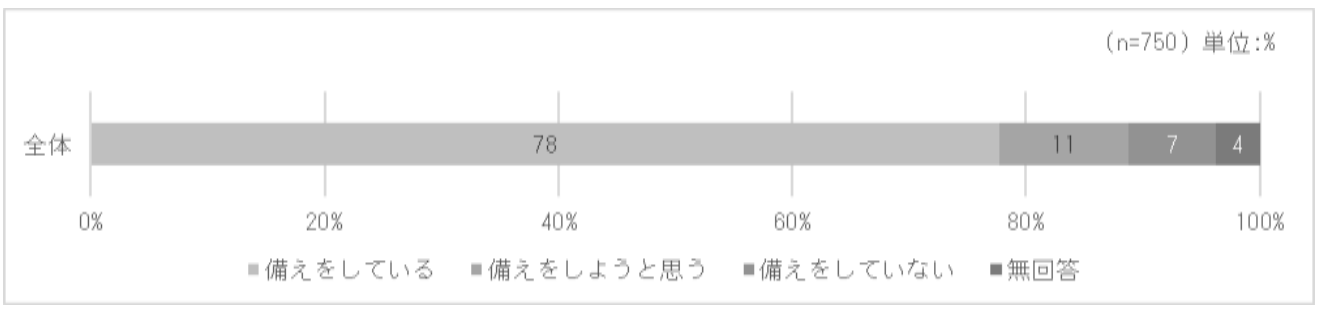
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-2	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

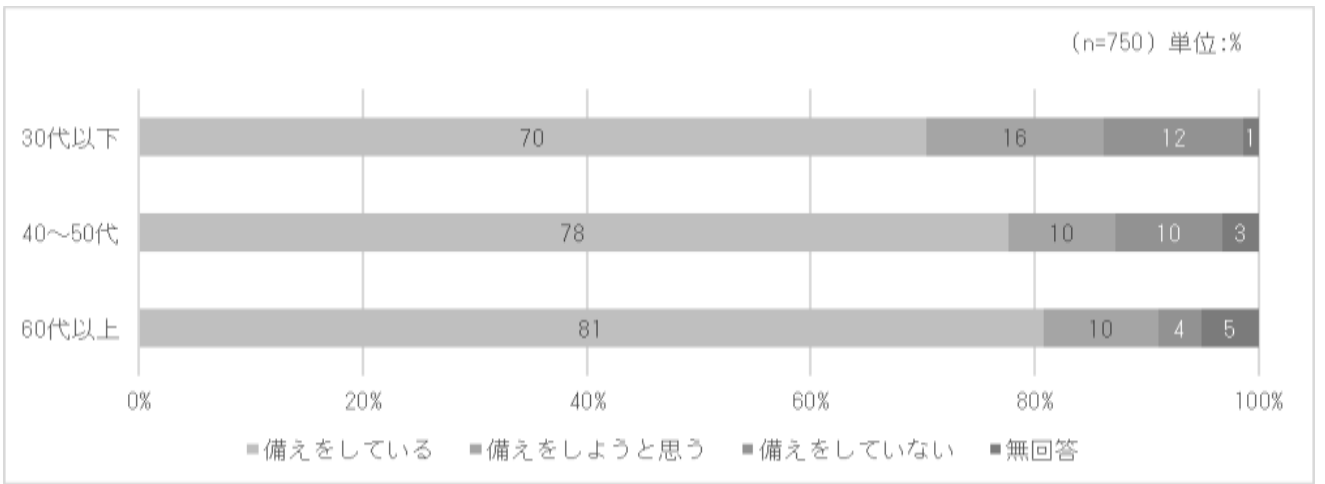
2. マスク、体温計、除菌スプレーなど感染症防止用品を用意している



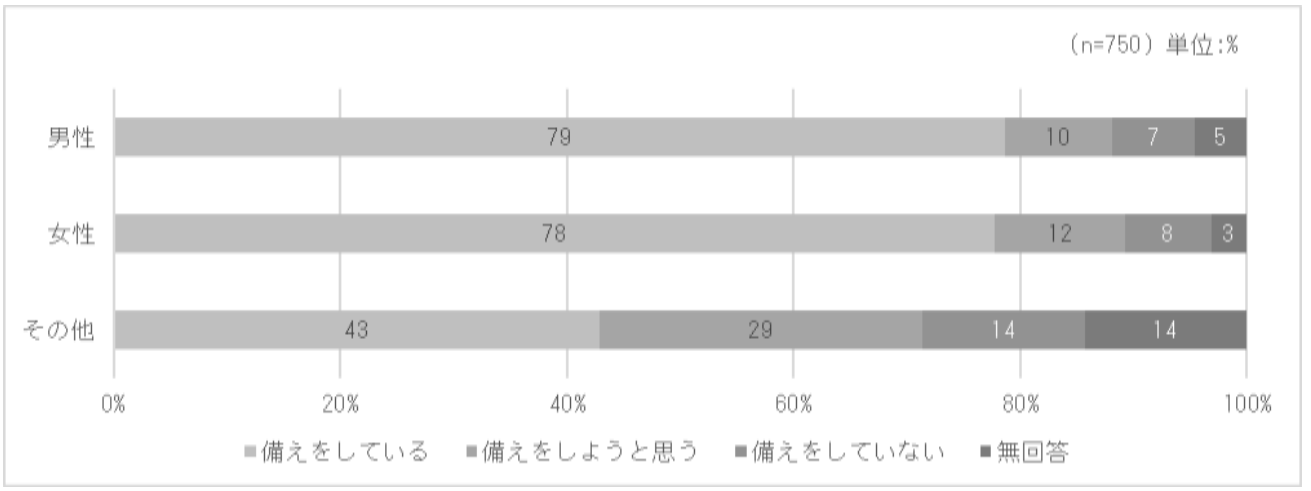
■全体



■年代別



■性別



「備えをしている」の割合は約８割

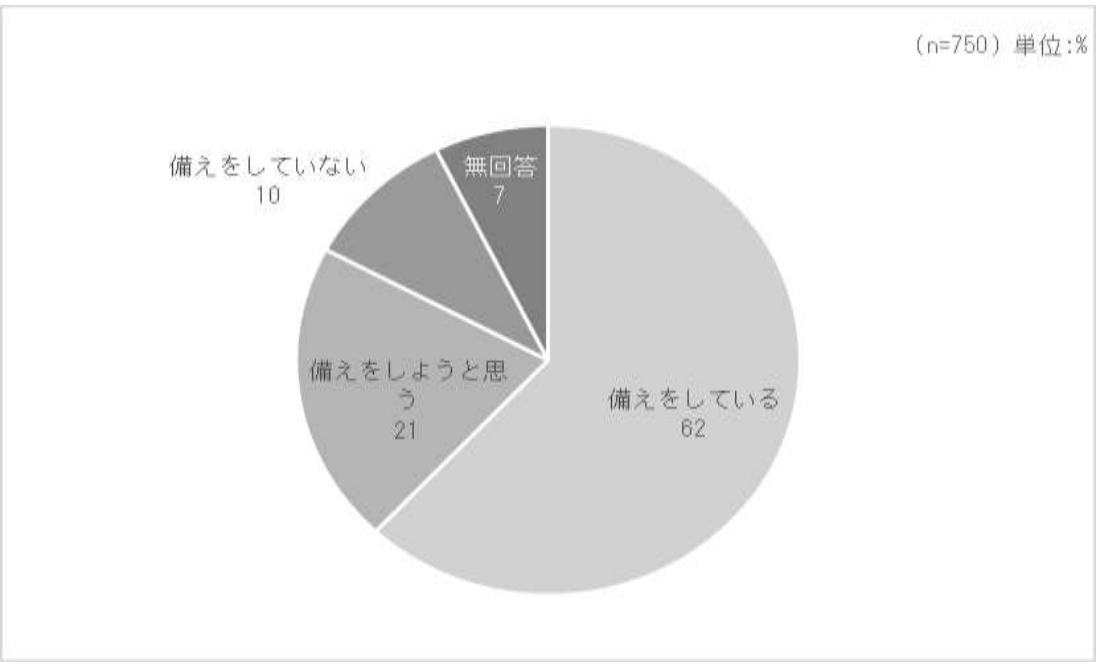
・マスク、体温計、除菌スプレーなど感染症防止用品を用意している割合について見ると、「備えをしている」が78%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の「備えをしている」が81%と他の年代と比べて最も高くなっている。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3 アンケートの結果

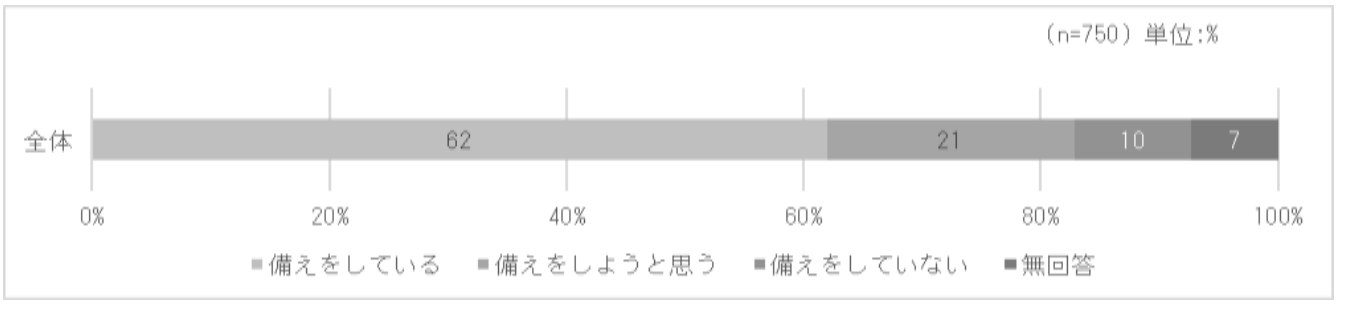
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-3	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

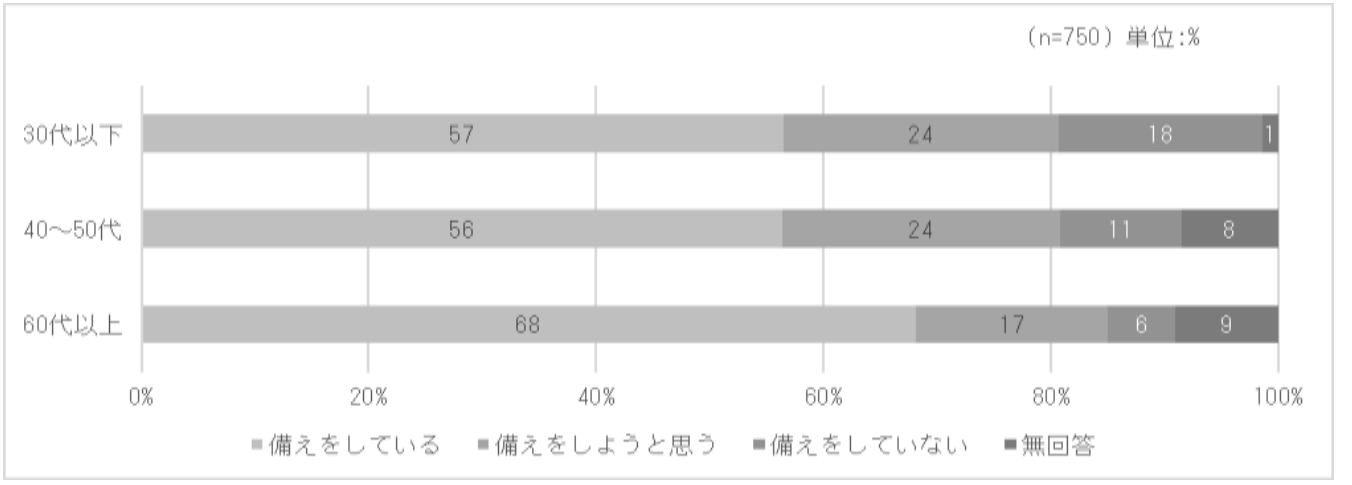
3. 災害時に必要となる用品（懐中電灯、携帯ラジオ、常備薬など）をすぐに持ち出せるように準備している



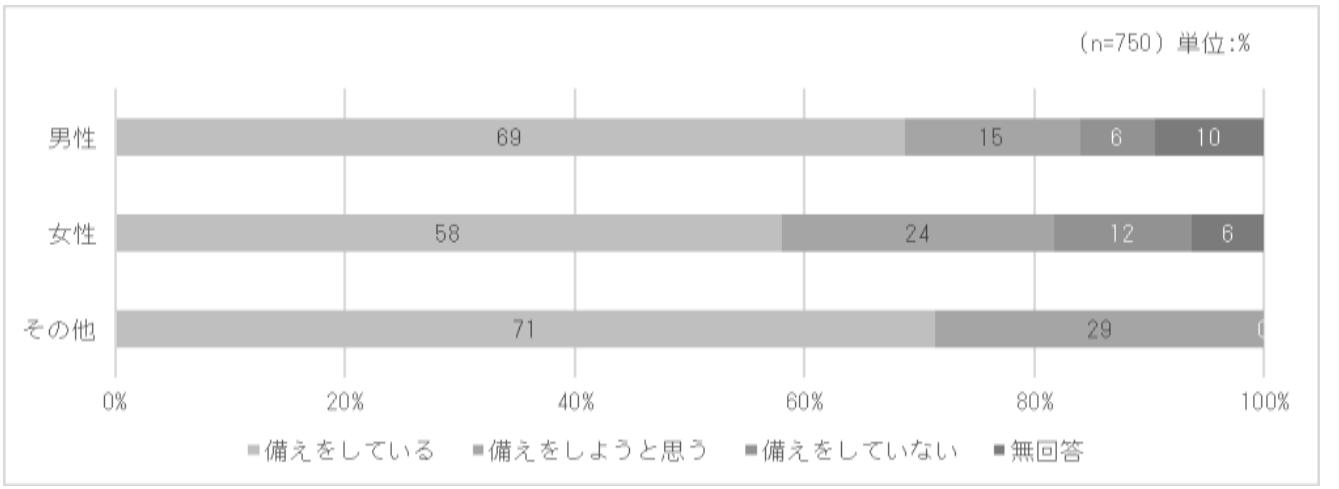
■全体



■年代別



■性別



「備えをしている」の割合は約６割

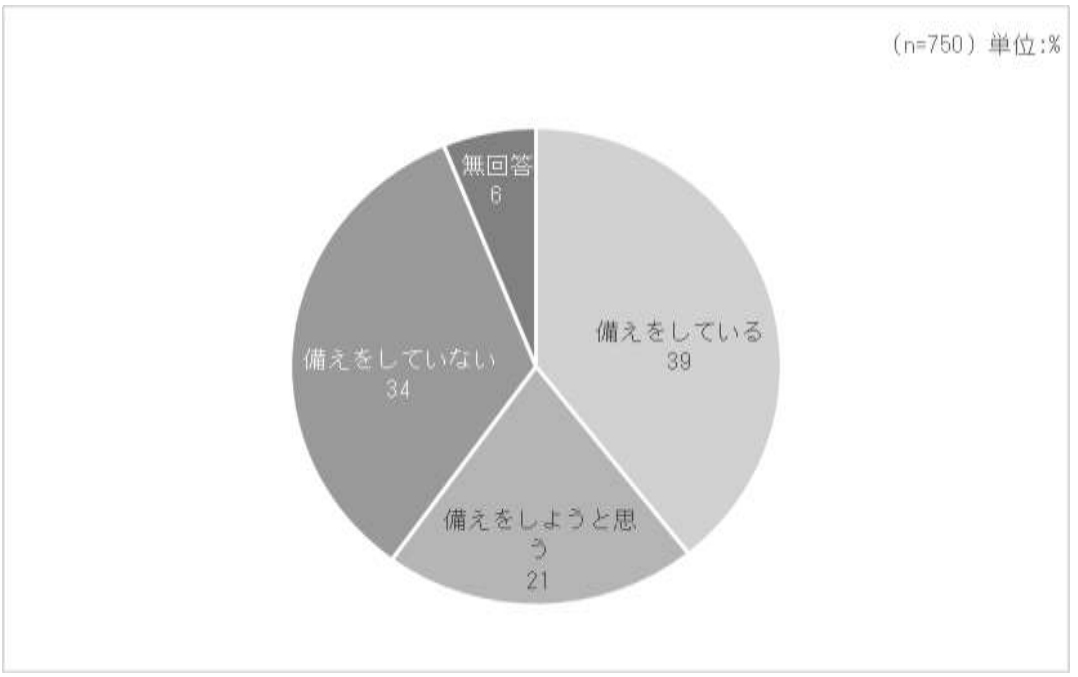
・災害時に必要となる用品をすぐに持ち出せるように準備している割合について見ると、「備えをしている」が62%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の「備えをしている」が68%と他の年代と比べて最も高くなっている。
・性別に見ると、『男性』の「備えをしている」が69%と『女性』の58%より11ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

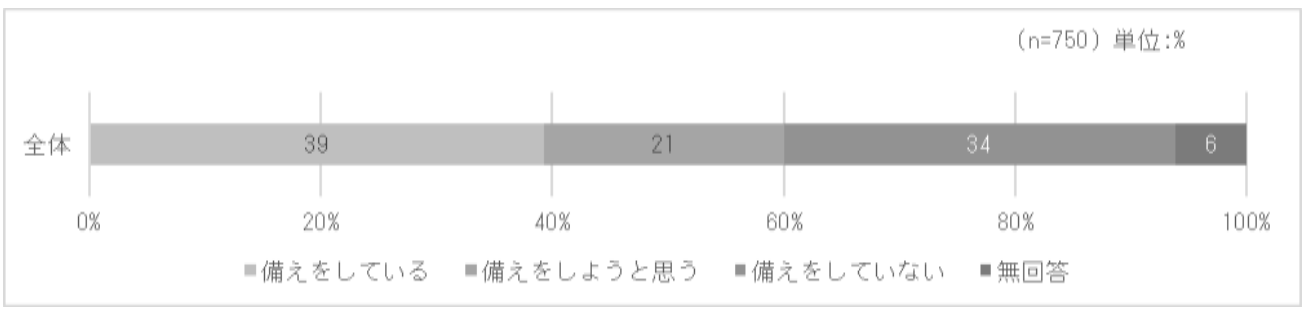
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-4	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

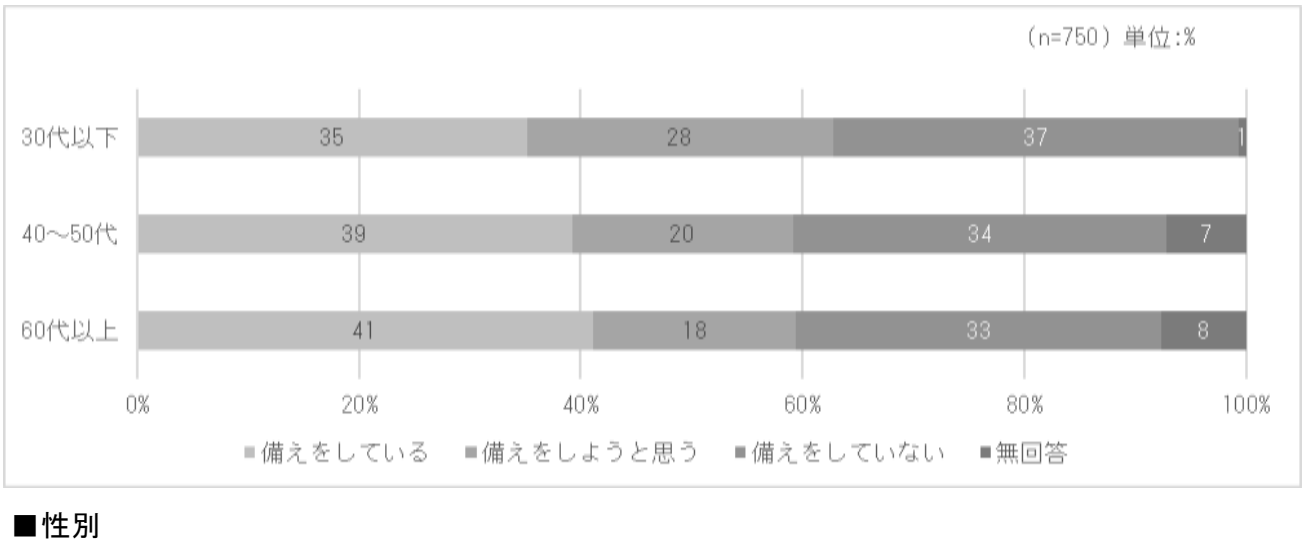
4. 家具・テレビなどを固定している（家具の配置の工夫も含む）



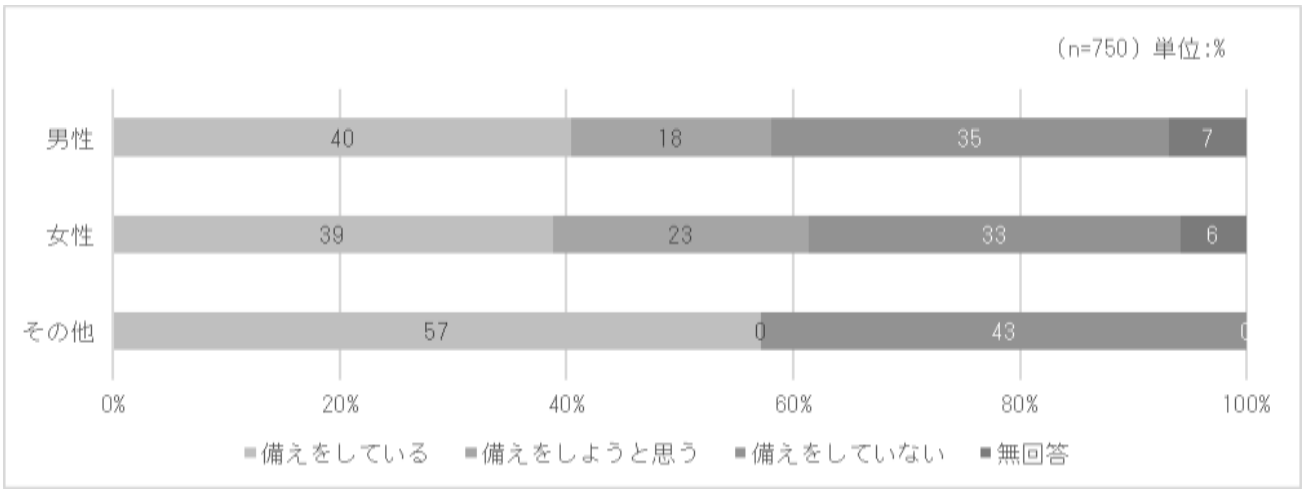
■全体



■年代別



■性別



「備えをしている」の割合は約４割

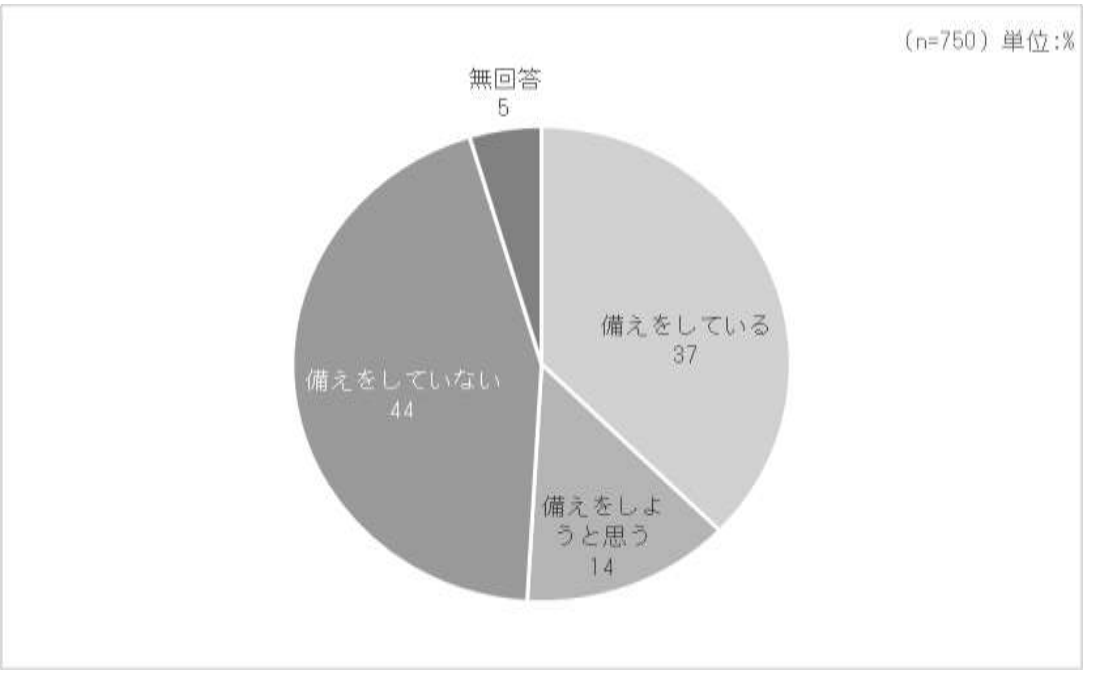
・家具・テレビなどを固定している割合について見ると、「備えをしている」が39%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の「備えをしている」が41%と他の年代と比べて最も高くなっている。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3 アンケートの結果

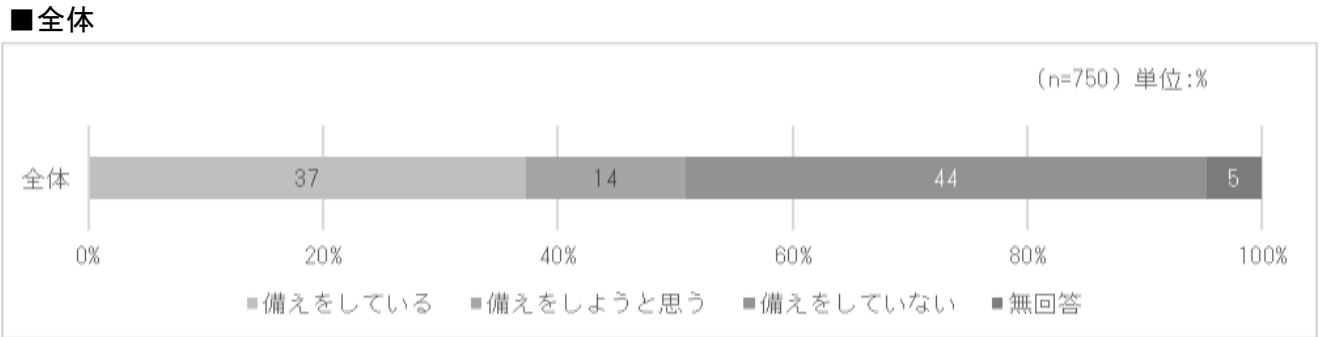
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-5	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

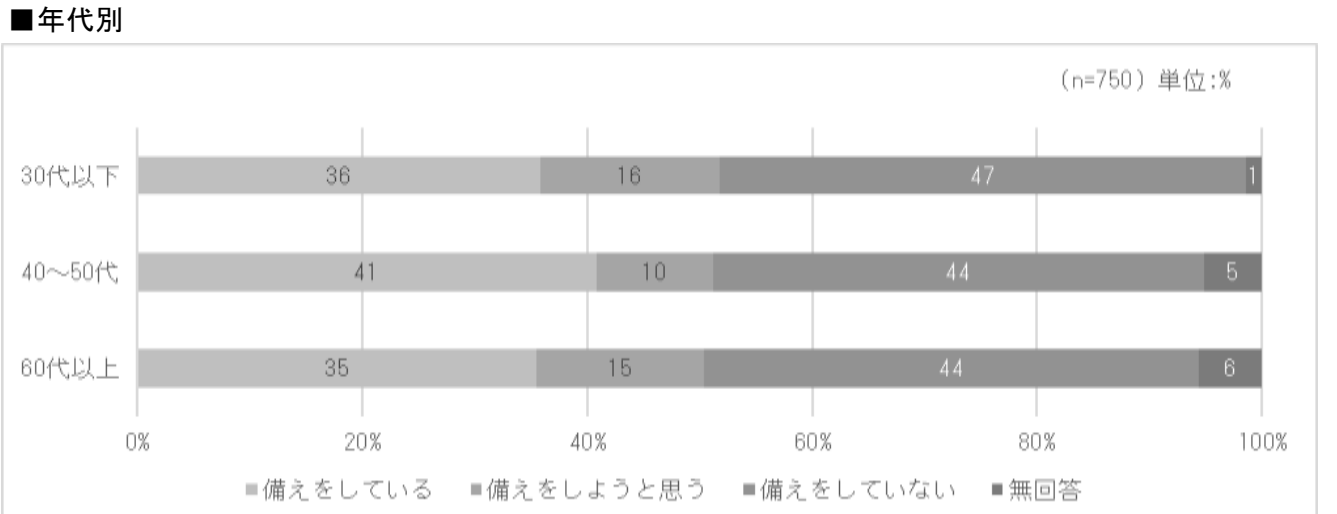
5.簡易トイレを用意している（使い捨てトイレを含む）



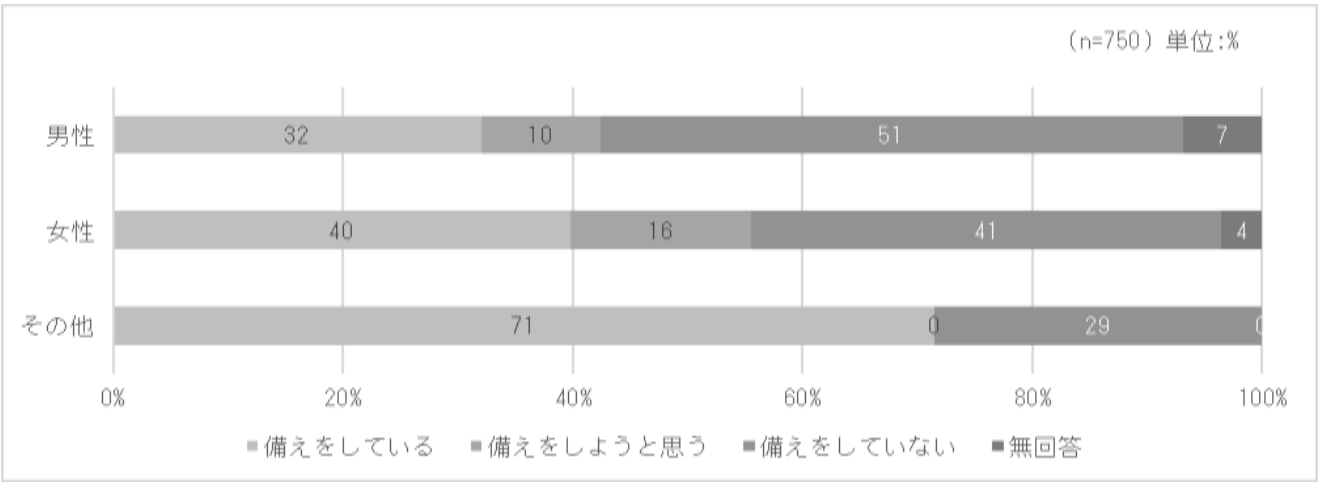
■全体



■年代別



■性別



「備えをしていない」の割合は４割強

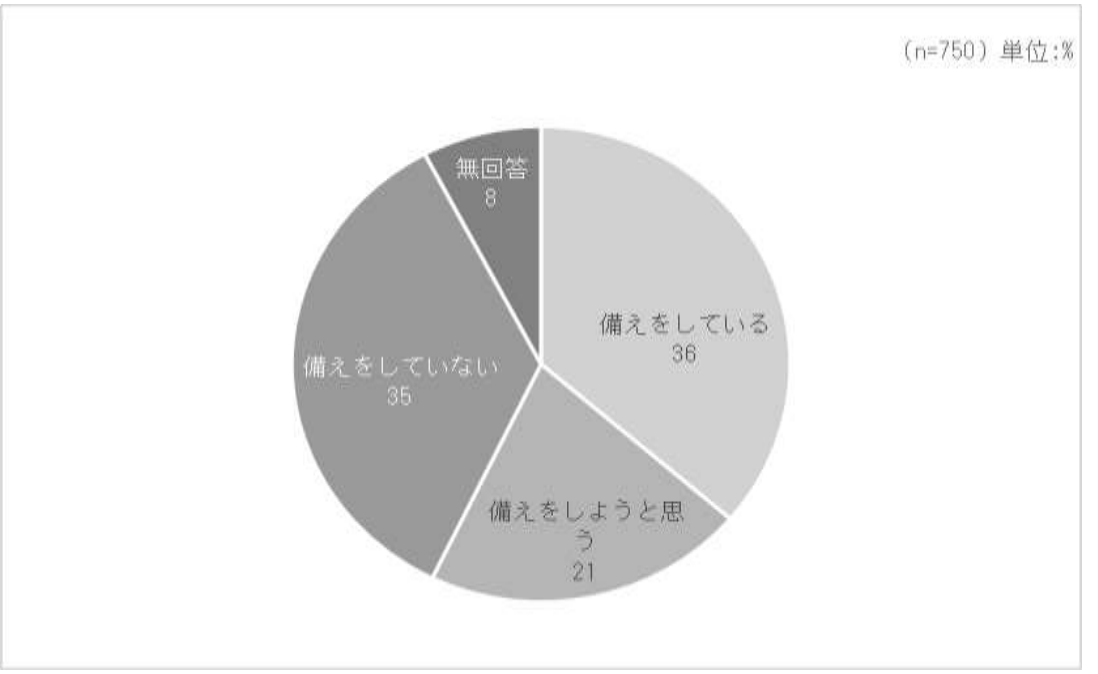
・簡易トイレを用意している割合について見ると、「備えをしていない」が44%となっている。
・年代別に見ると、『40～50代』の「備えをしている」が41%と他の年代と比べて最も高くなっている。
・性別に見ると、『女性』の「備えをしている」が40%と『男性』の32%より８ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

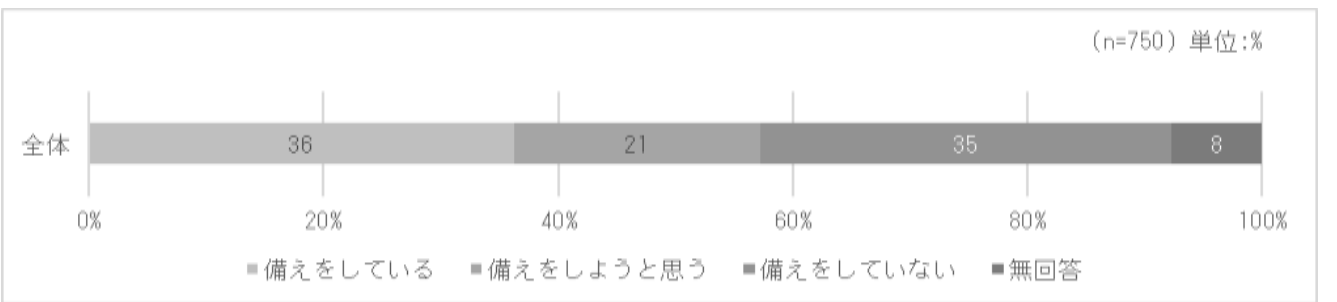
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-6	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

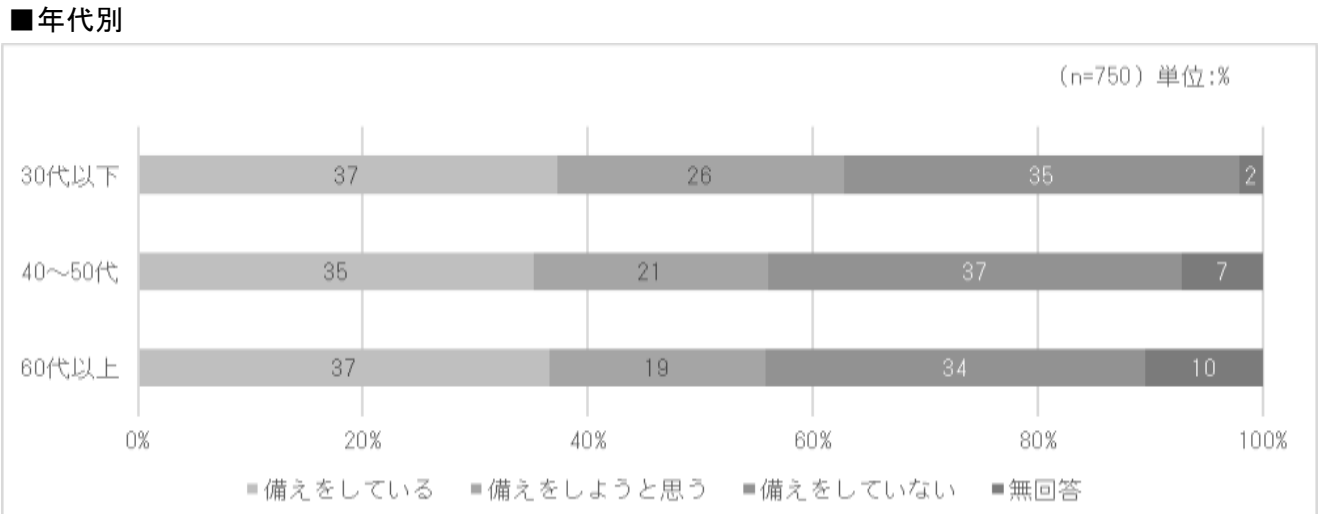
6.家族が落ち合う場所を決めている



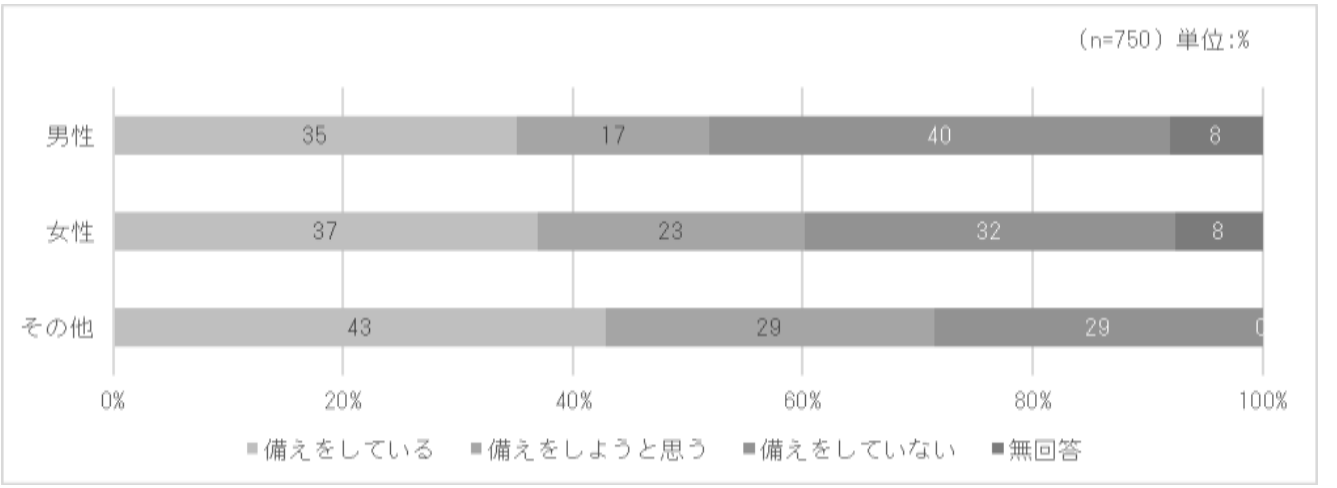
■全体



■年代別



■性別



「備えをしている」の割合は４割弱

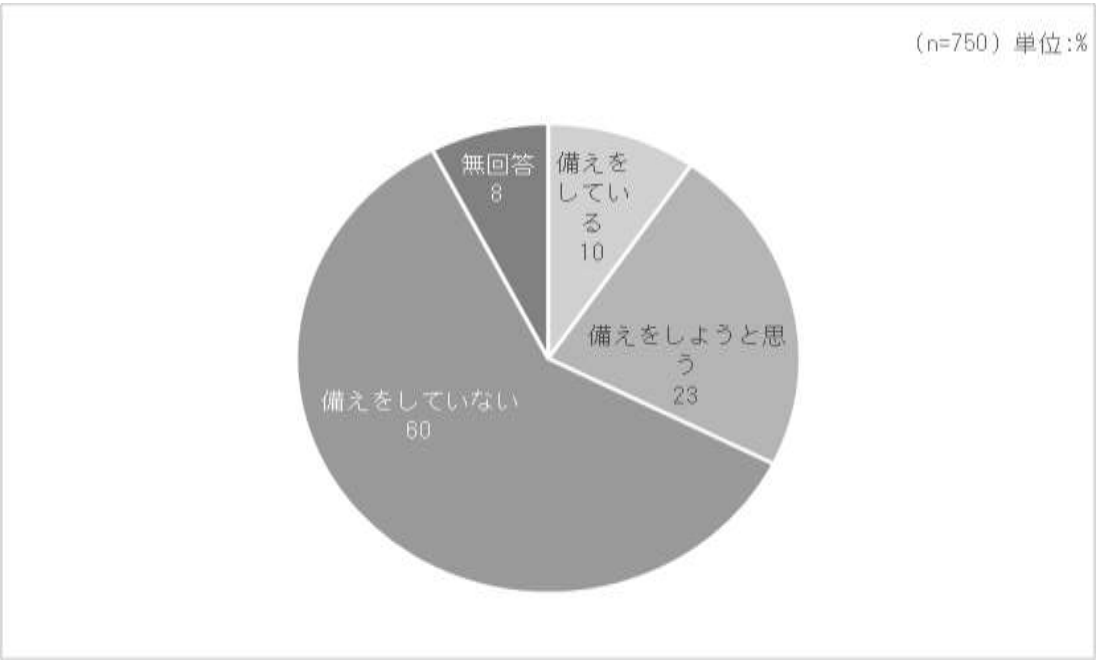
・家族が落ち合う場所を決めている割合について見ると、「備えをしている」が36%となっている。
・年代別に見ると、大きな違いは見られない。
・性別に見ると、『男性』の「備えをしていない」が40%と『女性』の32%より８ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

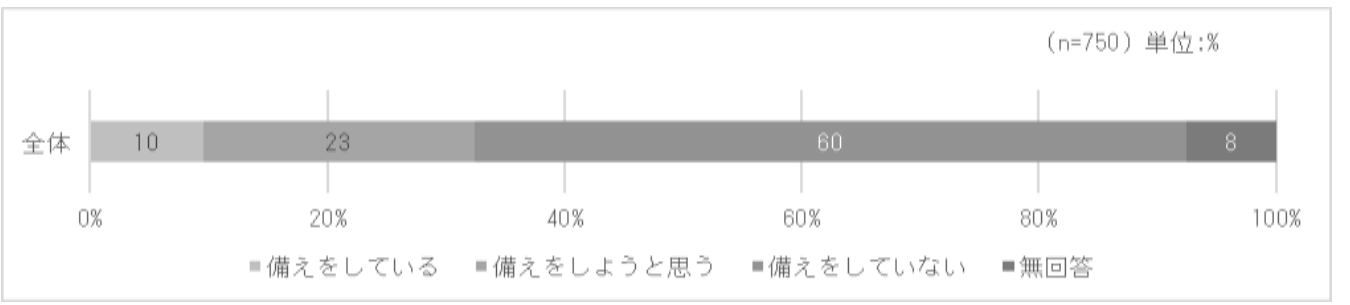
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-7	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

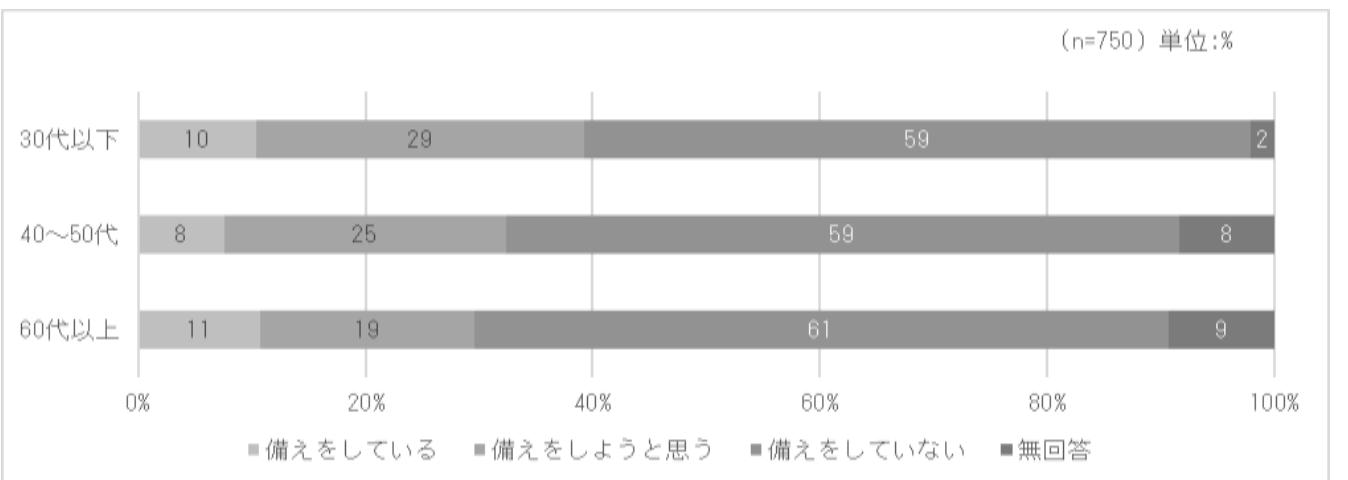
7. 災害用伝言ダイヤル（171）の使い方を家族で共有している



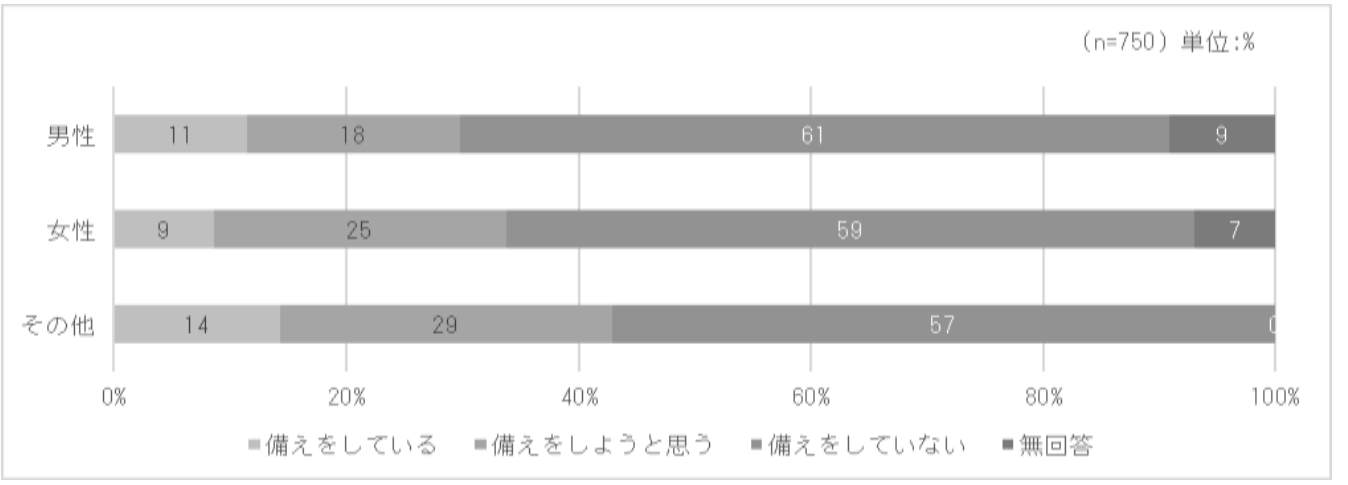
■全体



■年代別



■性別



「備えをしていない」の割合は約６割

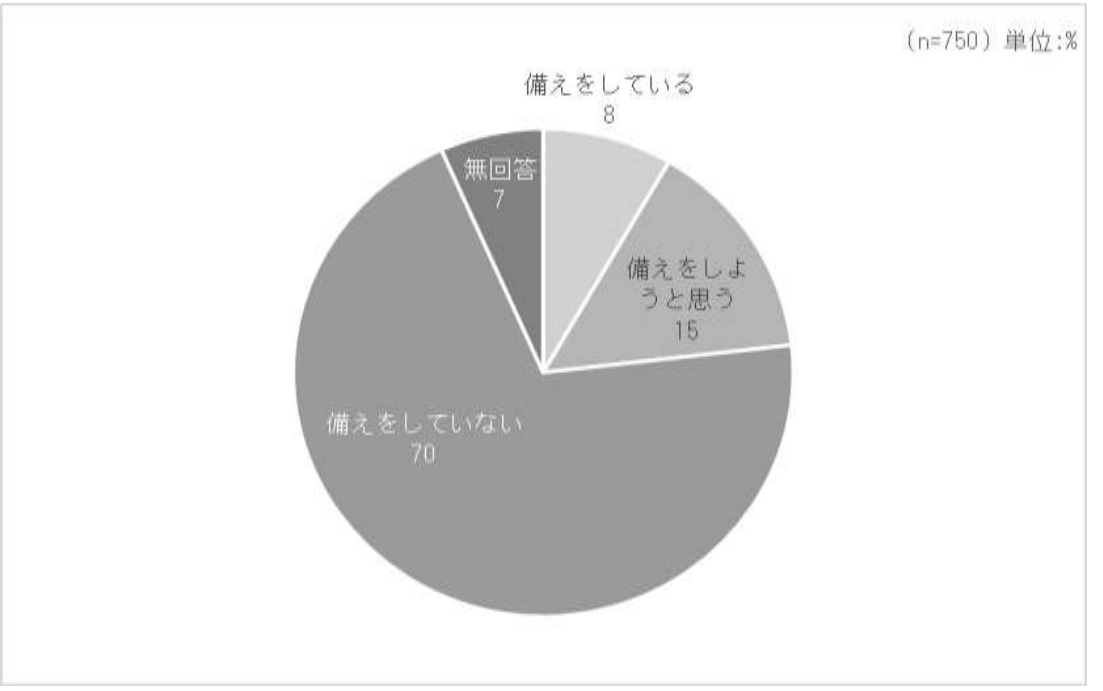
・災害用伝言ダイヤル（171）の使い方を家族で共有している割合について見ると、「備えをしていない」が60%となっている。
・年代別に見ると、『40代～50代』の「備えをしている」が８%と他の年代と比べて低い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の「備えをしようと思う」が25%と『男性』の18%より７ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

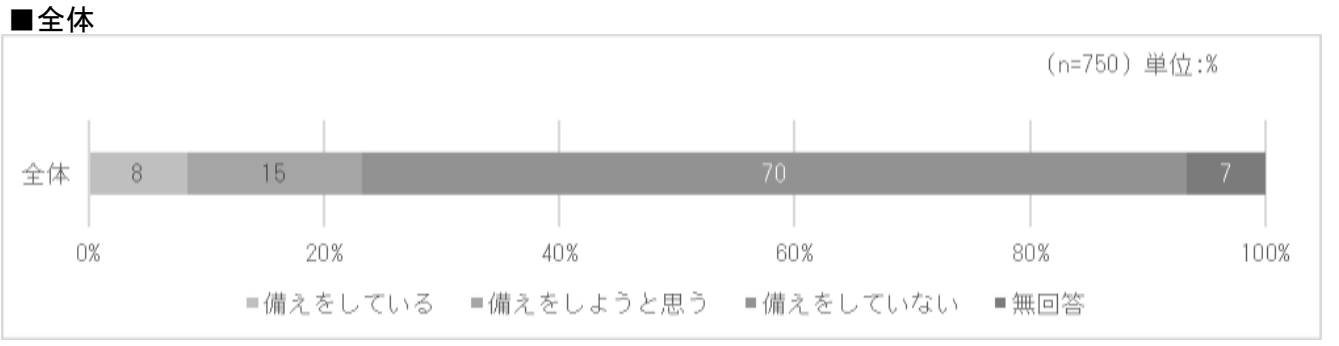
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-8	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

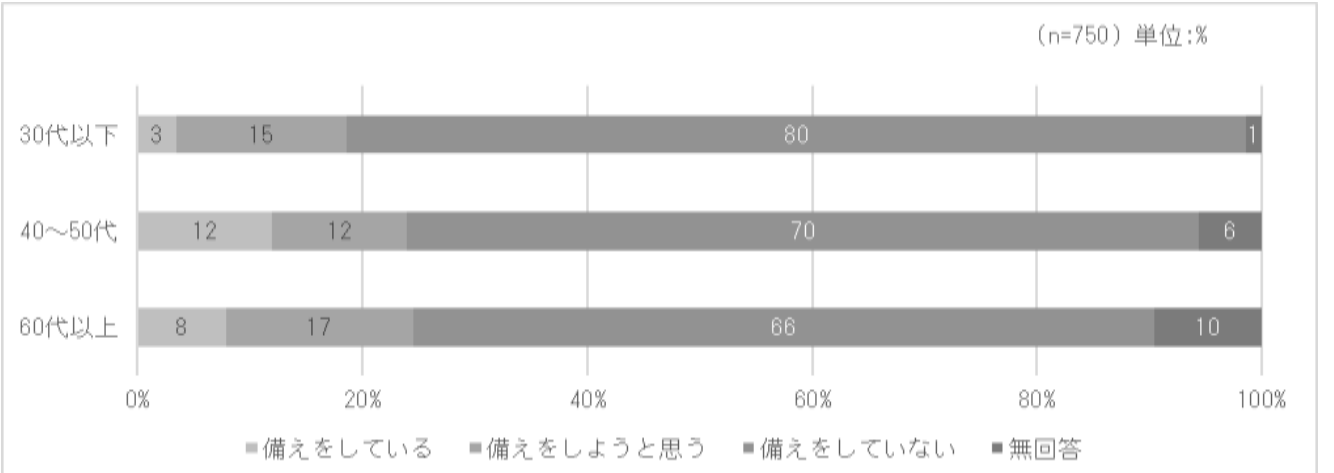
8.『大阪市防災アプリ』をダウンロードしている



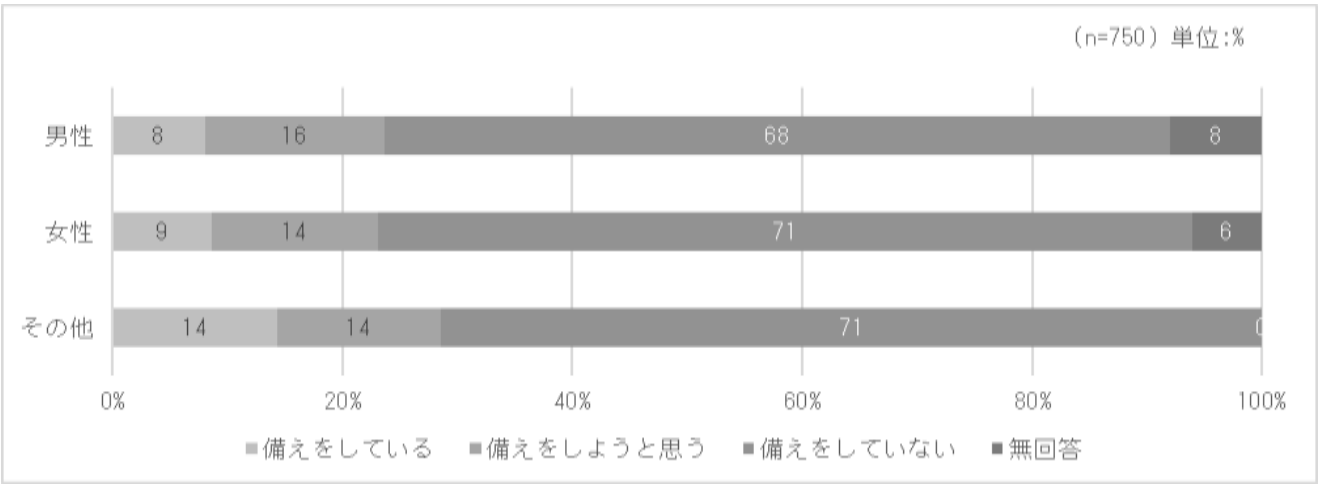
■全体



■年代別



■性別



「備えをしていない」の割合は約７割

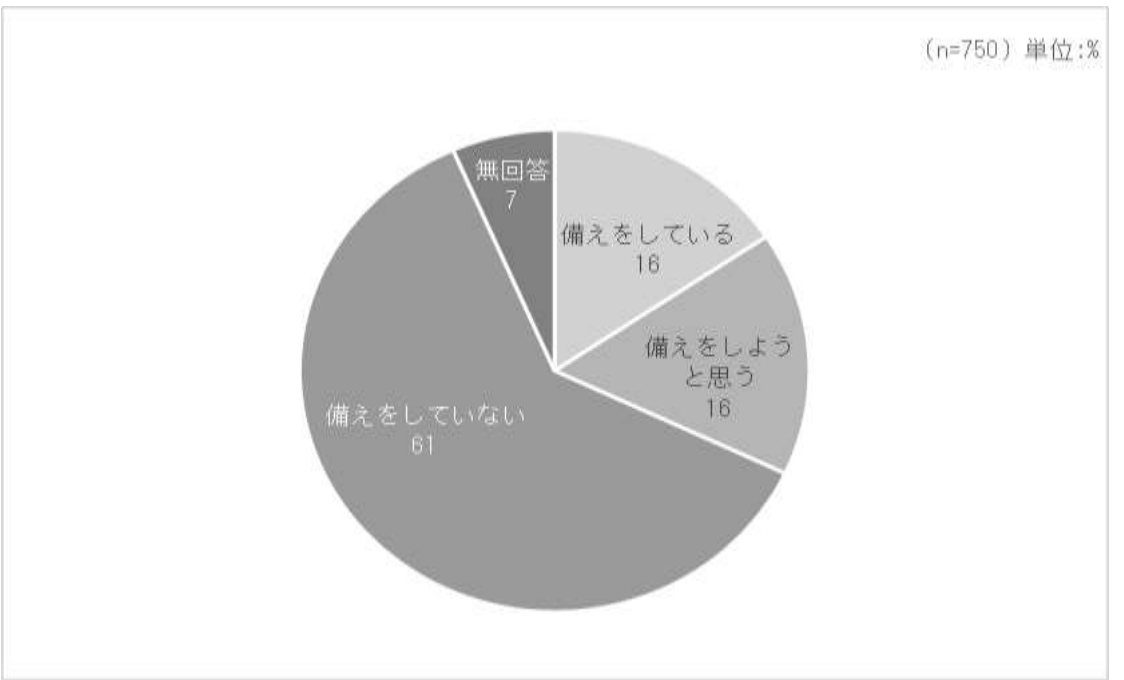
・『大阪市防災アプリ』をダウンロードしている割合について見ると、「備えをしていない」が70%となっている。
・年代別に見ると、『30代以下』の「備えをしていない」が80%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、大きな違いは見られない。

3 アンケートの結果

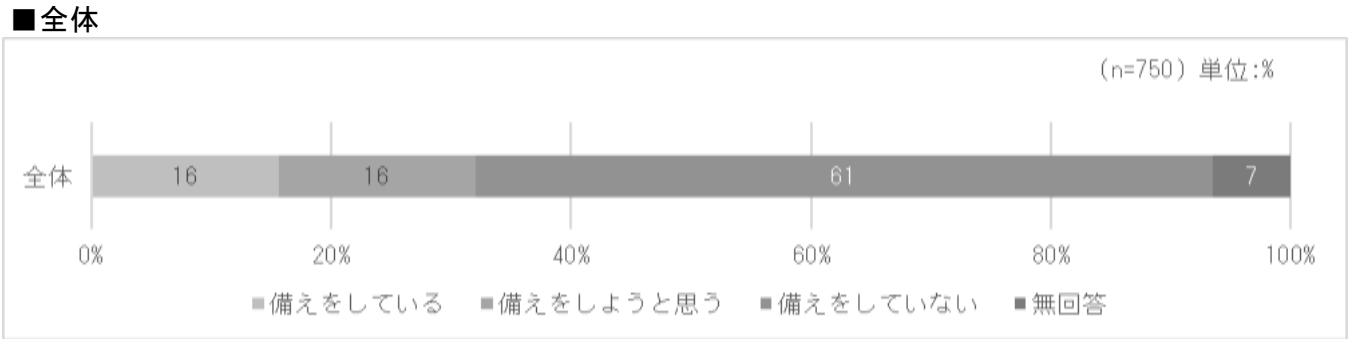
3-1. 防災について	
問7で「１　何かひとつでも災害への備えをしている」と回答した方におたずねします。	
問8-9	災害の備えについて次の項目をお答えください。

●災害の備えの実行度（単数回答）

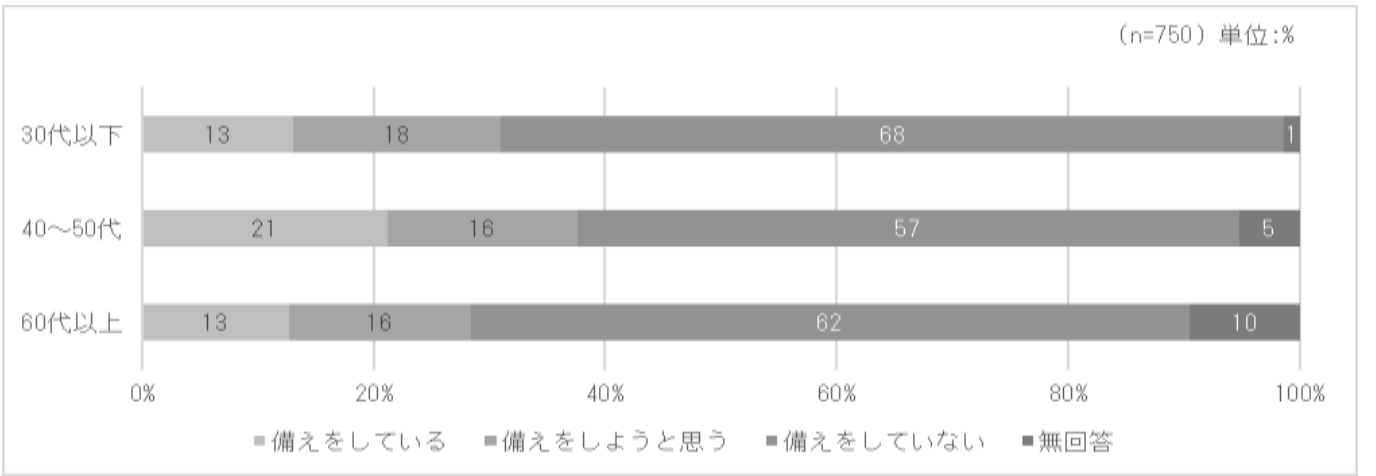
9.大阪市や都島区のホームページ・Facebook・Twitter などで災害情報を見られるようにしている



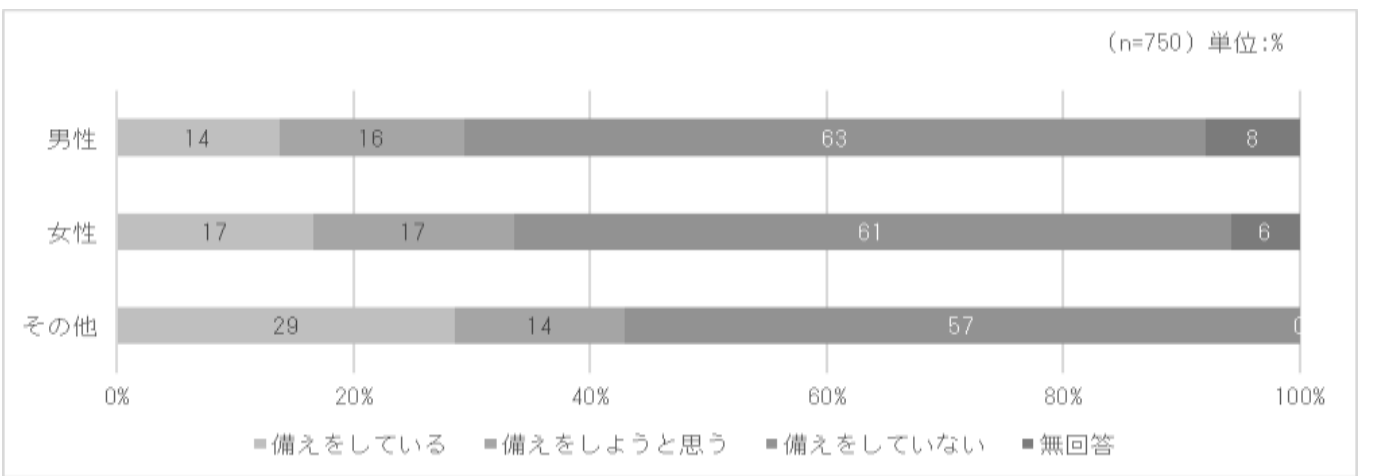
■全体



■年代別



■性別



「備えをしていない」の割合は約６割

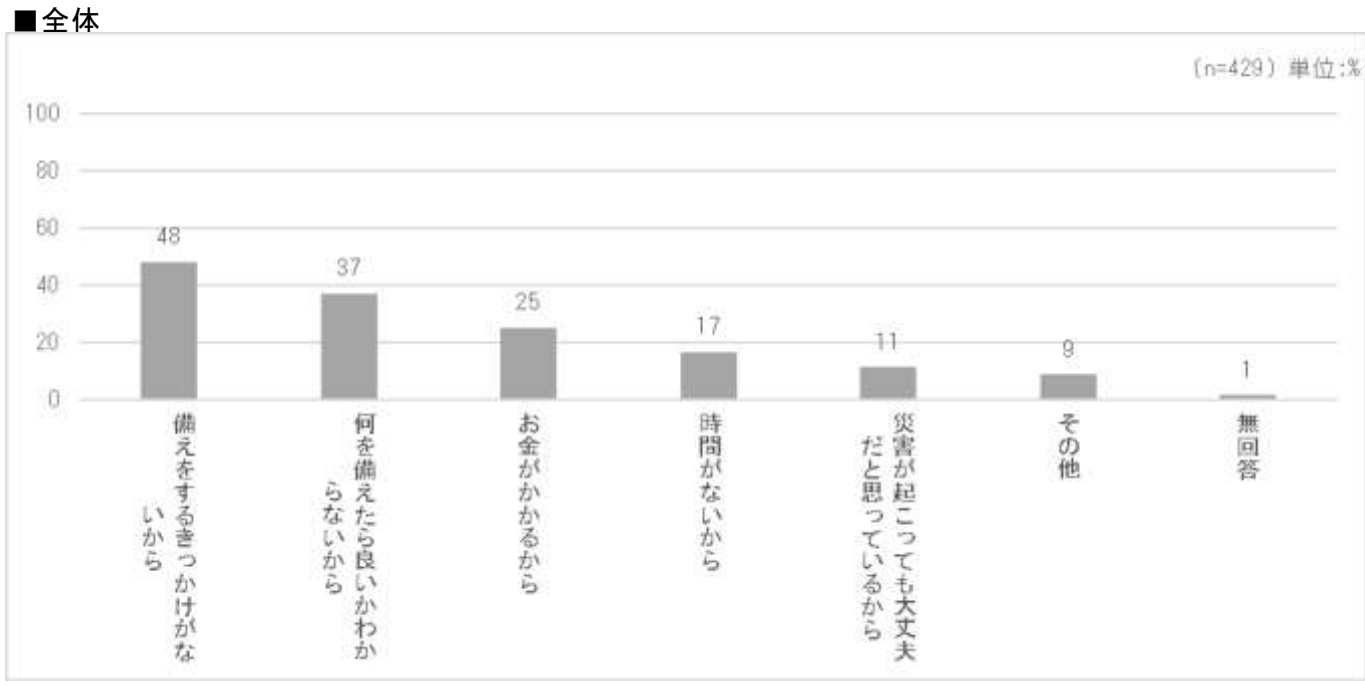
・大阪市や都島区のホームページ・Facebook・Twitterなどで災害情報を見られるようにしている割合について見ると、「備えをしていない」が61%となっている。
・年代別に見ると、『40代～50代』の「備えをしている」が21%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、大きな違いは見られない。

3 アンケートの結果

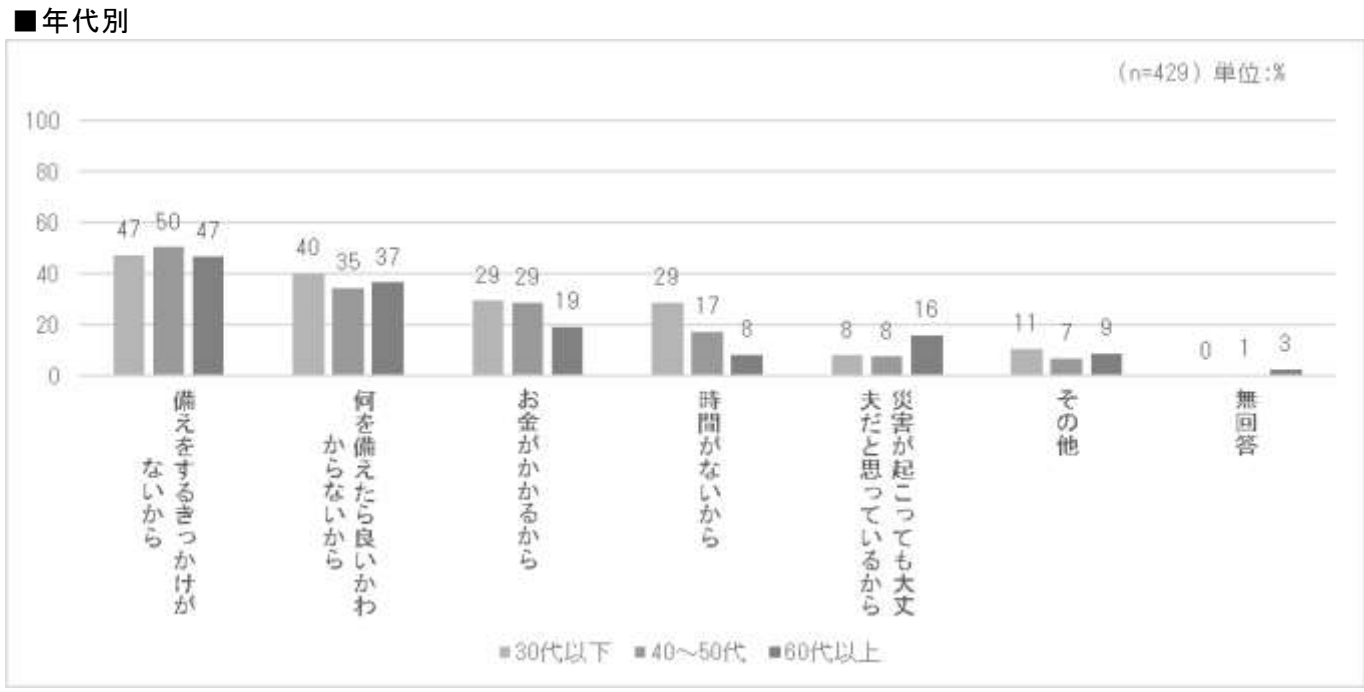
3-1. 防災について	
問7で「備えをしようと思っているが今はまだしていない」「備えをしていない」と回答した方におたずねします。	
問9	備えをしていない理由として当てはまるものをお答えください。 （いくつでも選んでください）

●備えをしていない理由（複数回答）

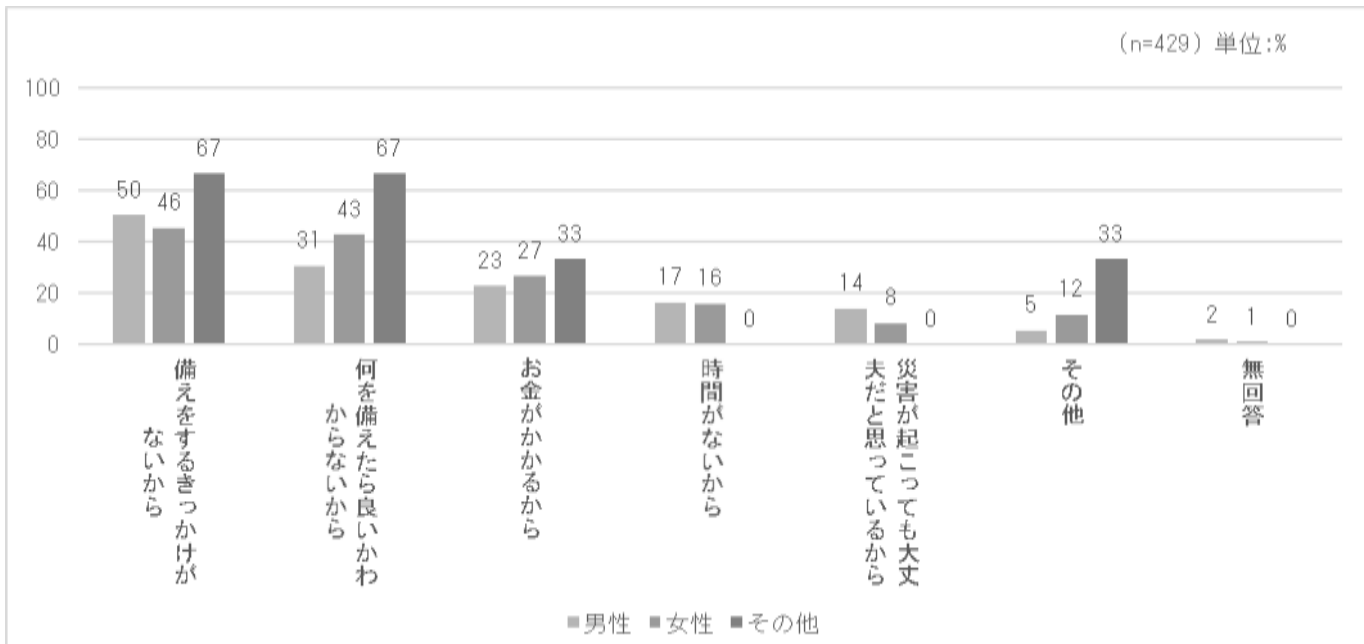
■全体



■年代別



■性別



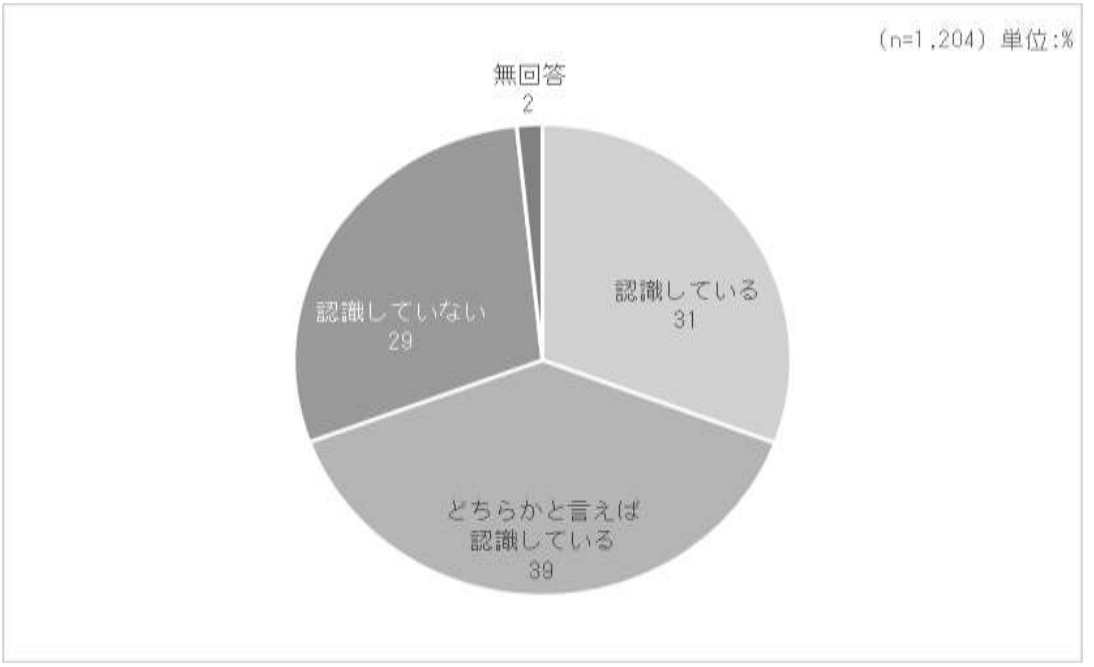
「備えをするきっかけがないから」の割合が最も高く約半数

・備えをしていない理由について見ると、「備えをするきっかけがないから」が48%と最も高く、次いで「何を備えたら良いかわからないから」が37%、「お金がかかるから」が25%の順となっている。
・年代別に見ると、『30代以下』の「時間がないから」が29%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の「何を備えたら良いかわからないから」「お金がかかるから」が『男性』と比べて高い傾向にある。

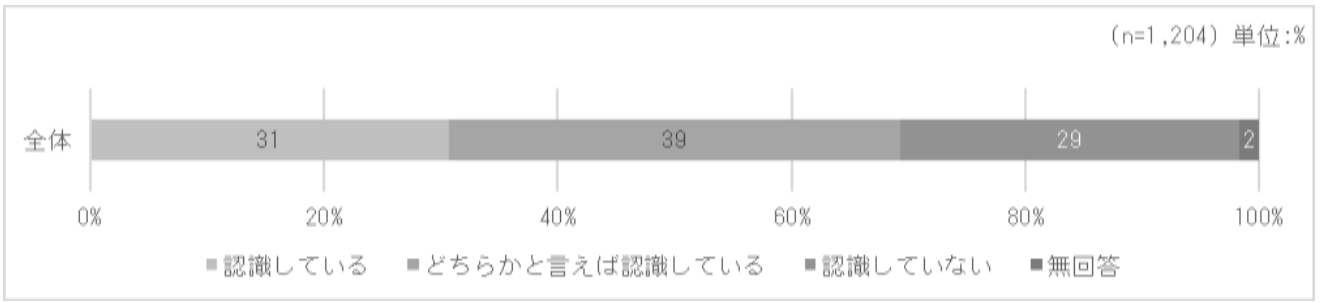
3 アンケートの結果

3-1. 防災について	
問10	地域住民同士による助け合い（共助）の重要性について認識していますか。 （１つだけ選んでください）

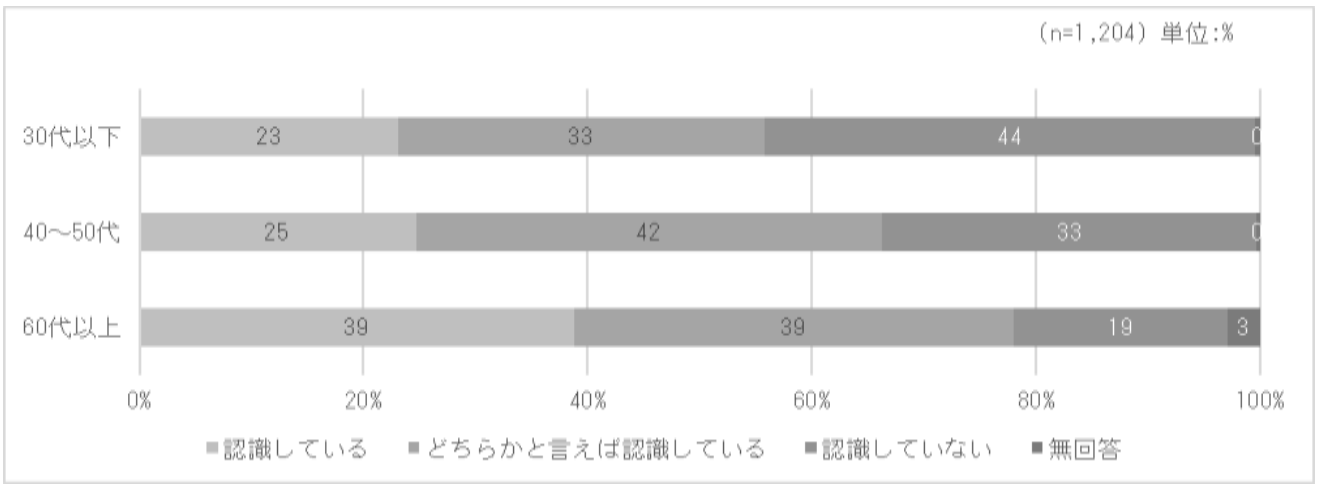
●助け合い（共助）の重要性（単数回答）



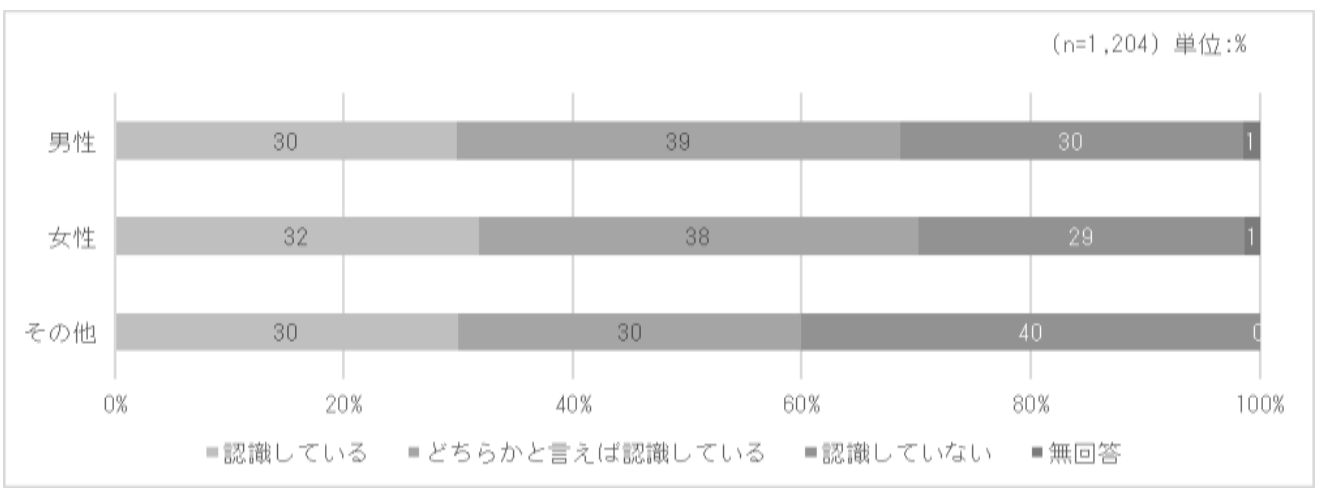
■全体



■年代別



■性別



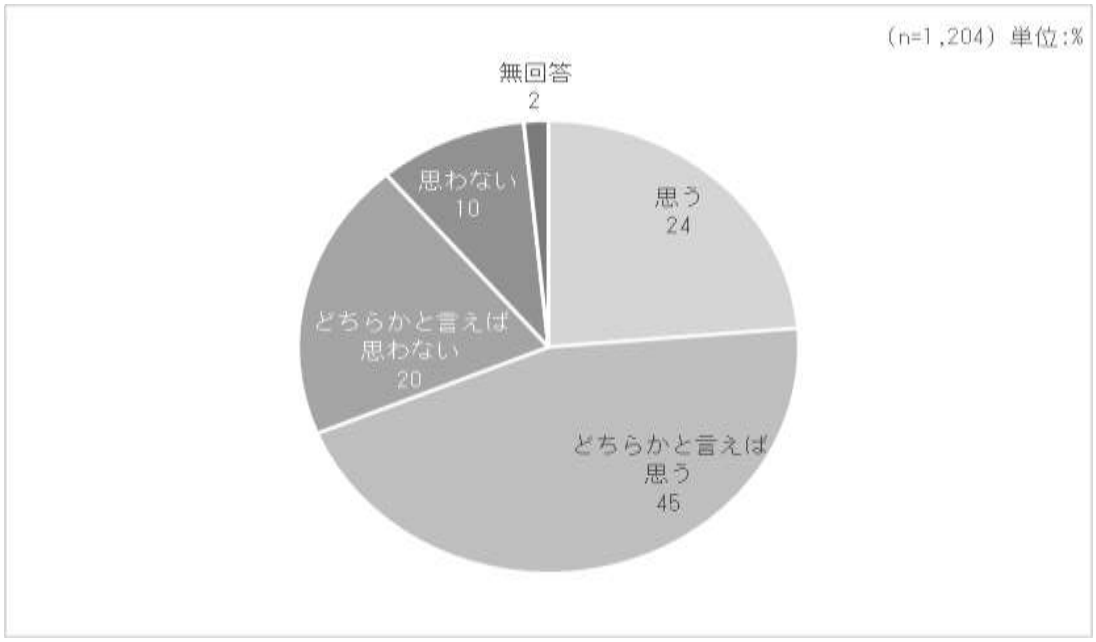
「意識している」「どちらかと言えば認識している」の合算の割合は約７割

・助け合い（共助）の重要性について見ると、“意識している”（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）が70%となっている。
・年代別に見ると、年代が上がるにつれて“意識している”（「意識している」＋「どちらかと言えば意識している」）が高い傾向にある。
・性別に見ると、大きな違いは見られない。

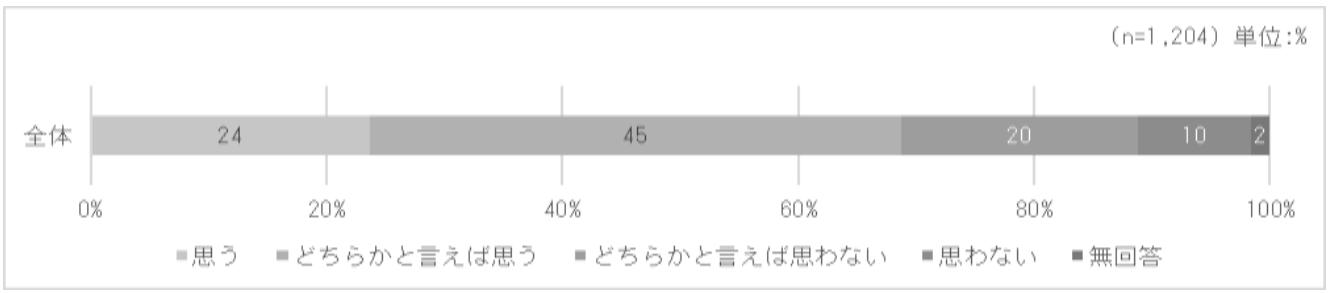
3 アンケートの結果

3-2：防犯について	
問11	区役所が行う防犯啓発の取り組みが地域の安全や、区民の防犯意識の向上につながっていると思いますか。（１つだけ選んでください）

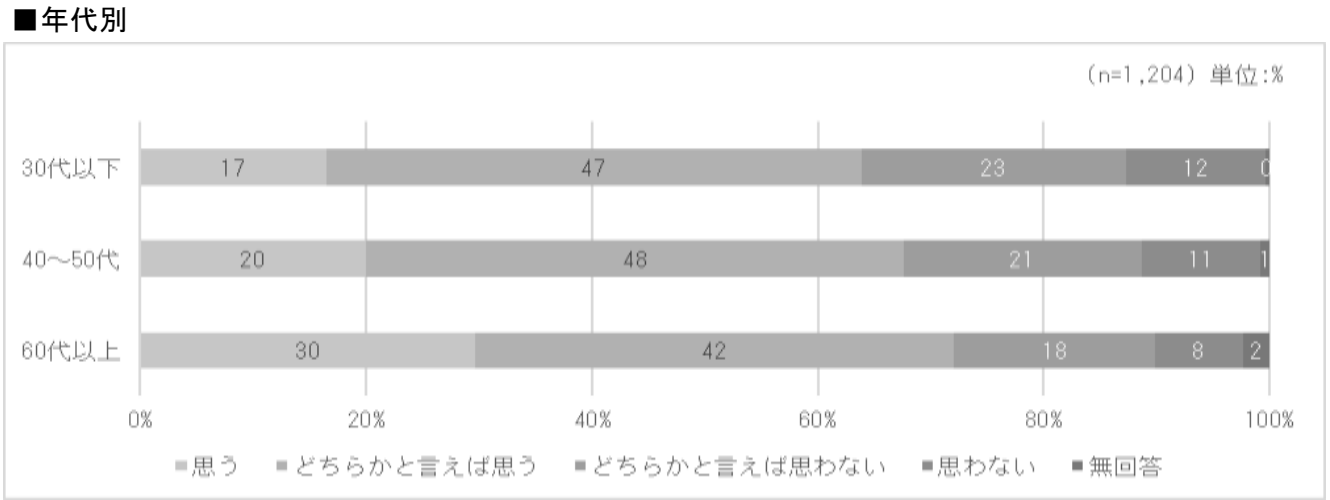
●防犯啓発の取り組み（単数回答）



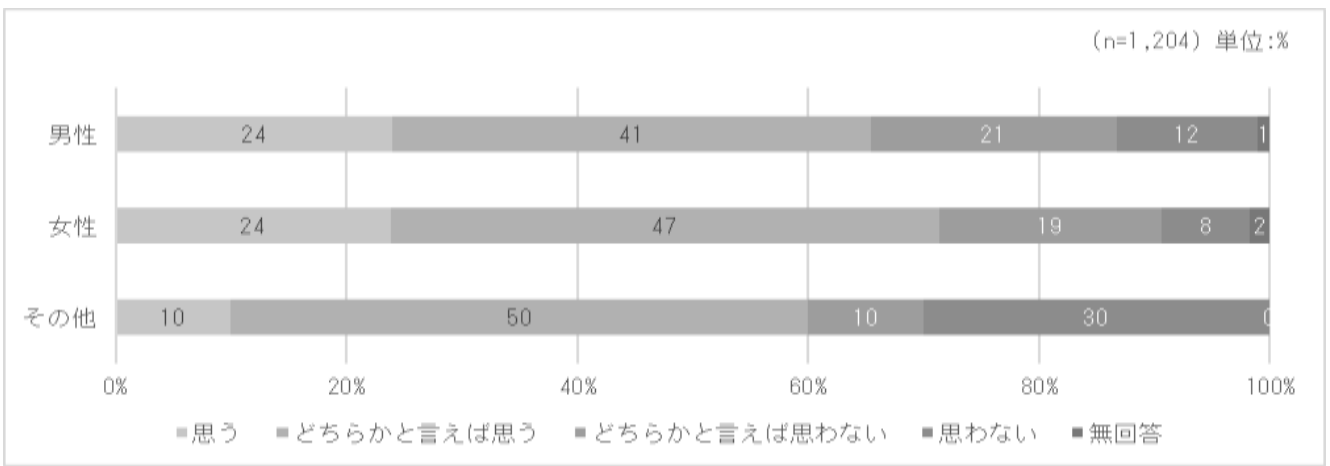
■全体



■年代別



■性別



「思う」「どちらかと言えば思う」の合算の割合は約７割

・防犯啓発の取り組みについて見ると、“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が69%となっている。
・年代別に見ると、年代が上がるにつれて“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が高い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が71%と『男性』の65%より６ポイント高くなっている。

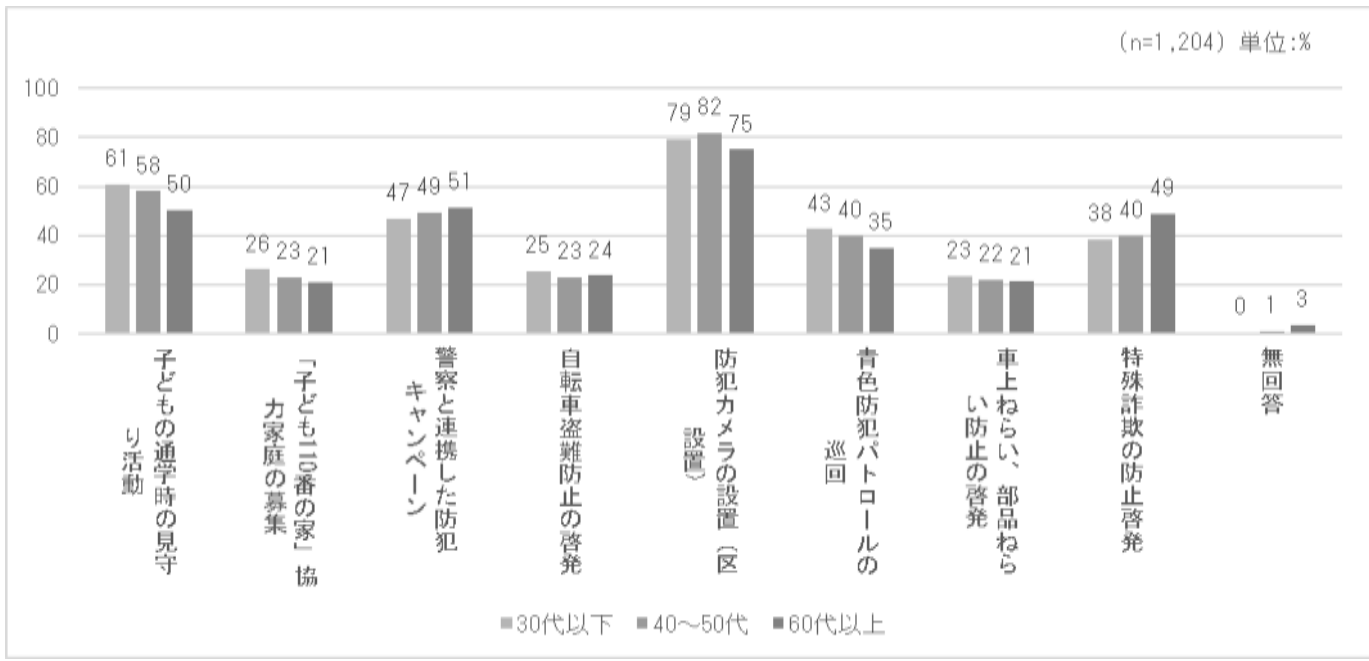
3 アンケートの結果

3-2：防犯について	
問12	区民の防犯意識を向上させるには、どのような防犯対策に重点をおく必要があると思いますか。（いくつでも選んでください）

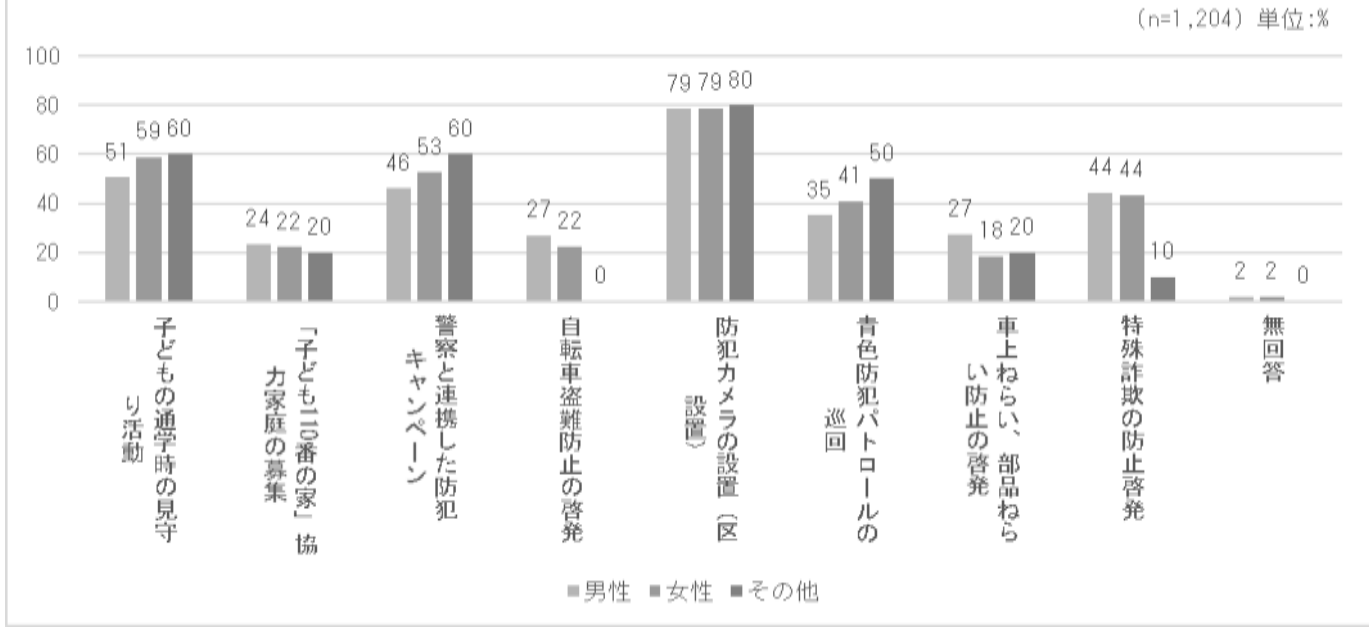
●重点をおいて取り組む防犯対策（複数回答）

■全体

■年代別



■性別



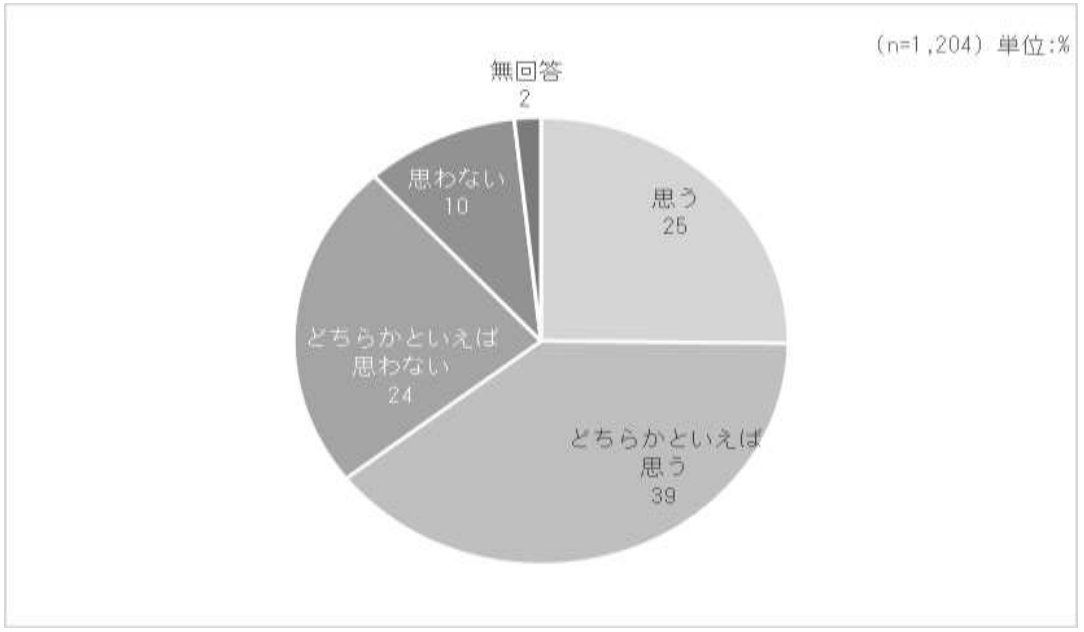
「防犯カメラの設置（区設置）」の割合が最も高く約８割

・重点をおく防犯対策項目について見ると、「防犯カメラの設置（区設置）」が78%と最も高く、次いで「子どもの通学時の見守り活動」が55%、「警察と連携した防犯キャンペーン」が50%の順となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の「子どもの通学時の見守り活動」が50%と他の年代と比べて低い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の「子どもの通学時の見守り活動」が59%と『男性』の51%より８ポイント高くなっている。

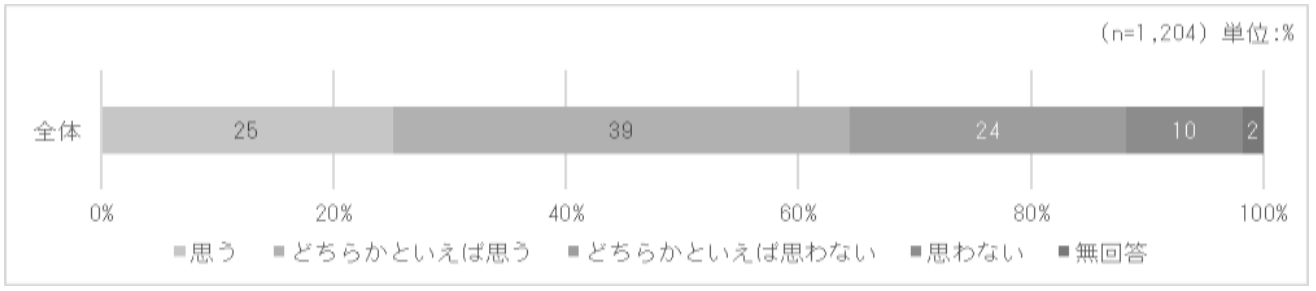
3 アンケートの結果

3-2：防犯について	
問13	区内での特殊詐欺発生状況を踏まえて、区役所ではさまざまな啓発活動を実施しています。これらの啓発活動は効果的だと思いますか。（１つだけ選んでください）

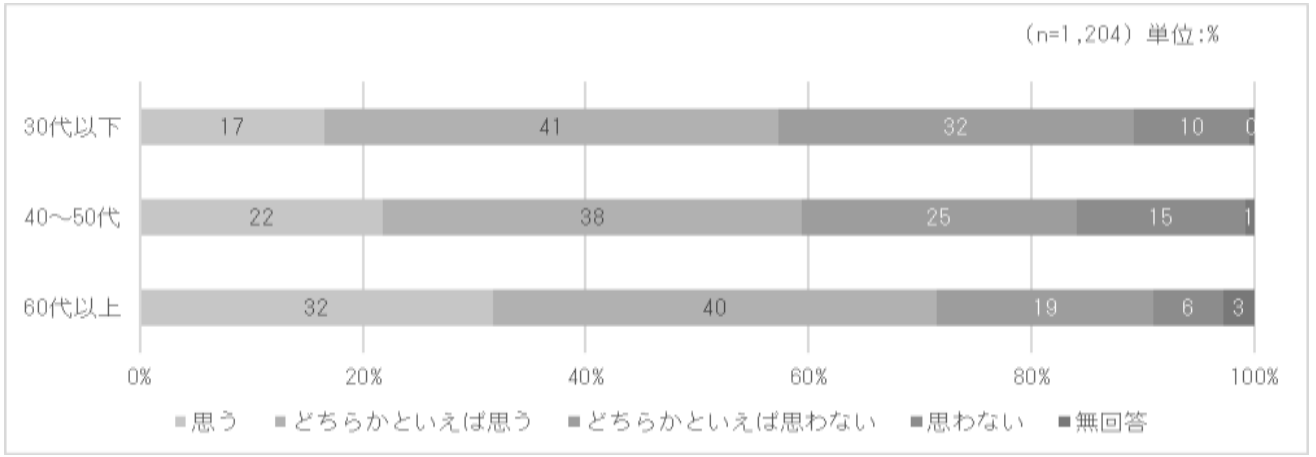
●特殊詐欺発生状況を踏まえた啓発活動（単数回答）



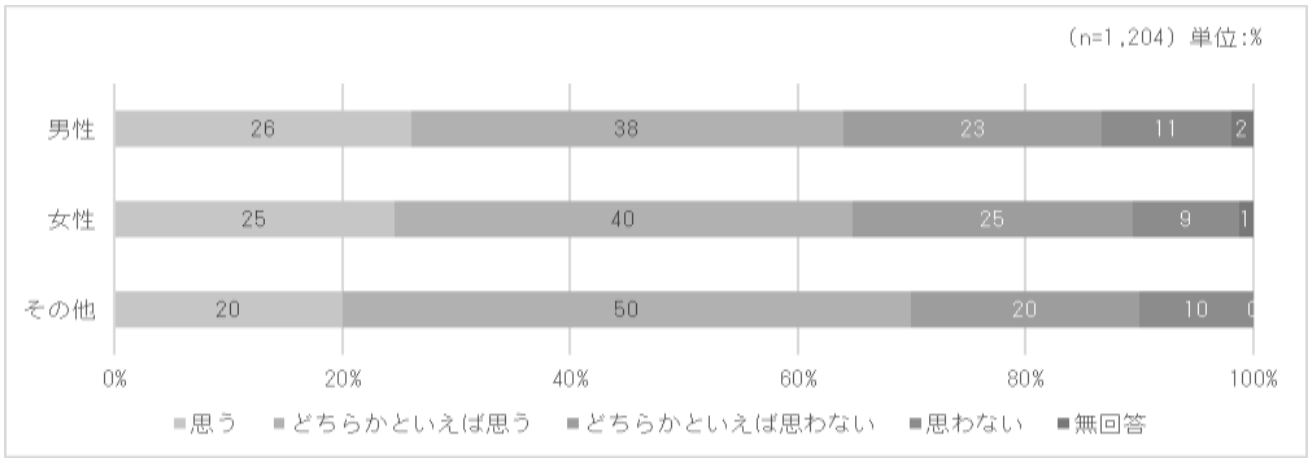
■全体



■年代別



■性別



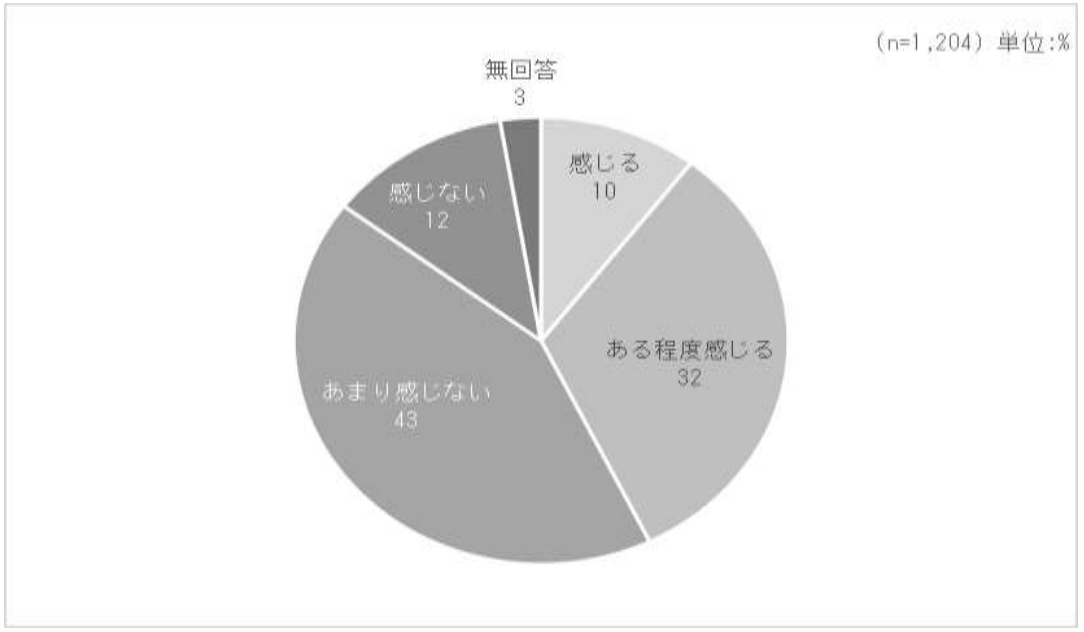
「思う」「どちらかと言えば思う」の合算の割合は６割強

・特殊詐欺発生状況を踏まえた啓発活動について見ると、“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が64%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が72%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、大きな違いは見られない。

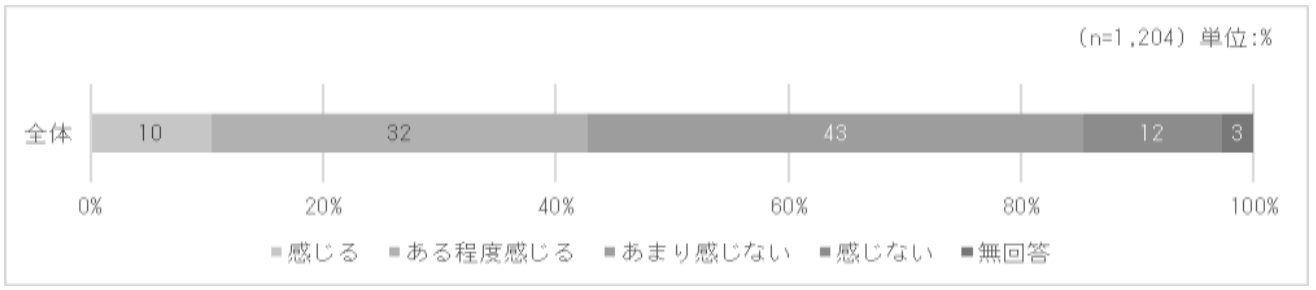
3 アンケートの結果

3-3. マナー向上について	
問14	区役所の取り組みが交通事故防止につながっていると感じますか。 （１つだけ選んでください）

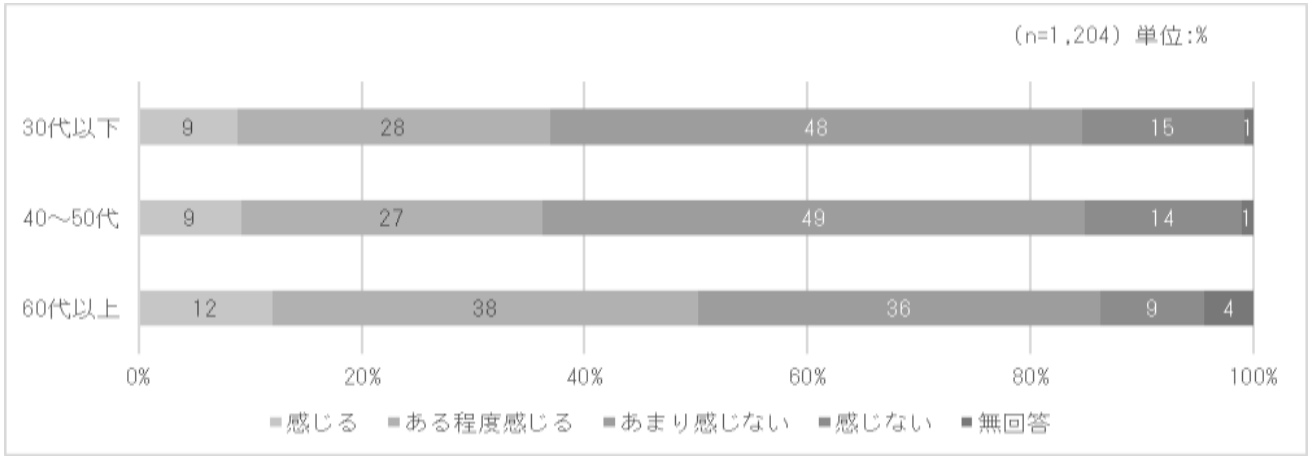
●交通事故防止の取り組み（単数回答）



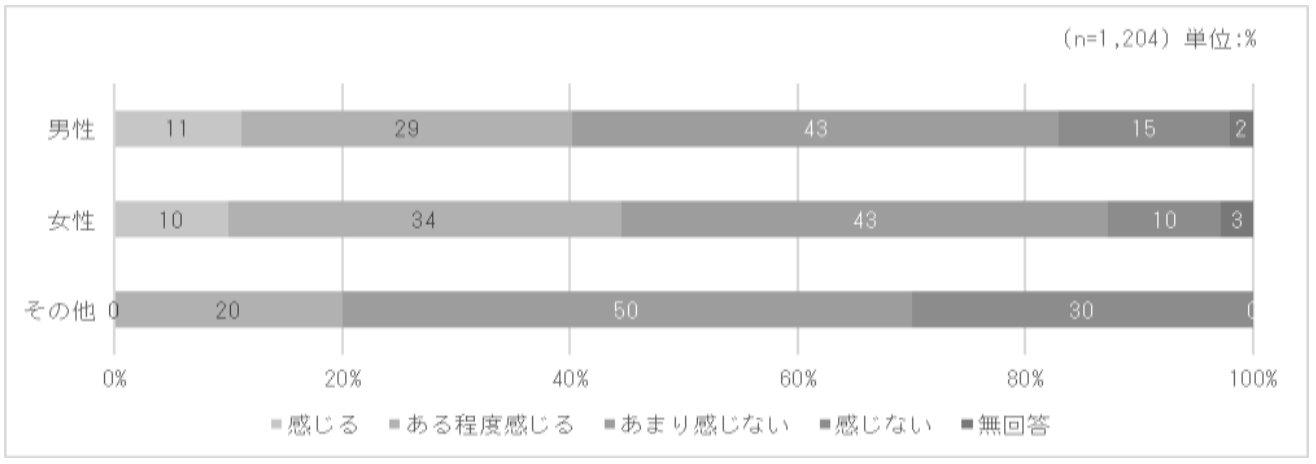
■全体



■年代別



■性別



「あまり感じない」「感じない」の合算の割合は５割半

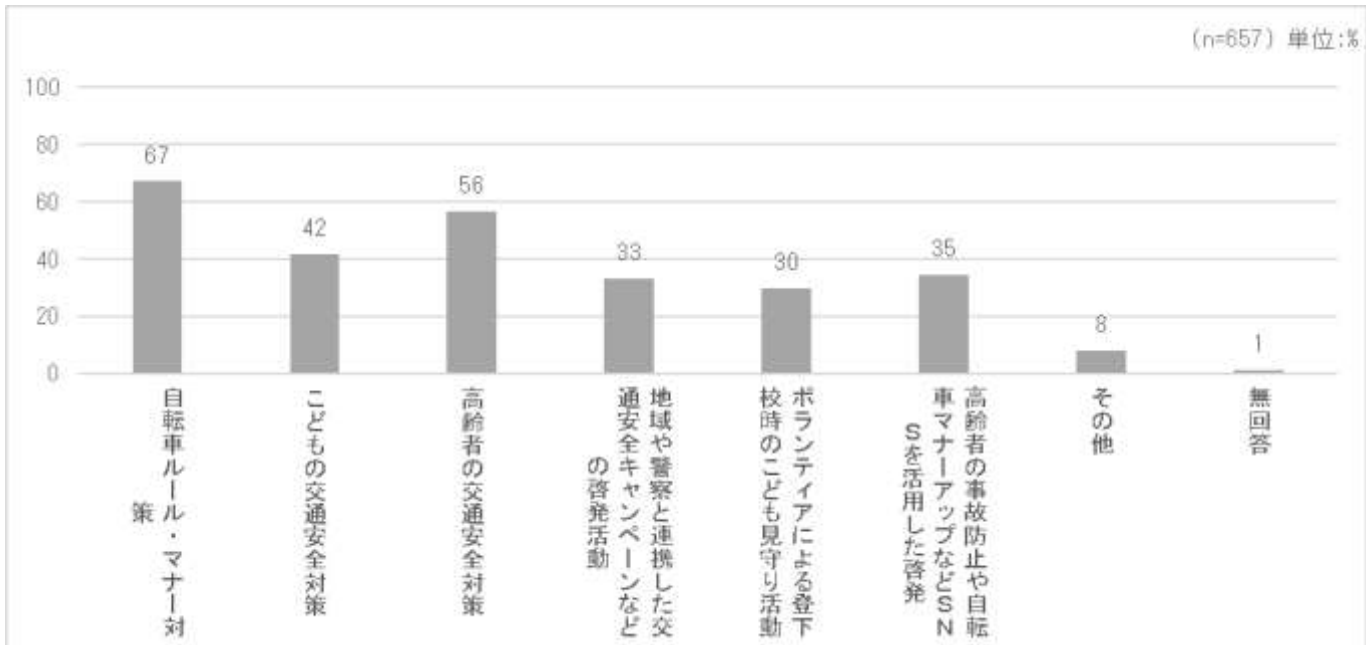
・交通事故防止の取り組みについて見ると、“感じない”（「あまり感じない」＋「感じない」）が55%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が50%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3 アンケートの結果

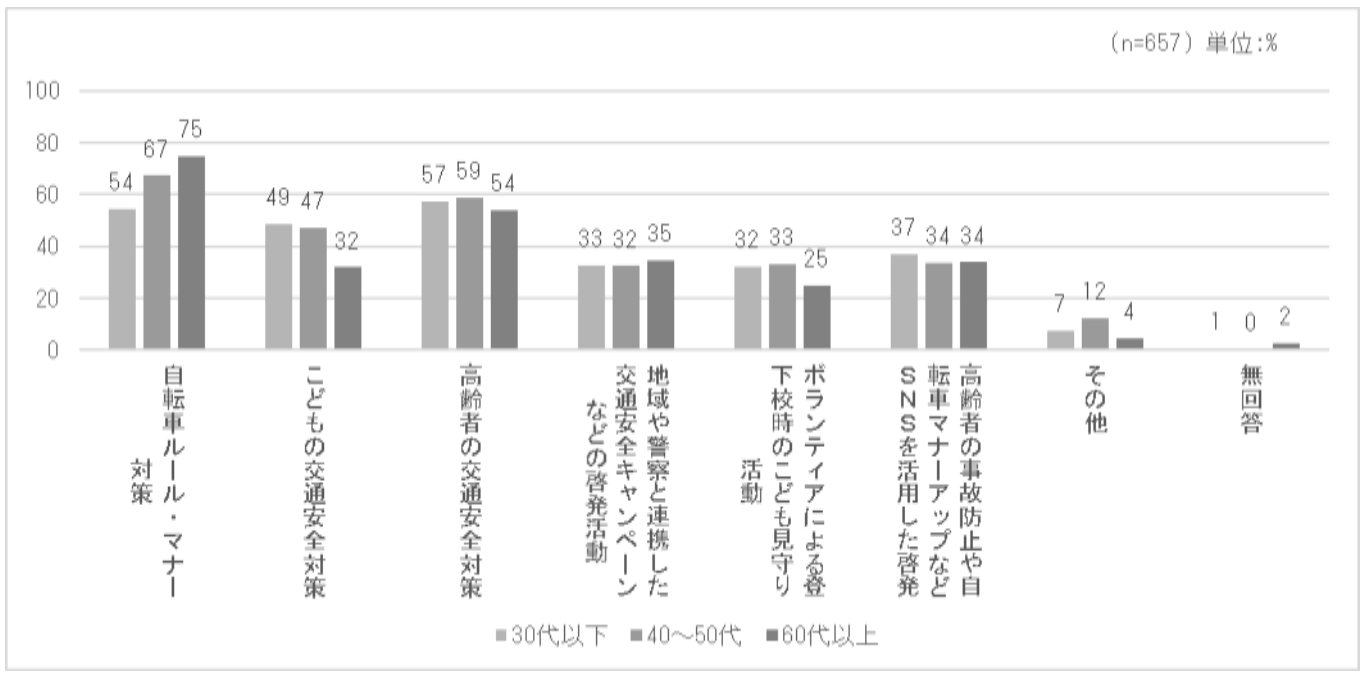
3-3. マナー向上について	
問14で「あまり感じない」「感じない」と回答した方におたずねします。	
問15	今後、どのような交通安全対策を推進していくことが必要だと思いますか。 （いくつでも選んでください）

●交通安全対策推進が必要な項目（複数回答）

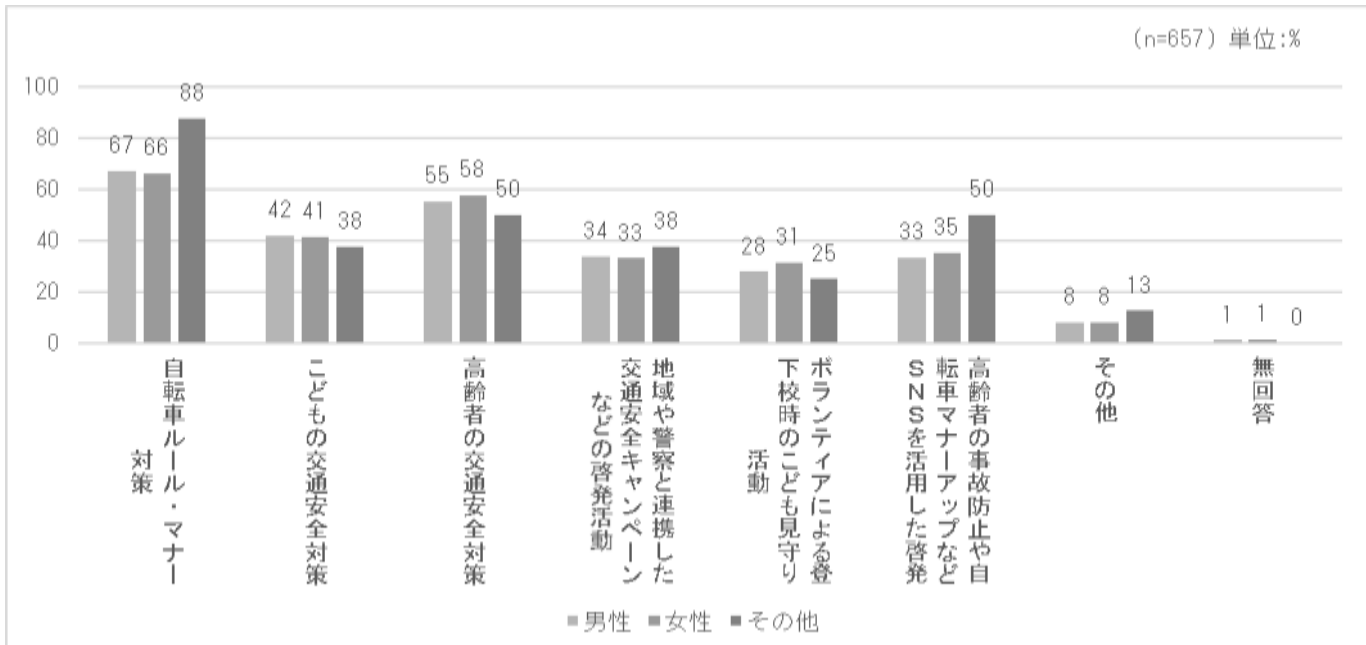
■全体



■年代別



■性別



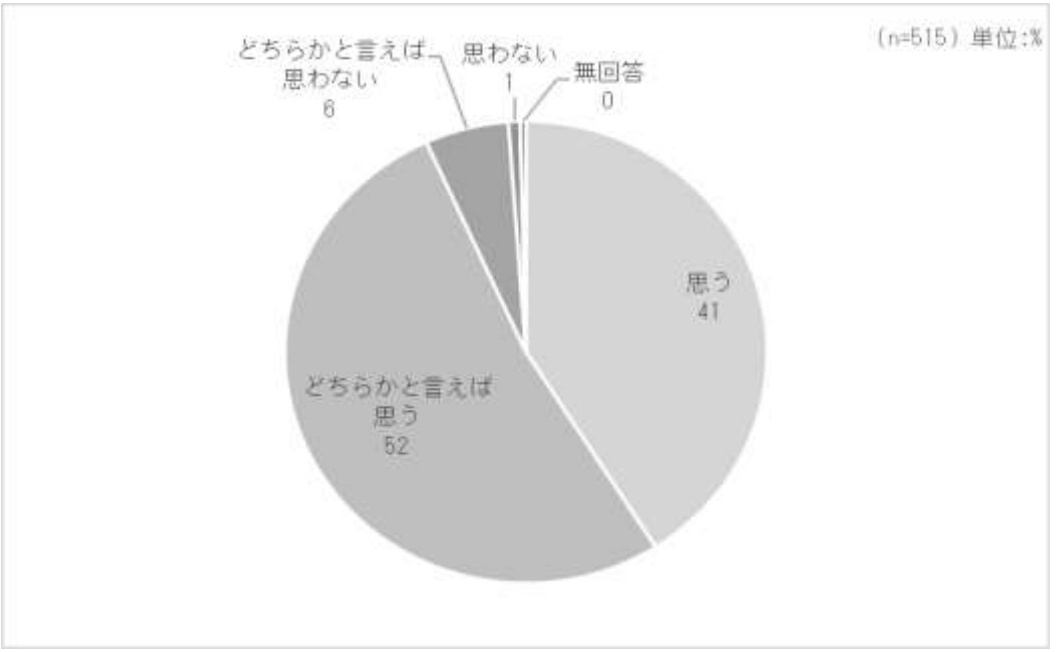
「自転車ルール・マナー対策」の割合が最も高く７割弱

・交通安全対策推進が必要な項目について見ると、「自転車ルール・マナー対策」が67%と最も高く、次いで「高齢者の交通安全対策」が56%、「こどもの交通安全対策」が42%の順となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の「自転車ルール・マナー対策」が75%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、大きな違いは見られない。

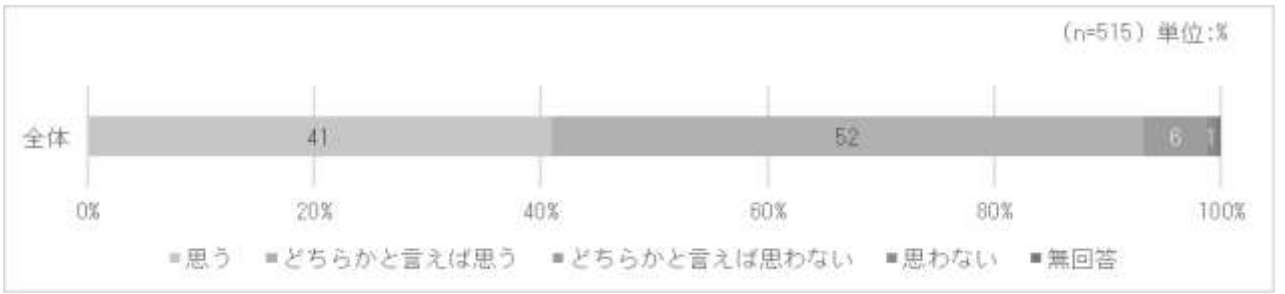
3 アンケートの結果

3-3. マナー向上について	
問16	区役所の取り組みが区民や来街者の環境美化意識の向上につながっていると思いますか。（１つだけ選んでください）

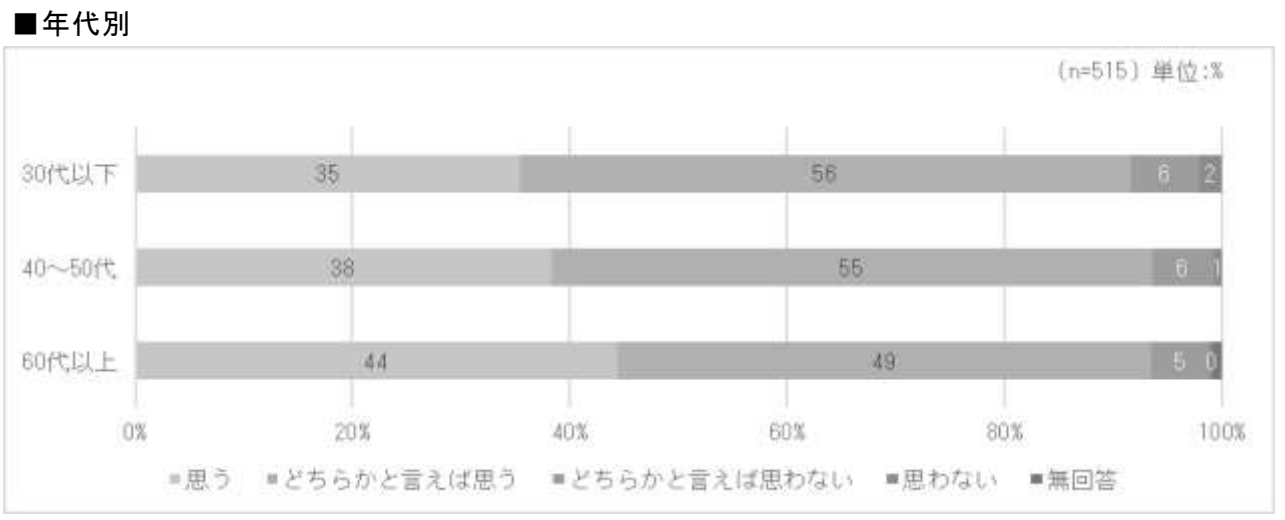
●環境美化意識を高めるための啓発活動（単数回答）



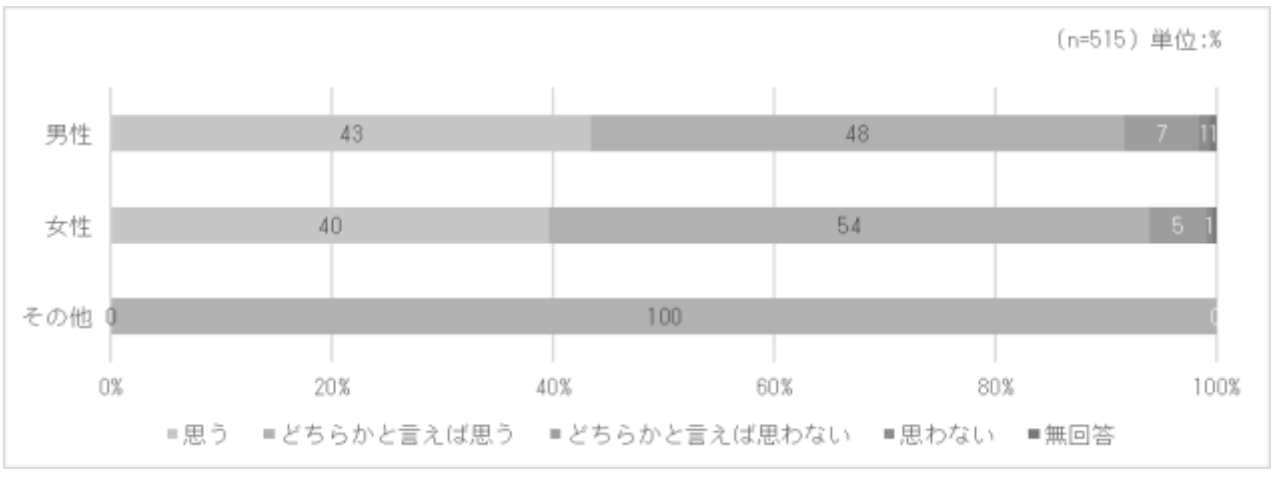
■全体



■年代別



■性別



「思う」「どちらかと言えば思う」の割合は９割強

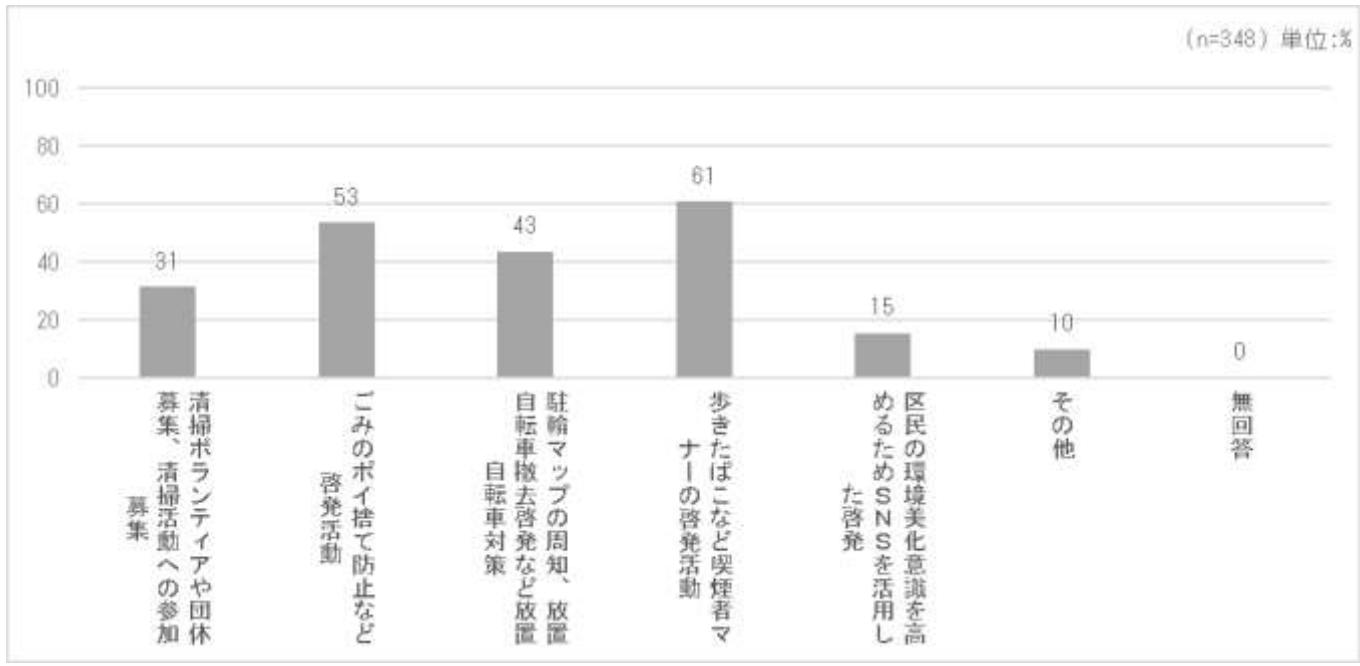
・環境美化意識を高めるための啓発活動について見ると、“思う”（「思う」＋「どちらかと言えば思う」）が93%となっている。
・年代別に見ると、大きな違いは見られない。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3 アンケートの結果

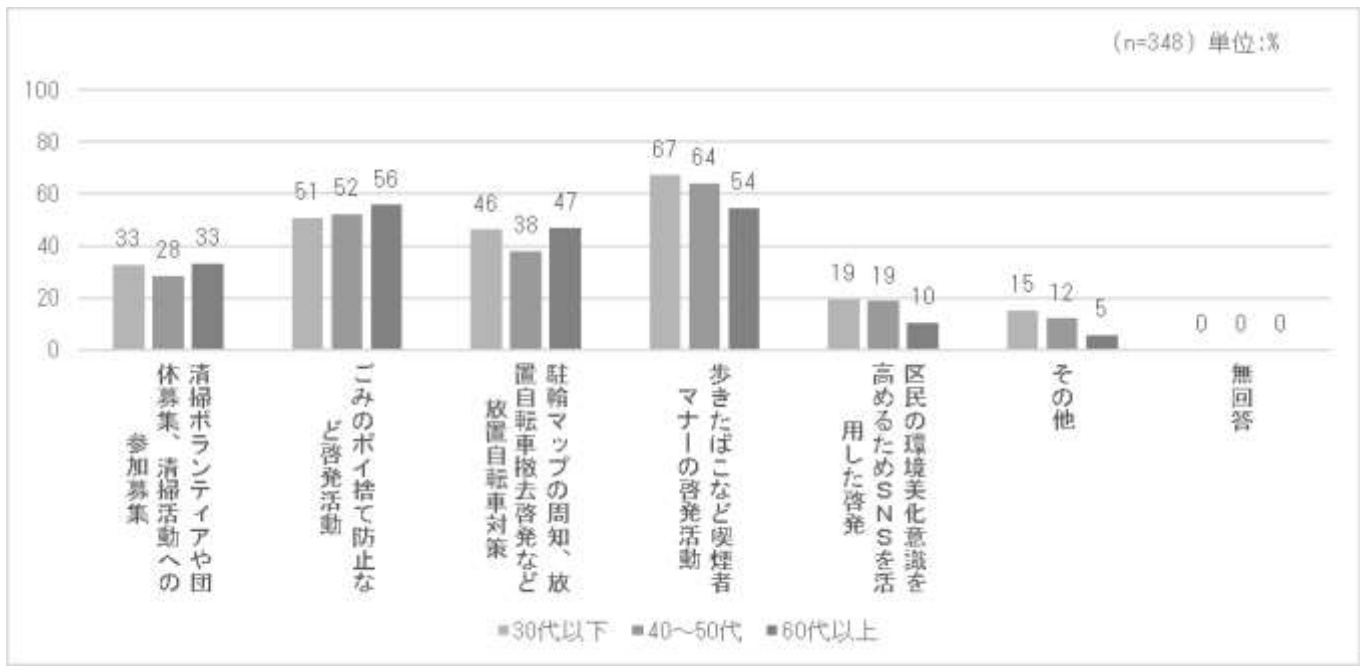
3-3. マナー向上について	
問16で「どちらかと言えば思わない」「思わない」と回答した方におたずねします。	
問17	区民の環境美化意識を高めてもらうためには、今後、どのような啓発活動等を推進していくことが必要だと思いますか。（いくつでも選んでください）

●今後、環境美化意識を高めるために必要な項目（複数回答）

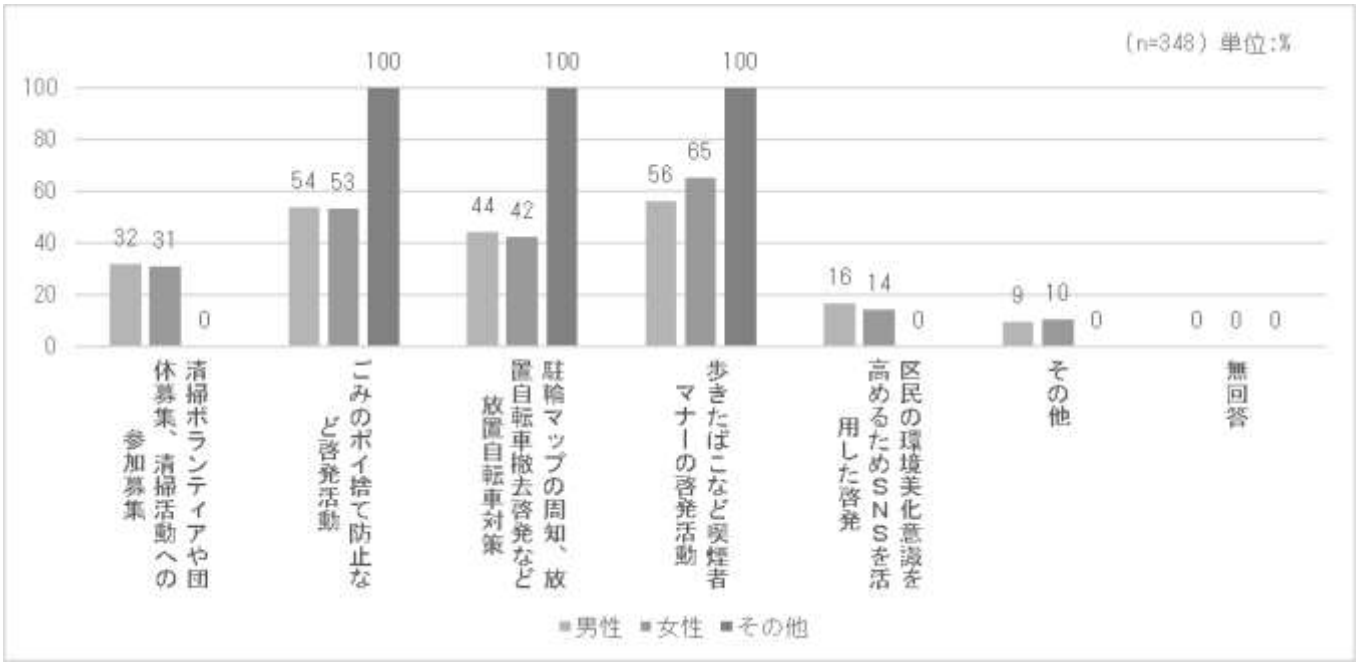
■全体



■年代別



■性別



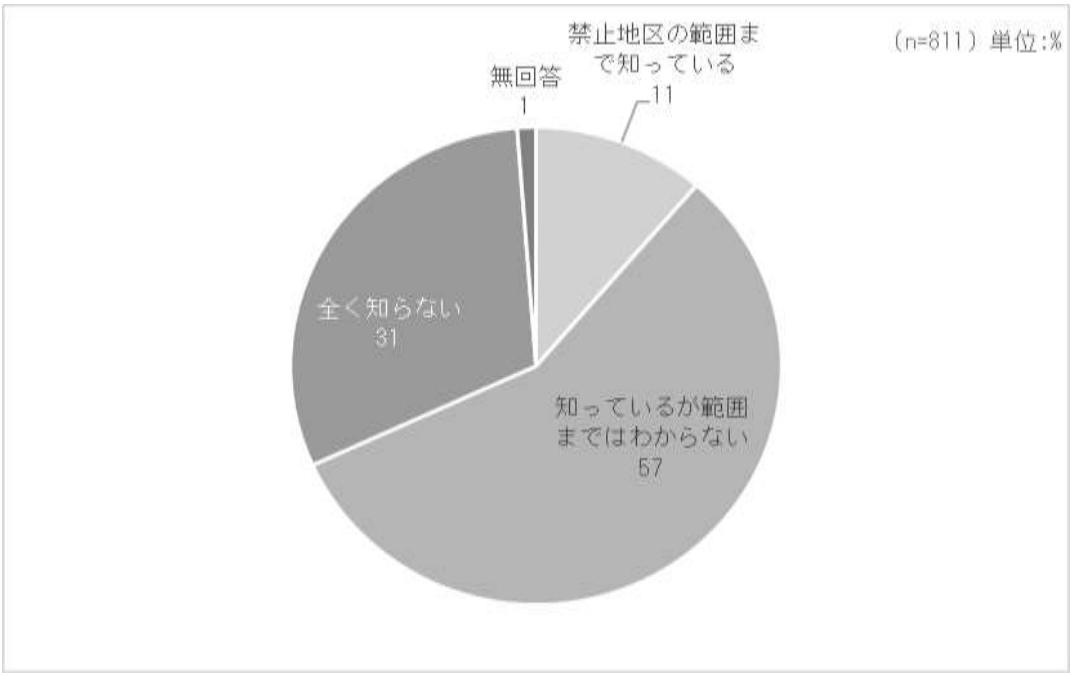
「歩きたばこなど喫煙者マナーの啓発活動」の割合が最も高く約６割

・環境美化意識を高めるための啓発活動について見ると、「歩きたばこなど喫煙者マナーの啓発活動」が61%と最も高く、次いで「ごみのポイ捨て防止など啓発活動」が53%、「駐輪マップの周知、放置自転車撤去啓発など放置自転車対策」が43%の順となっている。
・年代別に見ると、『30代以下』の「歩きたばこなど喫煙者マナーの啓発活動」が67%と他の年代と比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の「歩きたばこなど喫煙者マナーの啓発活動」が65%と『男性』の56%より９ポイント高くなっている。

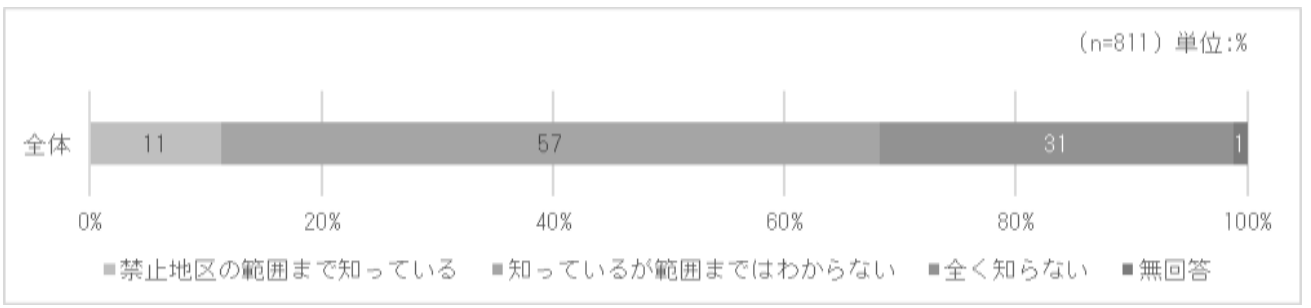
3 アンケートの結果

3-3. マナー向上について	
問18	京橋駅周辺が禁止地区に指定されていることを知っていますか。 （１つだけ選んでください）

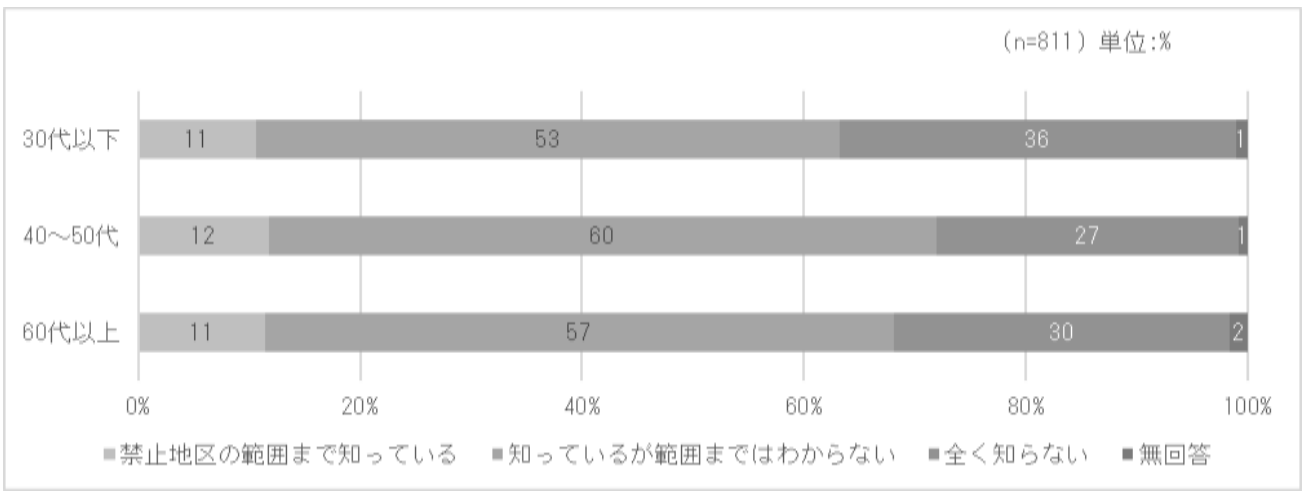
●京橋地区の路上喫煙禁止地区に対する認知度（単数回答）



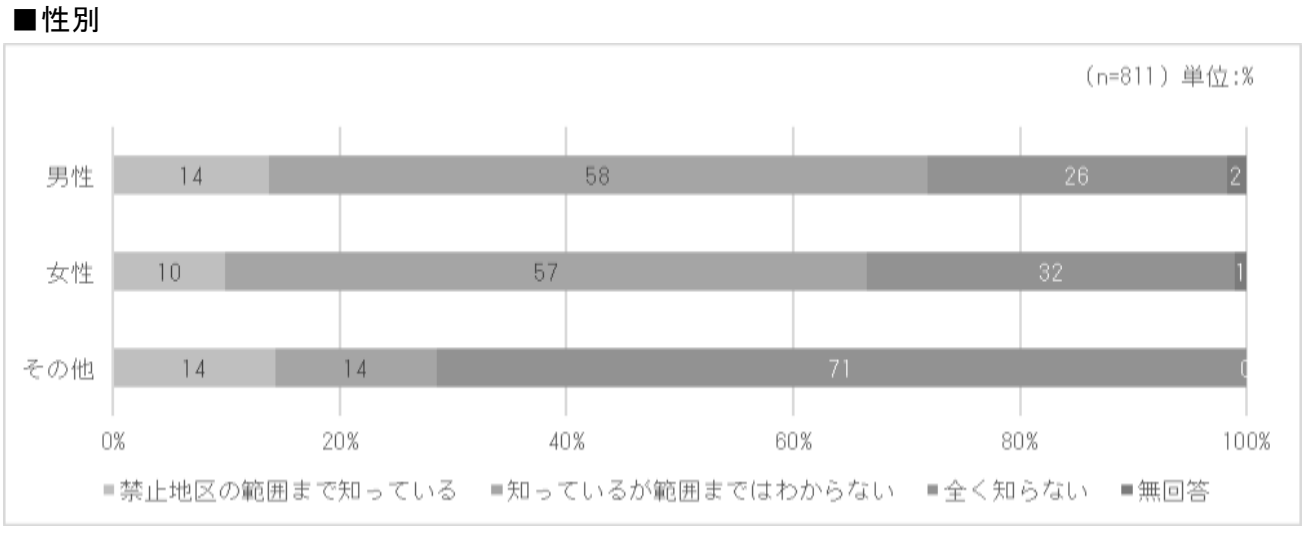
■全体



■年代別



■性別



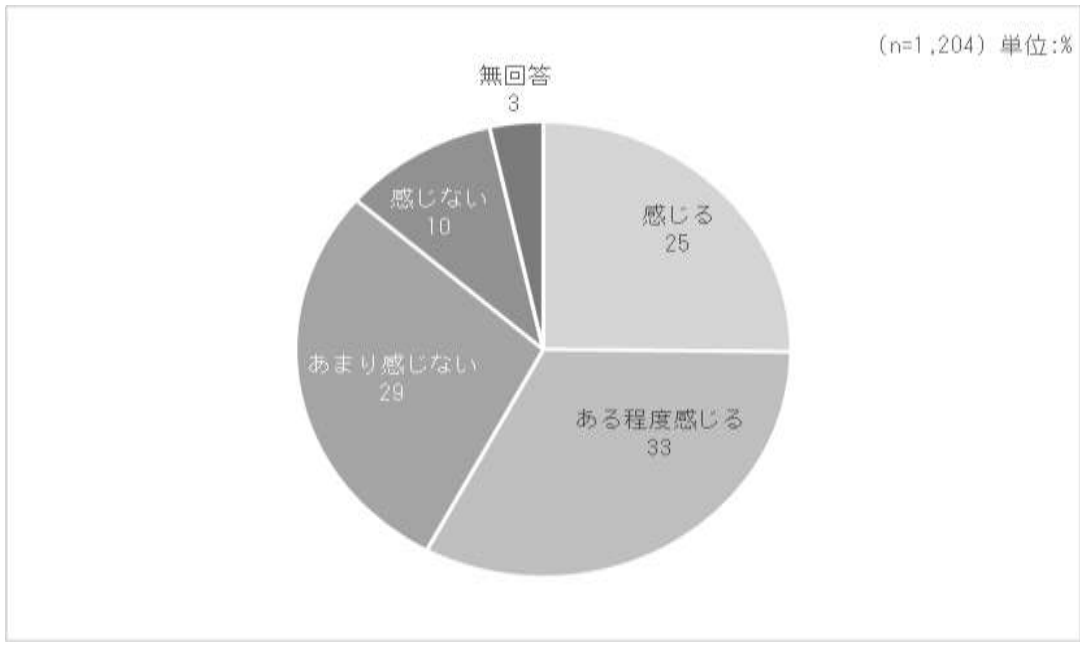
「禁止地区の範囲まで知っている」「知っているが範囲まではわからない」の合算の割合は約７割

・京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識について見ると、“知っている”（「禁止地区の範囲まで知っている」＋「知っているが範囲まではわからない」）68%となっている。
・年代別に見ると、『30代以下』の“知っている”（「禁止地区の範囲まで知っている」＋「知っているが範囲まではわからない」）が64%と他の年代と比べて低い傾向にある。
・性別に見ると、大きな違いは見られない。

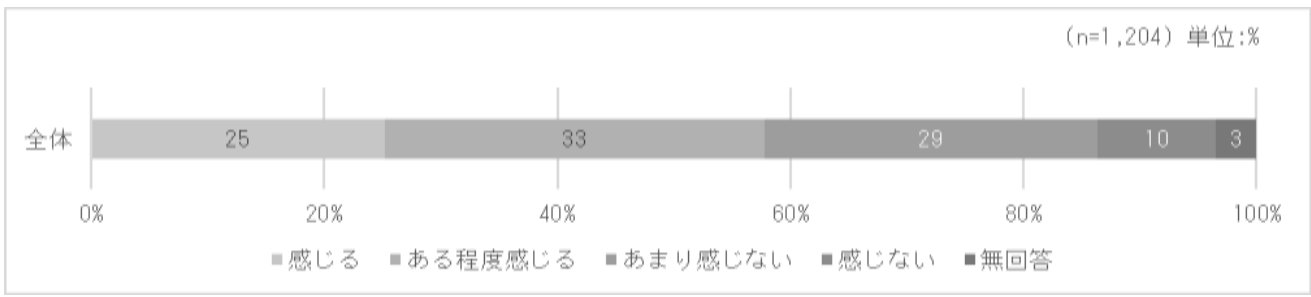
3 アンケートの結果

3-3. マナー向上について	
問19	路上喫煙禁止地区（京橋地域）で喫煙マナー啓発などの取り組みが美しいまちづくりにつながっていると感じますか。（１つだけ選んでください）

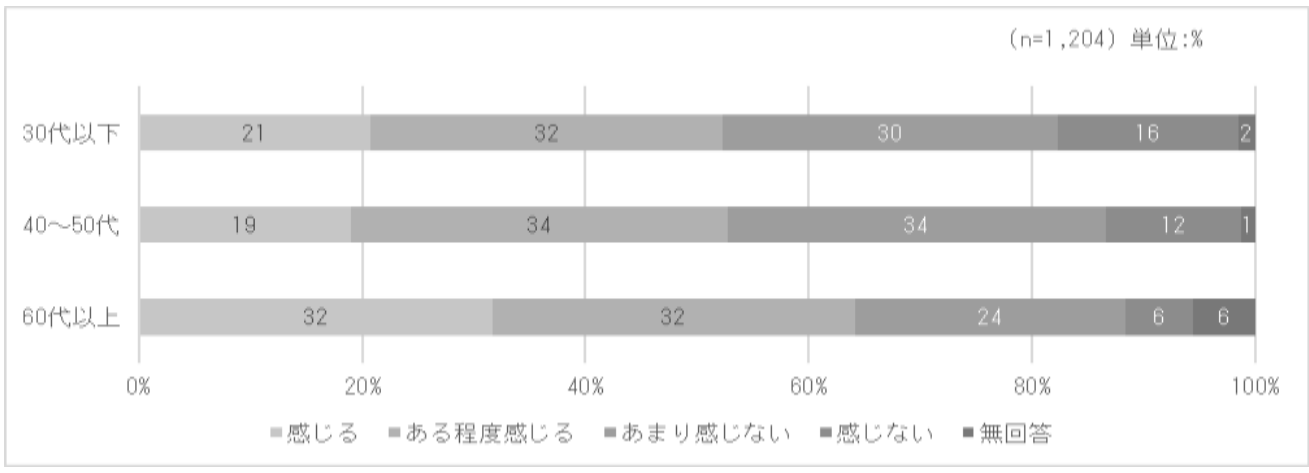
●京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識（単数回答）



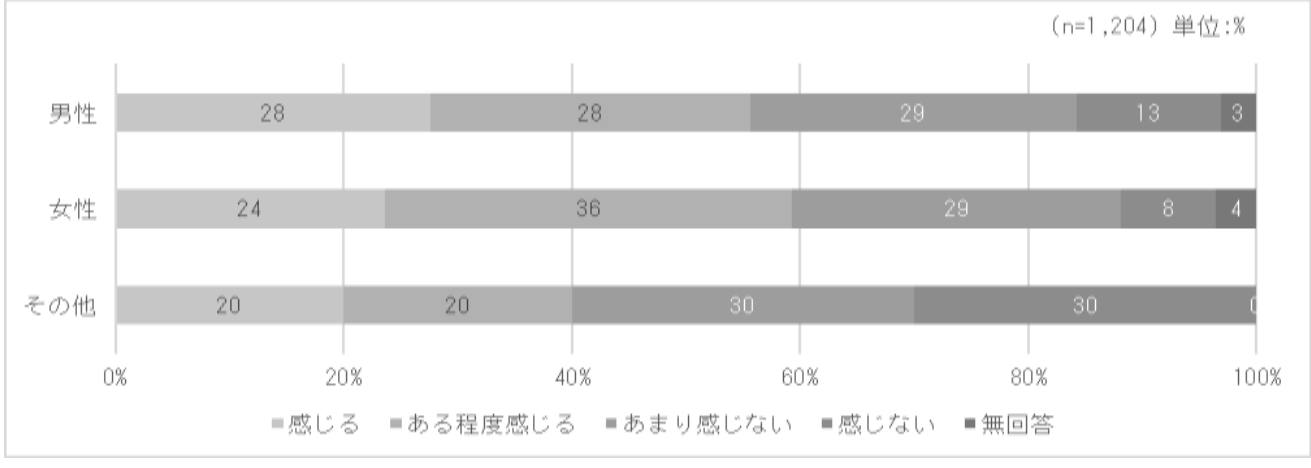
■全体



■年代別



■性別



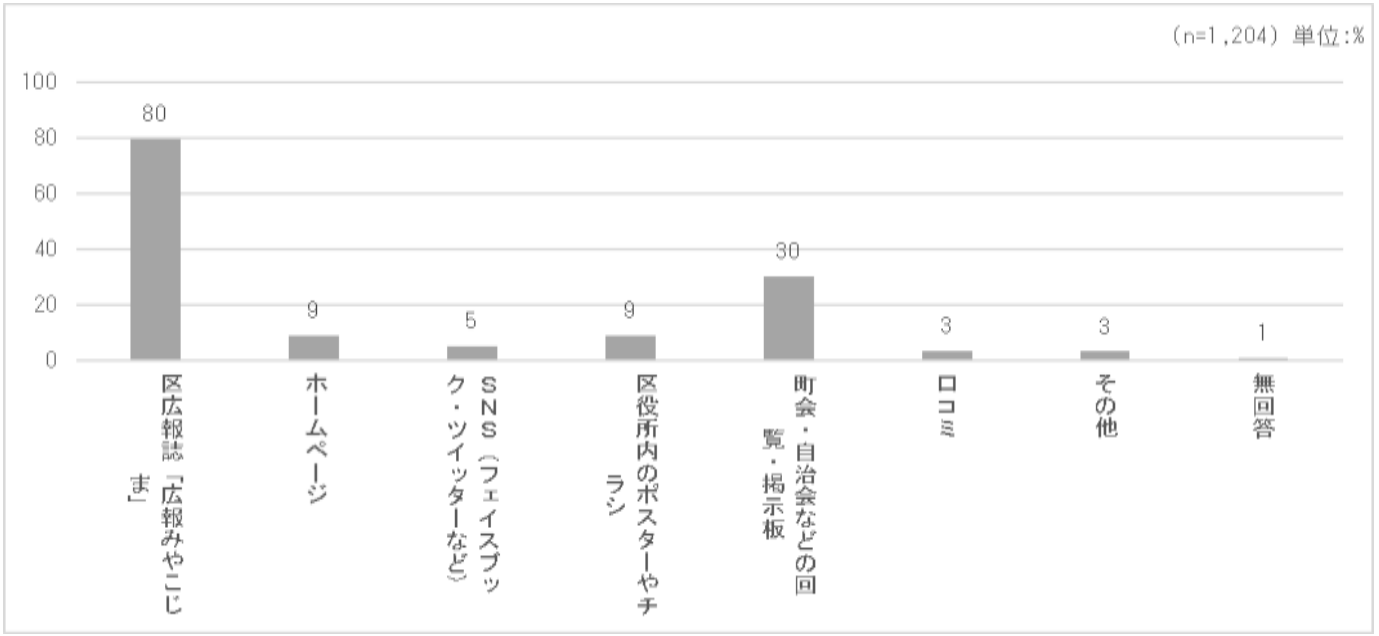
「感じる」「ある程度感じる」の合算の割合は約６割

・京橋地区の喫煙マナー啓発などの取り組みに対する意識について見ると、“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が58%となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の“感じる”（「感じる」＋「ある程度感じる」）が64%と他の年代に比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、大きな違いは見られない。

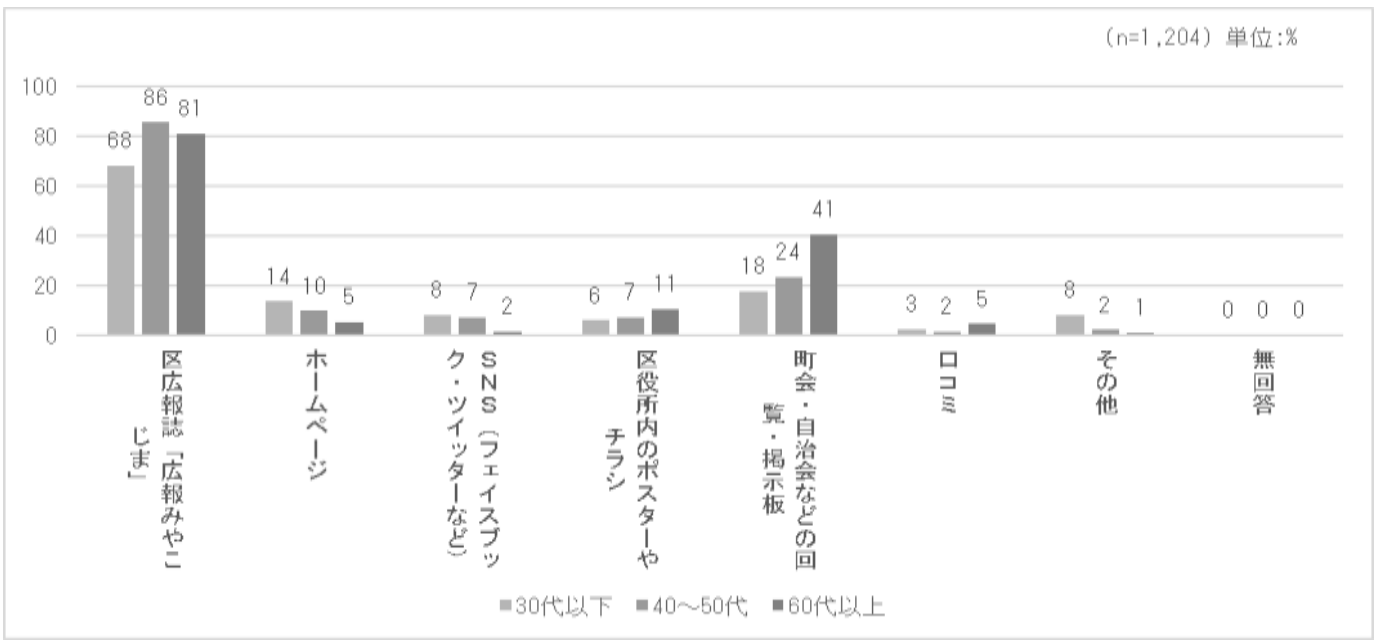
3-4：広報誌・ホームページ・SNS	
問20	区役所からの情報（イベントやお知らせなど）を、何から入手していますか。 （いくつでも選んでください）

●区役所からの情報の入手先（複数回答）

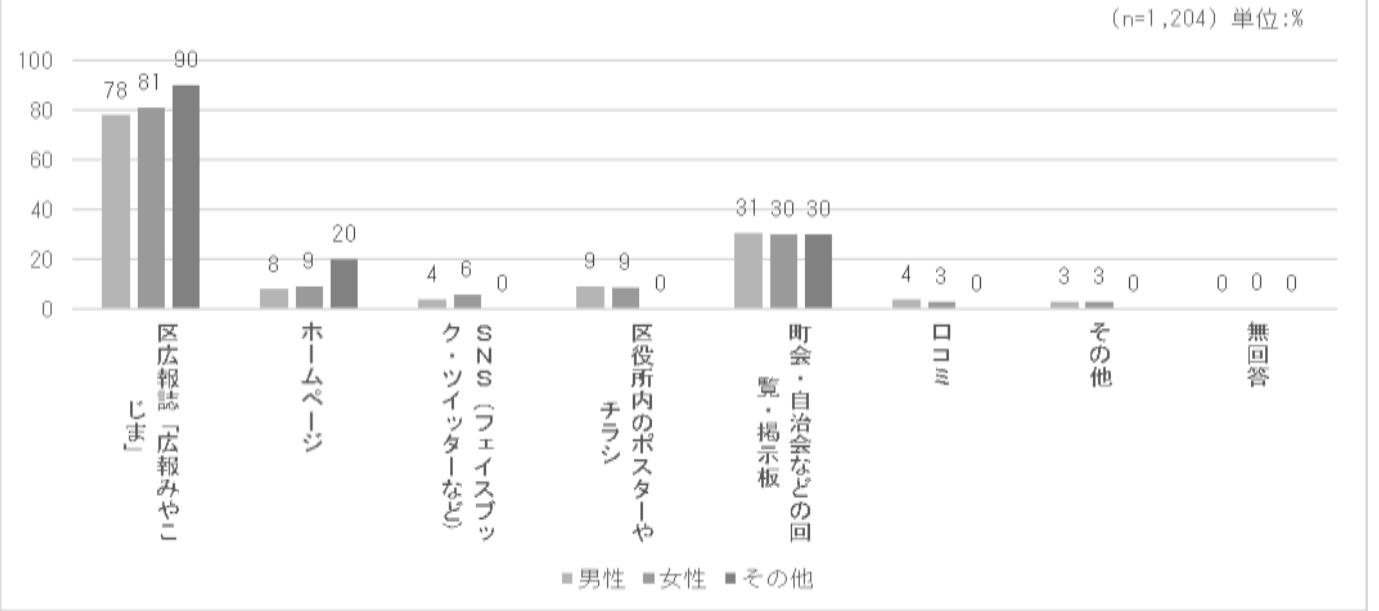
■全体



■年代別



■性別



「区広報誌「広報みやこじま」」の割合が最も高く約8割

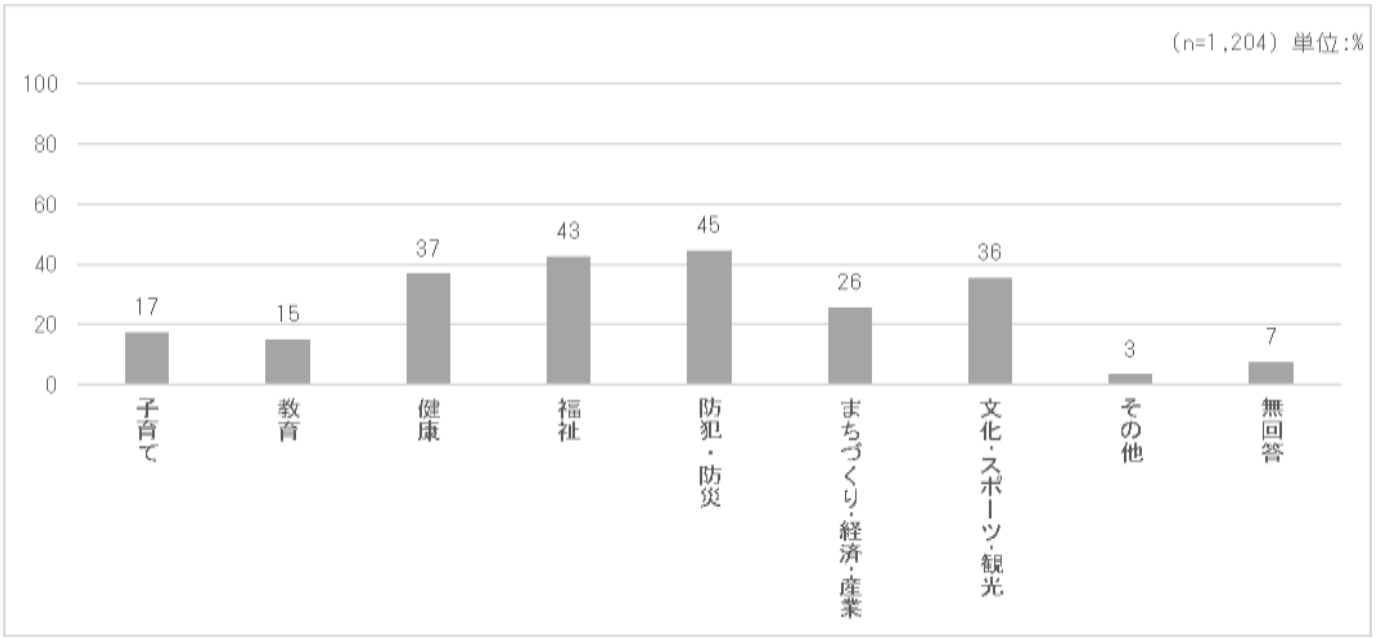
・区役所からの情報の入手先について見ると、「区広報誌「広報みやこじま」」が80%と最も高く、次いで「町会・自治会などの回覧・掲示板」が30%、「ホームページ」「区役所内のポスターやチラシ」が9%の順となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の「町会・自治会などの回覧・掲示板」が41%と他の年代に比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3 アンケートの結果

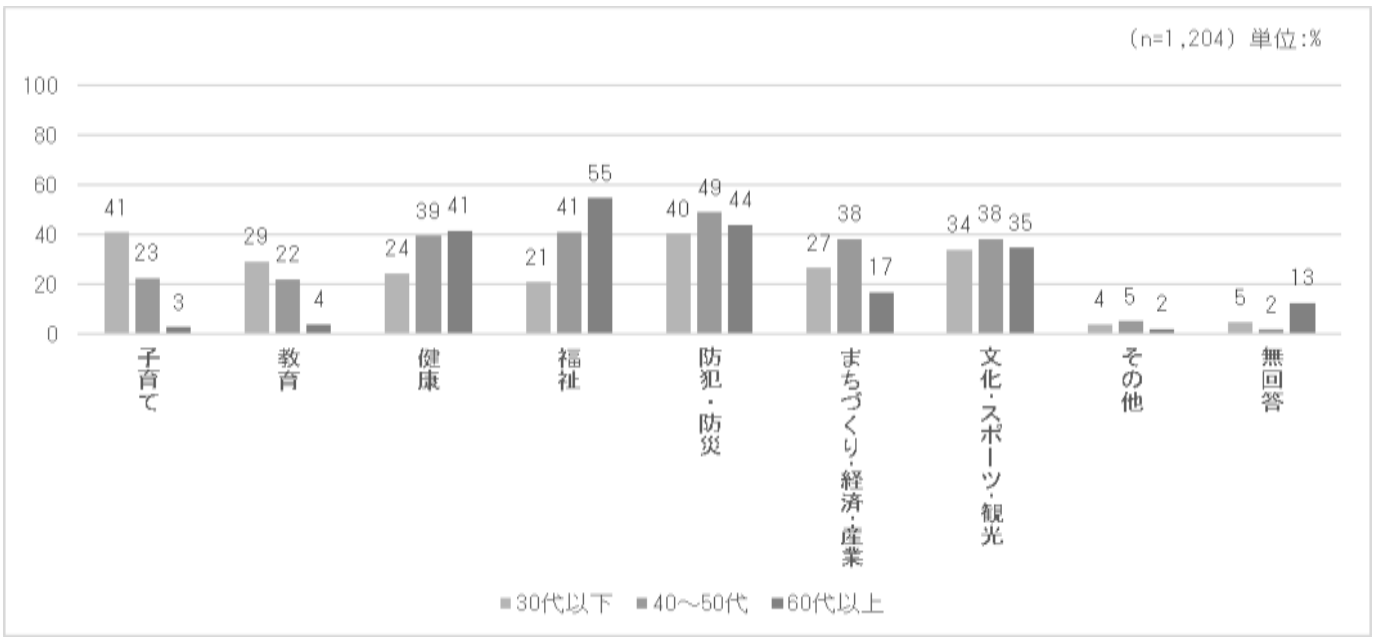
3-4：広報誌・ホームページ・SNS	
問21	区役所からの情報でもっと詳しく知りたい内容はありますか。 （いくつでも選んでください）

●広報誌に対する感想（複数回答）

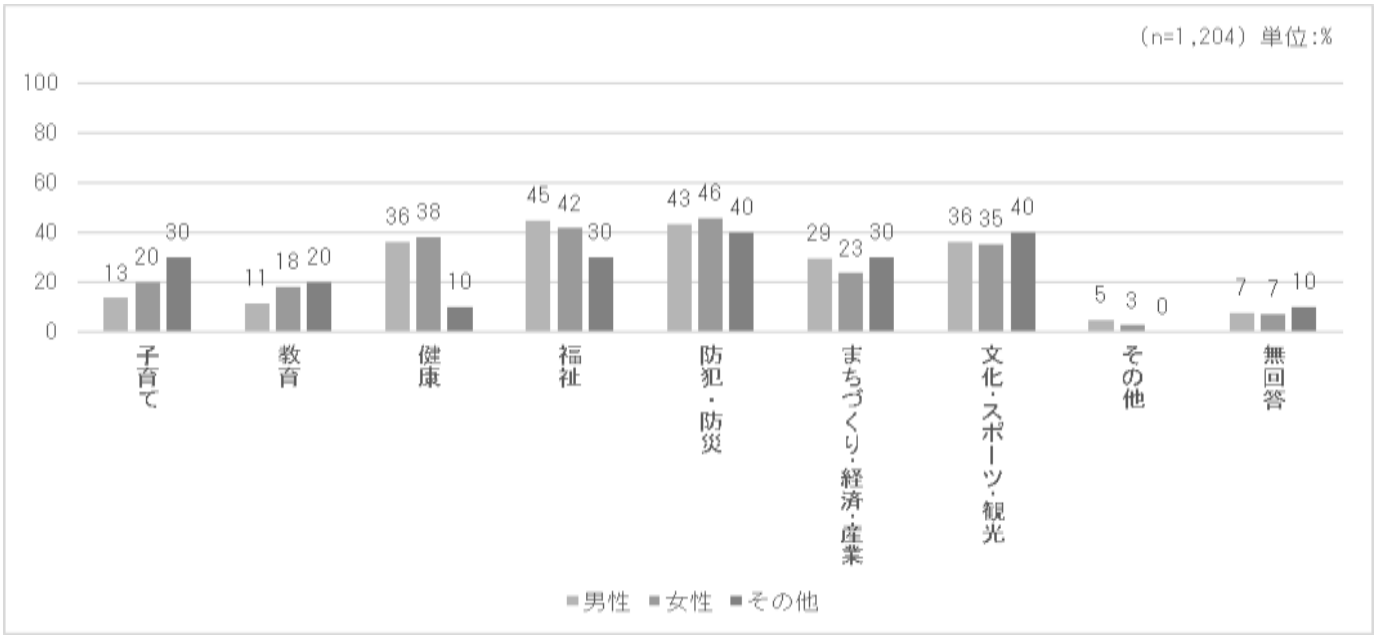
■全体



■年代別



■性別



「防犯・防災」の割合が最も高く４割半

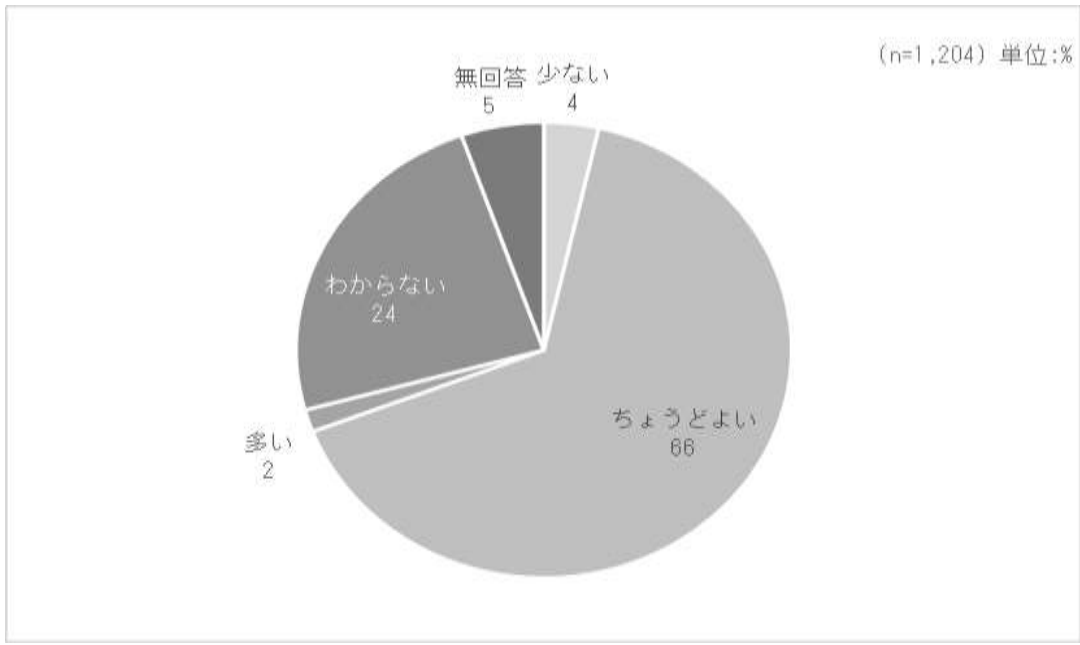
・広報誌に対する感想について見ると、「防犯・防災」が45%と最も高く、次いで「福祉」が43%、「健康」が37%の順となっている。
・年代別に見ると、『60代以上』の「福祉」が55%と他の年代に比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の「子育て」「教育」がそれぞれ20%、18%と『男性』の13%、11%より７ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

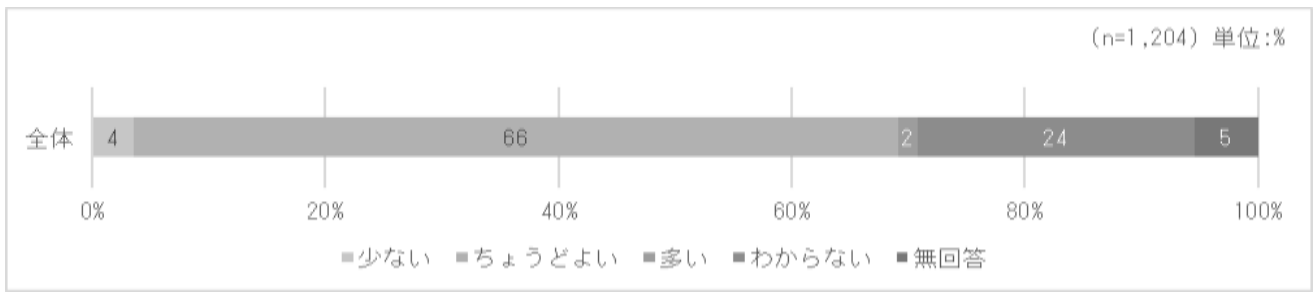
3-4：広報誌・ホームページ・SNS	
問22-1	広報誌の各記事のページ数は適切と感じますか。それぞれあてはまる数字をまる（○）で囲んでください。

●広報誌のページ数（単数回答）

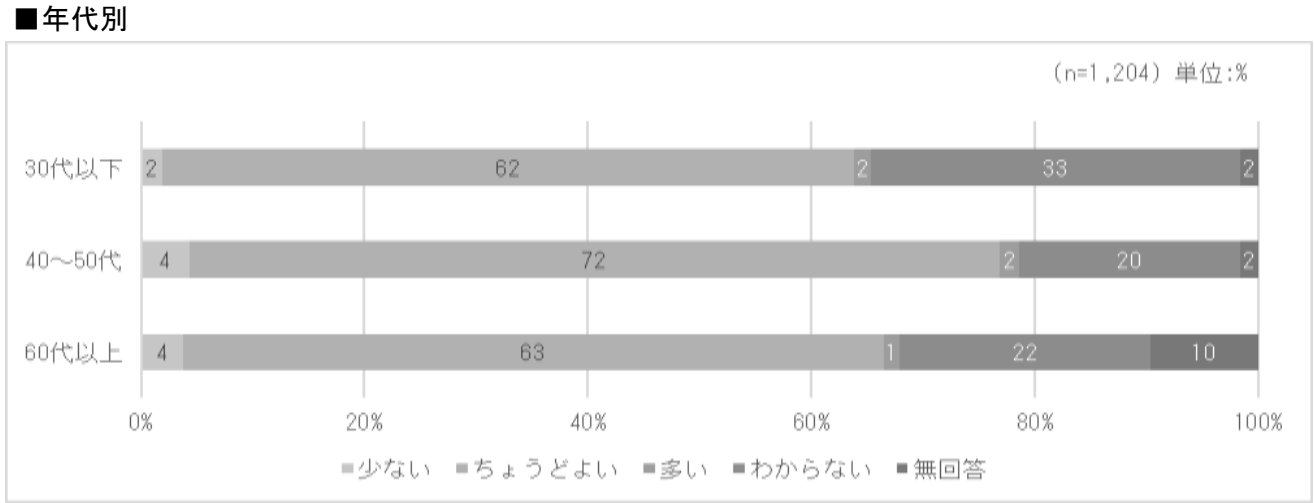
1.特集（２～４ページ）



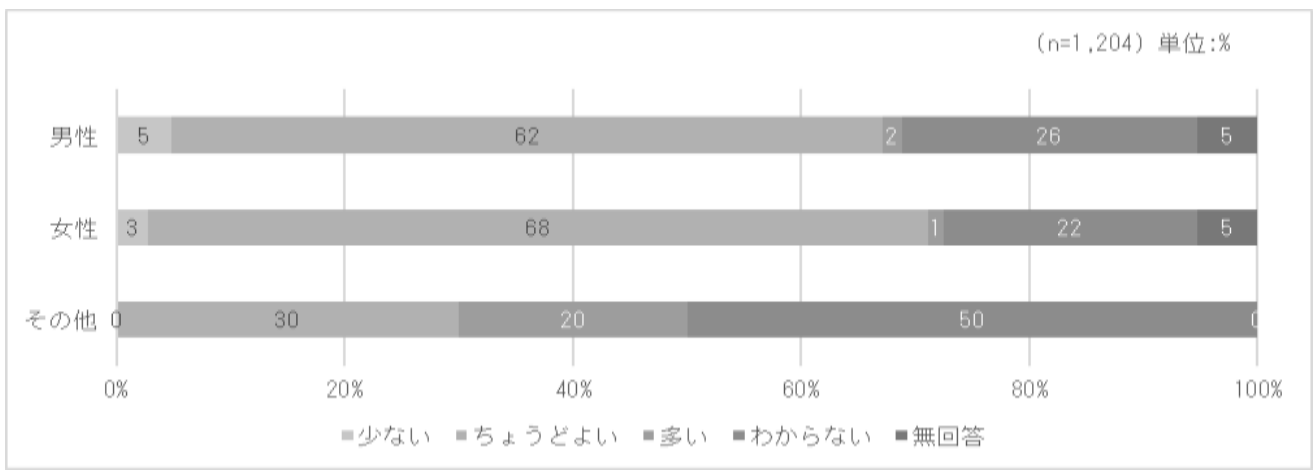
■全体



■年代別



■性別



「ちょうどよい」の割合は７割弱

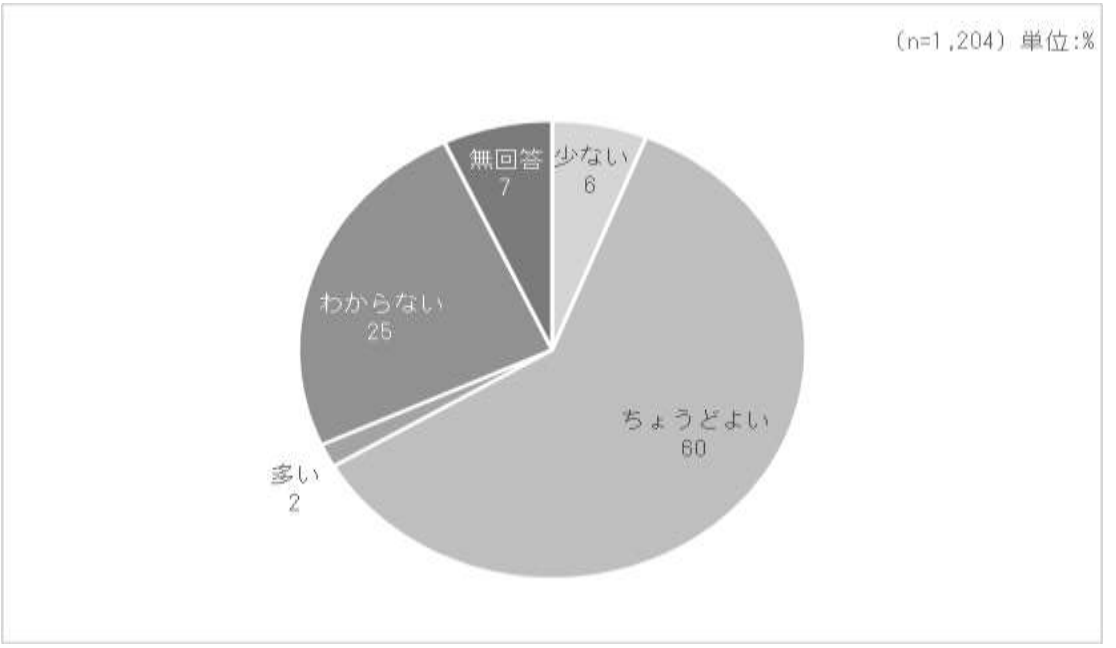
・広報誌の特集ページ数について見ると、「ちょうどよい」が66%となっている。
・年代別に見ると、『40代～50代』の「ちょうどよい」が72%と他の年代に比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3 アンケートの結果

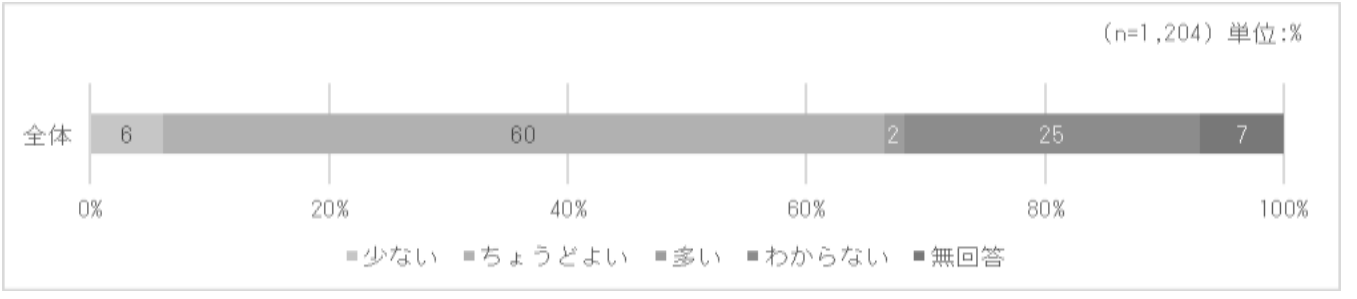
3-4：広報誌・ホームページ・SNS	
問22-2	広報誌の各記事のページ数は適切と感じますか。それぞれあてはまる数字をまる（○）で囲んでください。

●広報誌のページ数（単数回答）

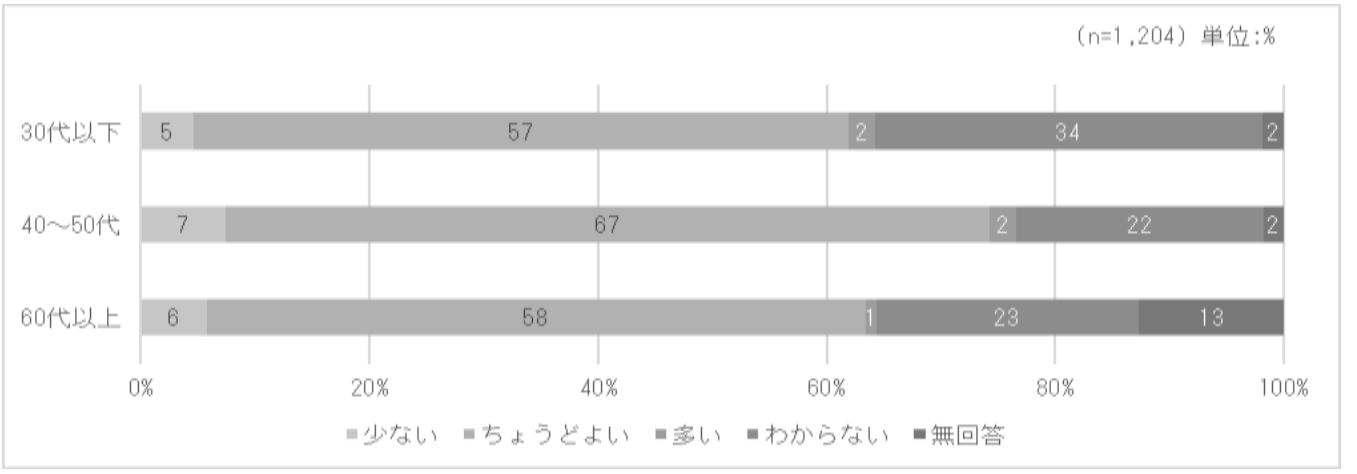
2.区政情報（各課事業のお知らせ・インフォメーション・保健福祉センター分館のお知らせ・えらぶさがすを中心に構成、２～４ページ）



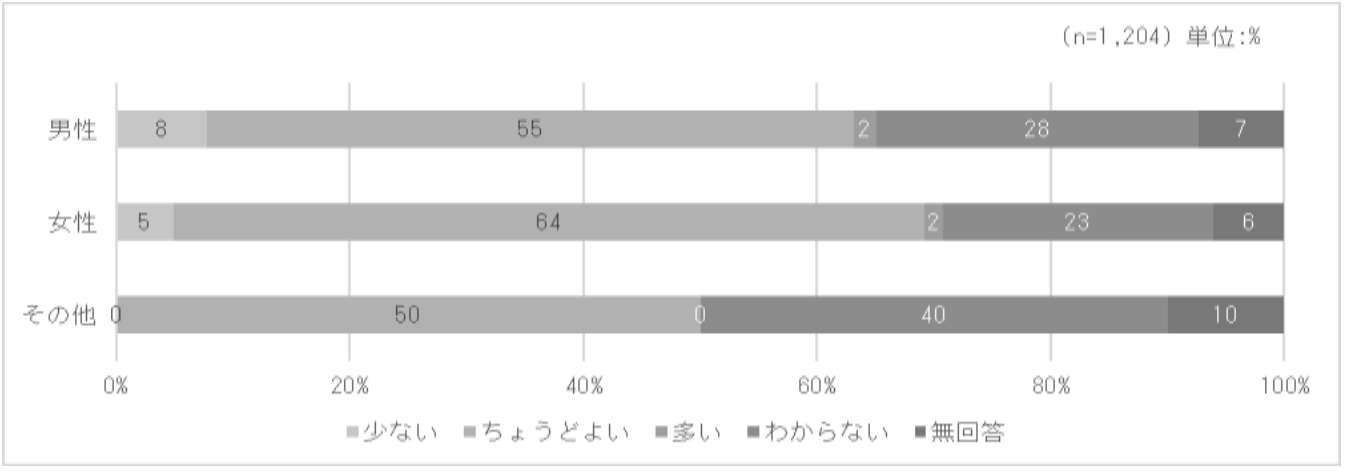
■全体



■年代別



■性別



「ちょうどよい」の割合は約６割

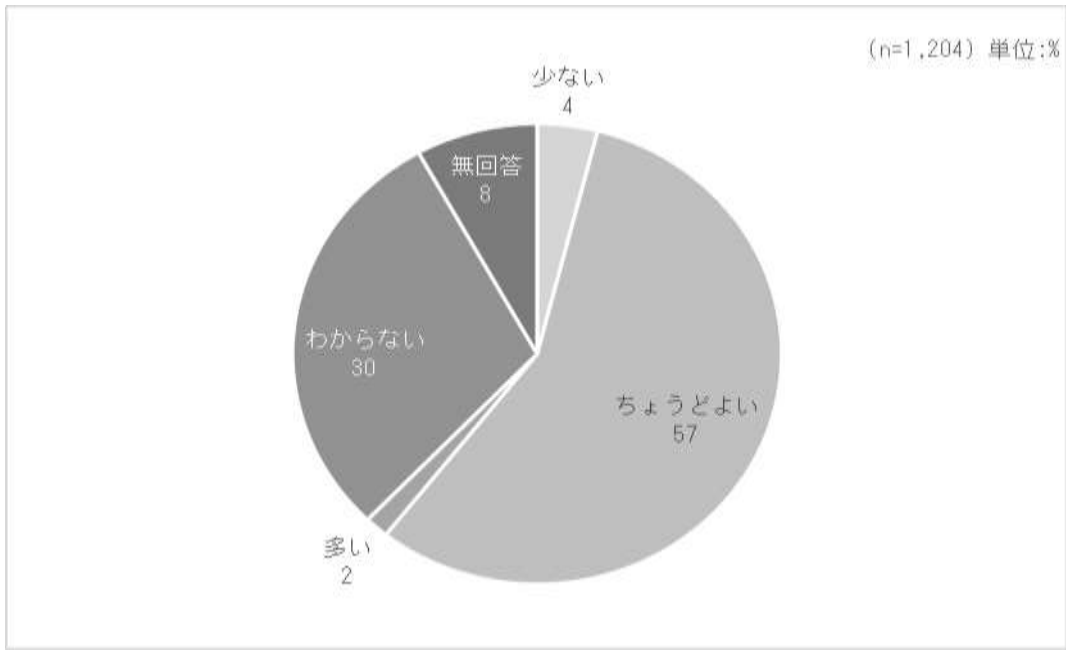
・広報誌の区政情報のページ数について見ると、「ちょうどよい」が60%となっている。
・年代別に見ると、『40代～50代』の「ちょうどよい」が67%と他の年代に比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の「ちょうどよい」が64%と『男性』の55%より９ポイント高くなっている。

3 アンケートの結果

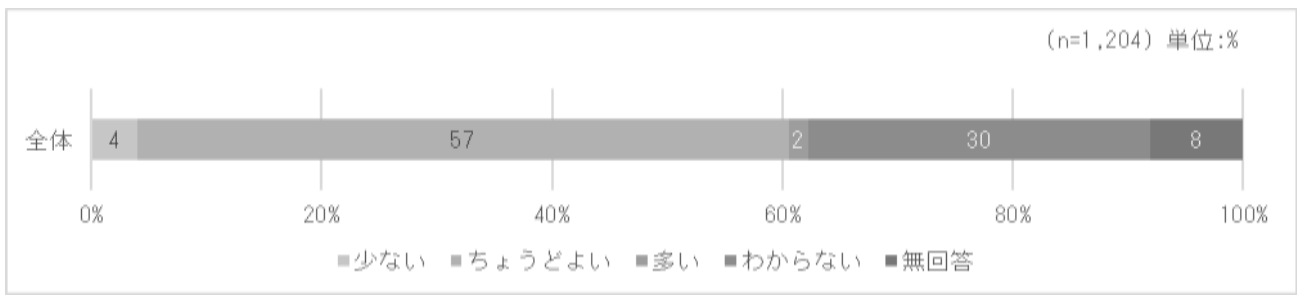
3-4：広報誌・ホームページ・SNS	
問22-3	広報誌の各記事のページ数は適切と感じますか。それぞれあてはまる数字をまる（○）で囲んでください。

●広報誌のページ数（単数回答）

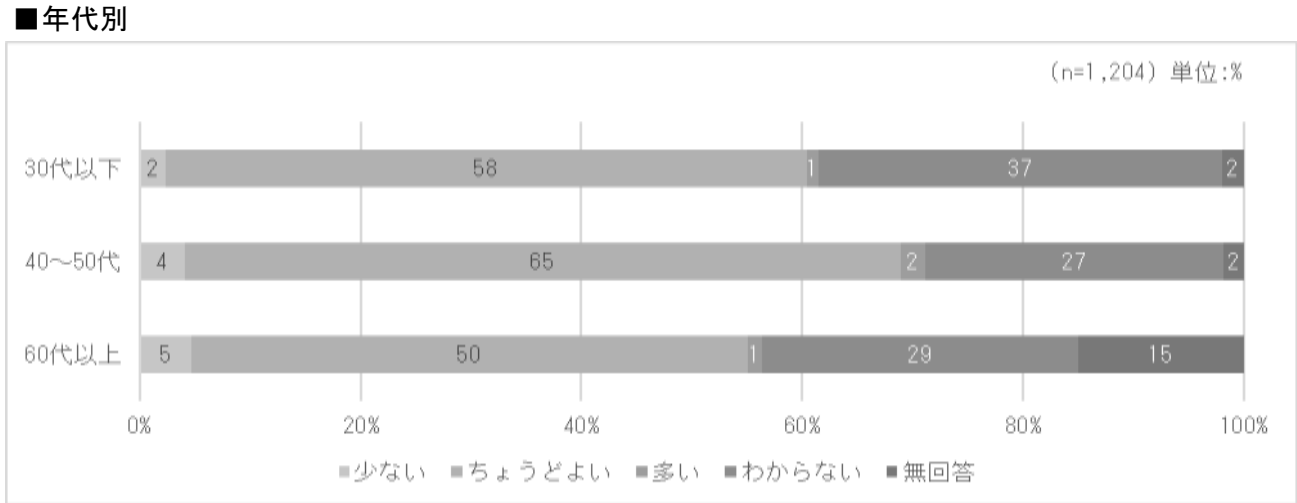
3.連載（１ページ）



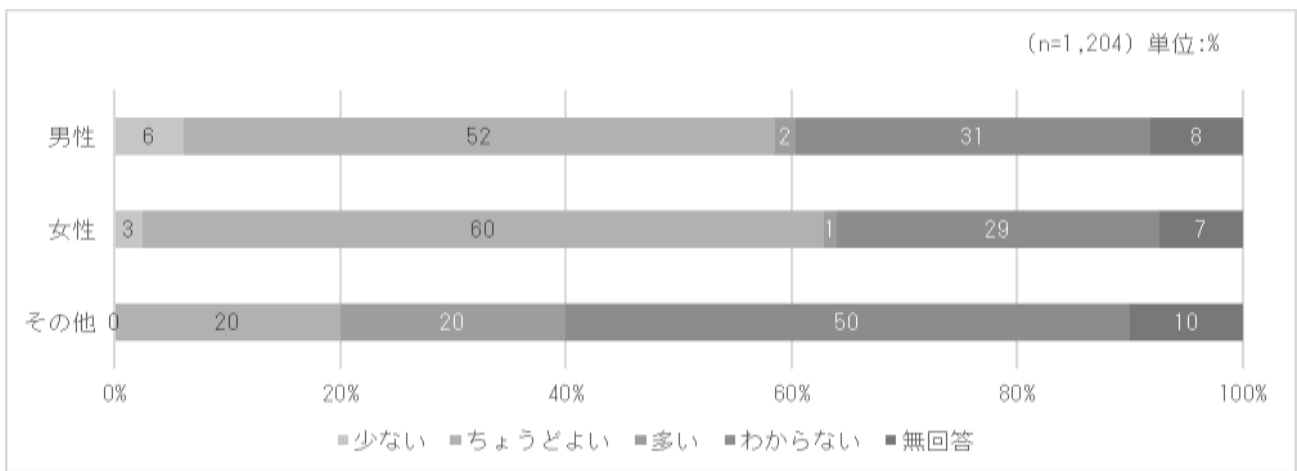
■全体



■年代別



■性別



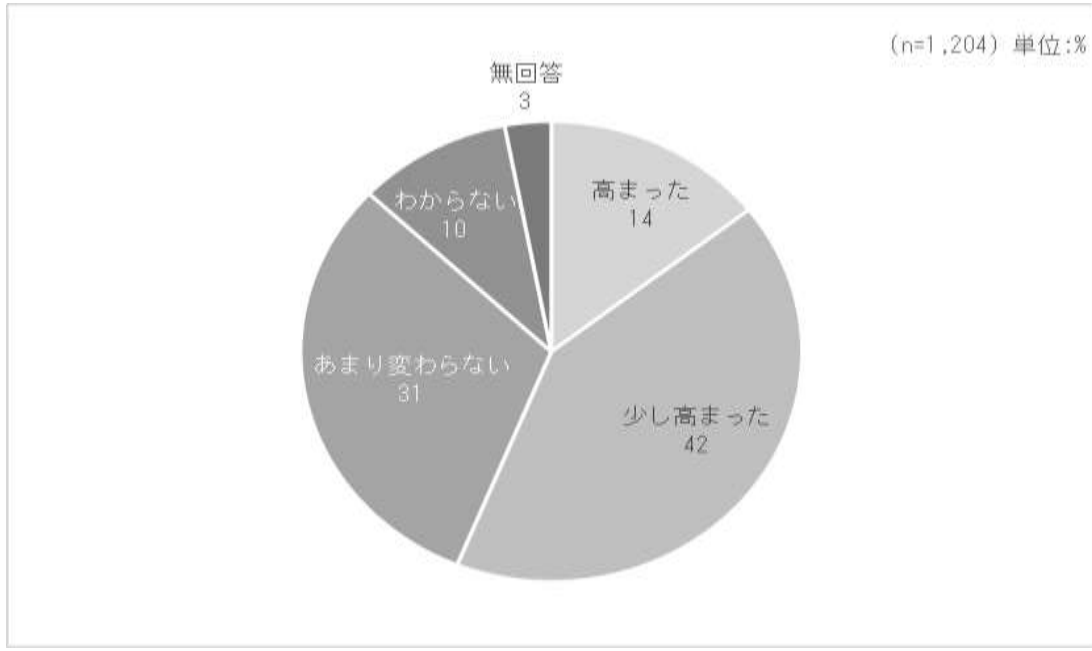
「ちょうどよい」の割合は６割弱

・広報誌の連載のページ数について見ると、「ちょうどよい」が57%となっている。
・年代別に見ると、『40代～50代』の「ちょうどよい」が65%と他の年代に比べて高い傾向にある。
・性別に見ると、『女性』の「ちょうどよい」が60%と『男性』の52%より８ポイント高くなっている。

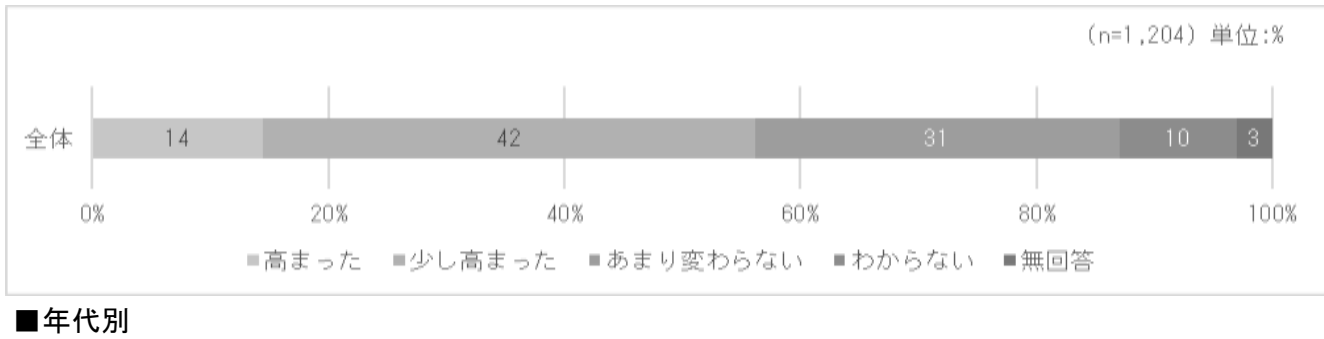
3 アンケートの結果

3-4：広報誌・ホームページ・SNS	
問23	広報誌においては、市政、区政の動きを分かりやすくタイムリーに提供し、生活に関連する行事やお知らせだけではなく、地域に密着した情報を毎月掲載しています。 広報誌をご覧になって、都島区や区政に対し関心が高まったと感じますか。 （１つだけ選んでください）

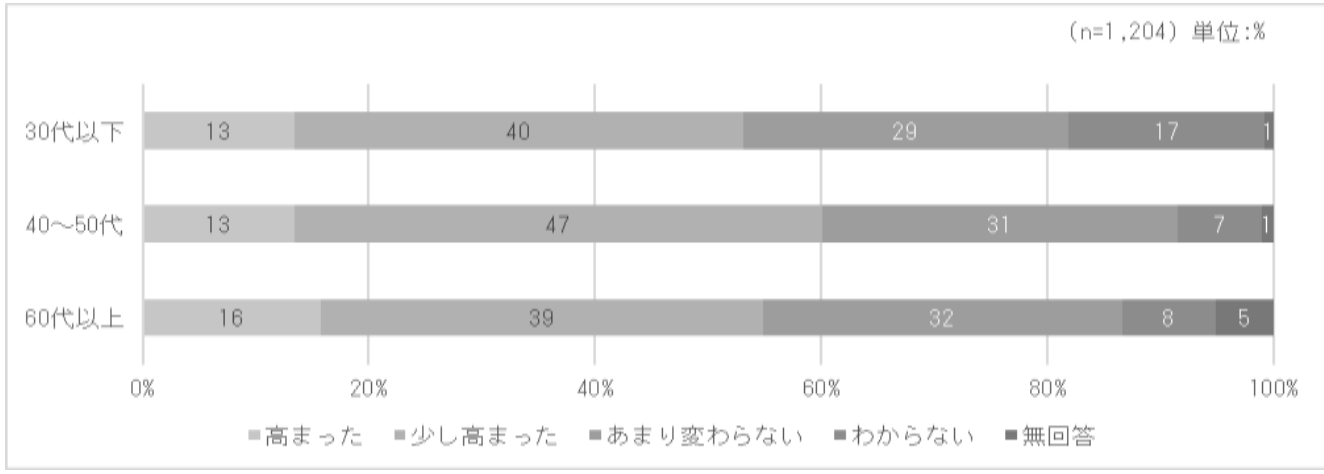
●広報誌において都島区や区政に対して関心の認知度（単数回答）



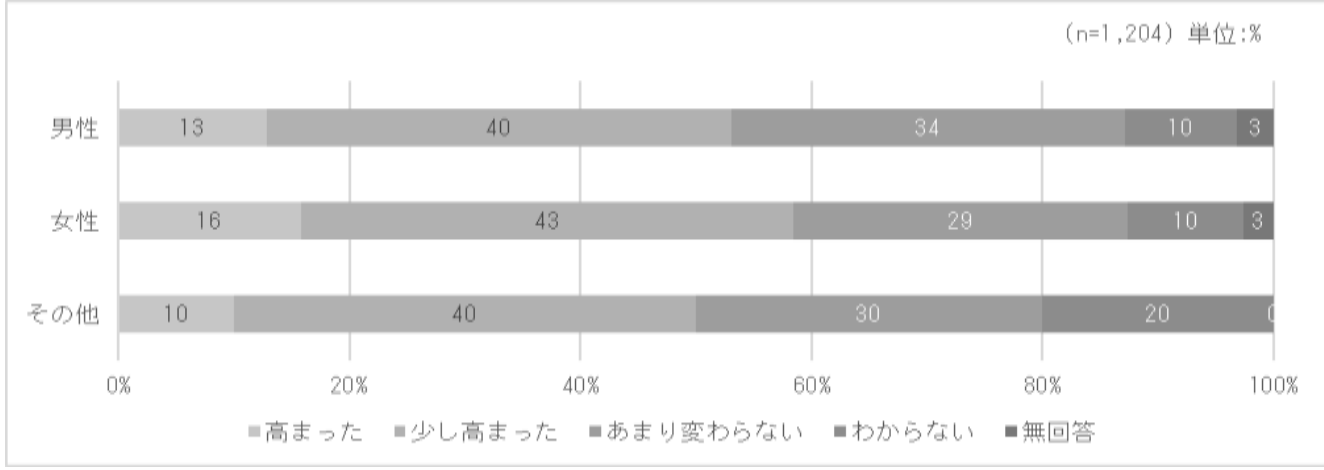
■全体



■年代別



■性別



「高まった」「少し高まった」の合算の割合は６割弱

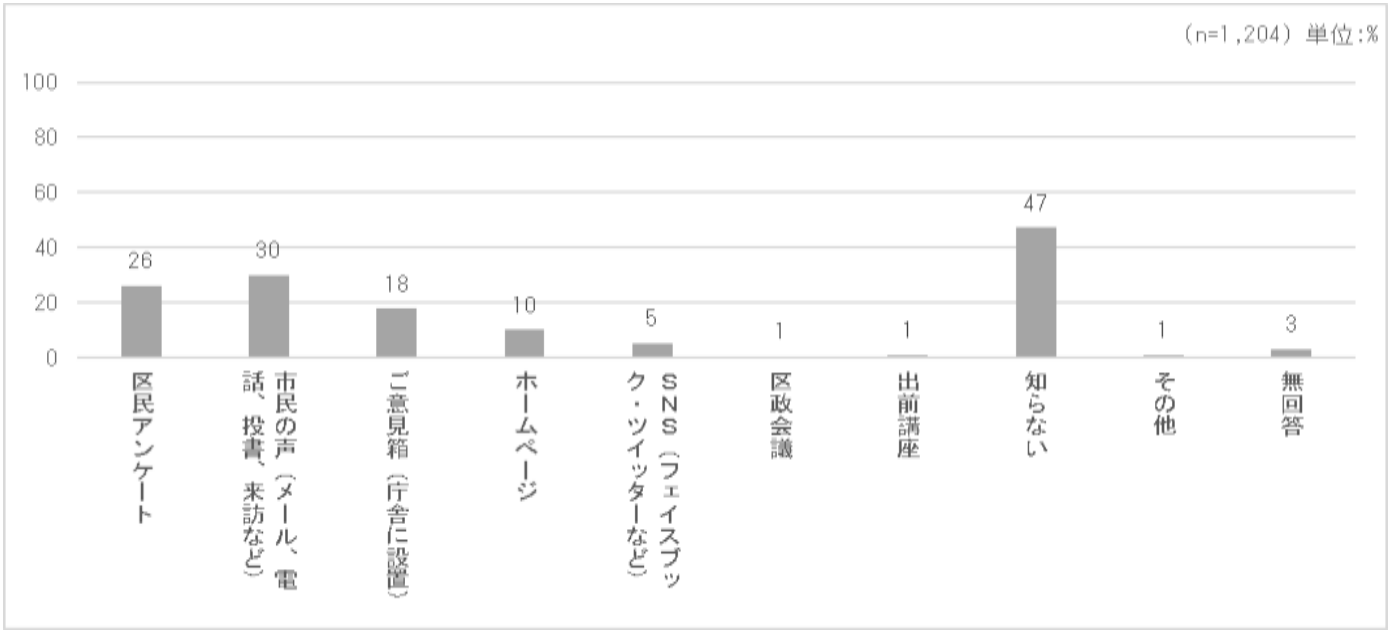
・広報誌において都島区や区政に対して関心の認知度について見ると、“高まった”（「高まった」＋「少し高まった」）が56%となっている。
・年代別に見ると、全ての年代において、「少し高まった」が高い傾向となっている。
・性別に見ると、大きな違いは見られない。

3 アンケートの結果

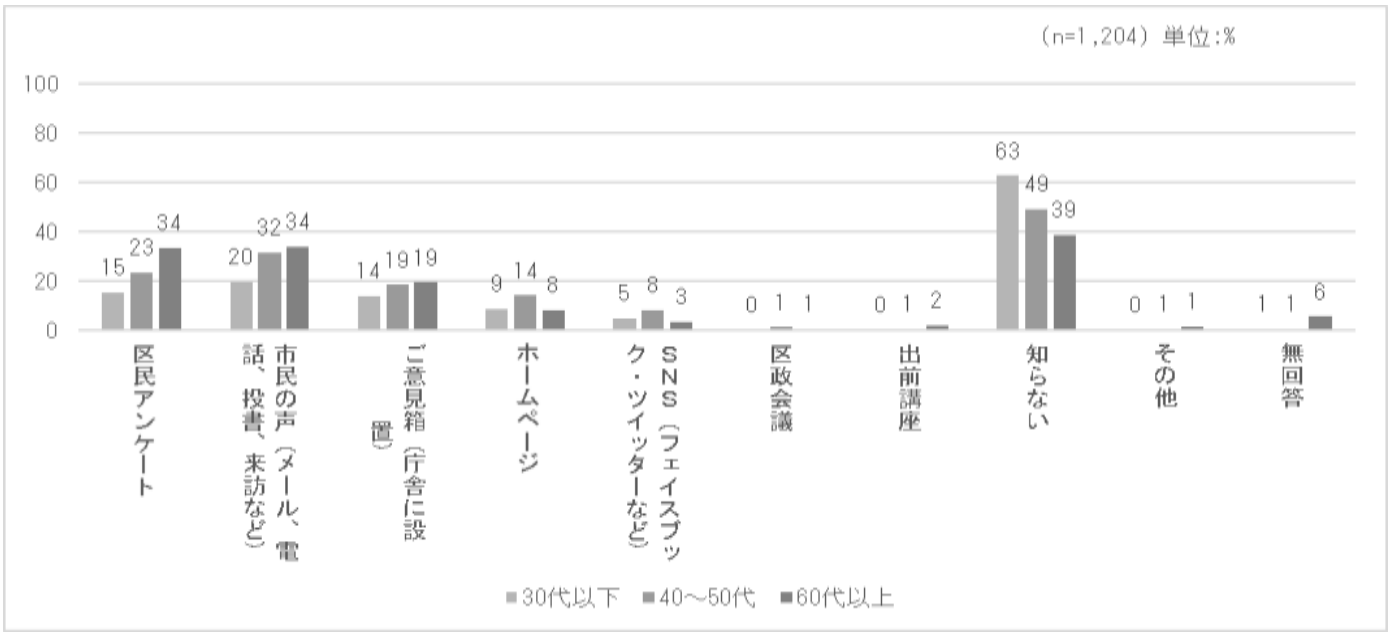
3-4：広報誌・ホームページ・SNS	
問24	あなたの意見やニーズを区役所に伝える方法を知っていますか。 （いくつでも選んでください）

●区民の意見やニーズを伝える方法の認知度（複数回答）

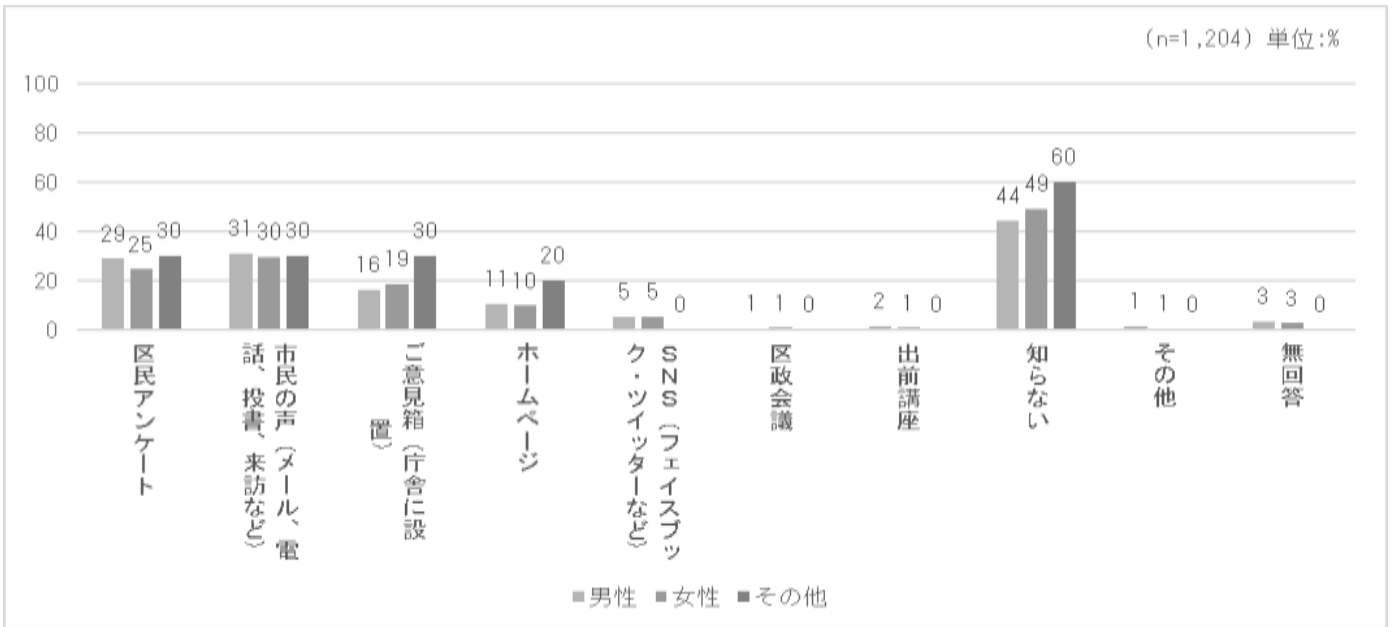
■全体



■年代別



■性別



「知らない」の割合が最も高く５割弱

・区民の意見やニーズを伝える方法の認知度について見ると、「知らない」が47%と最も高く、次いで「市民の声（メール、電話、投書、来訪など）」が30%、「区民アンケート」が26%の順となっている。
・年代別に見ると、『30代以下』の「知らない」が63%と他の年代に比べて高い傾向にある。
・性別にみると、男女とも全体と同様の傾向となっている。

3.アンケートの結果

3-6：自由意見

問25：「防災・防犯・マナーの向上」、「広報誌・ホームページ・SNS」につきまして、ご意見がございましたらご記入ください。また、区政へのご意見やご感想なども、ご自由にご記入ください。

防災・防犯・マナー向上（53件）
これから地震が発生することが多くなる可能性もあるので避難場所の周知、地震が起きたときの対応方法をもっと広めて伝えて欲しいです。
福岡県のように深夜にごみ収集すればカラス被害が減らせるのでは。東京都のように地下駐輪場にしてほしい。委託のゴミ収集車の運転が荒い。ものすごいスピードで走っている危険。銀行、スーパーがない。郵便局が近いのが救い。誘致してください。人手不足、または予算を削られた？公園の草刈制度が下がって景観・犬猫散歩に悪影響。
自転車利用者に対して道路交通法を教えてほしい。逆走してたら取り締まる位のことはしてほしい。
中野町の中央公園にある公衆トイレを撤去して欲しい。 死角になり見通しが悪く、夜は暗いので特に危ないと思います。 公園自体が薄暗いので、もう少し照明を増やすか見通しを良くして欲しい。
普段の移動は公共交通機関のみ。歩行中に何度も自転車にぶつけられ痛い目にあいました。 公園、遊歩道、商店街で相手も子供から高齢者まで。危なくて出歩けません。 低学力、低収入の人が多いせいですか？
自転車のマナーがなってなさすぎる。 怖い。片手で傘を差しながら運転したり。 傘を自転車に付けて運転してる人が多すぎる。違反です。なぜ取り締まらないのか。丁度顔の高さで刺さりそうで怖すぎる。
自転車の交通マナーについての基本的な知識や情報を市民に伝えるべき。自転車は道交法上、軽車両であり歩道を通行してはいけない、ということすら知らない人がいる。ベルを鳴らしたり、スマホを見ながら運転とか。
都島区好きですが、子供出来てから住んでみると歩きタバコの人・自転車二人乗りの人が多く、子育てには本当に不向きだと思ってしまいました。 繁華街の近くなのでどうしようも無いかもしれませんが、本当に残念。
自転車逆走、歩道走行に対しては府警機動隊を導入してでも、集中取り締まりを行って検察送致するなどのショック療法しないとマナー啓発などヌルい対応している間に悲しみが蓄積するとおもいます.
ながらスマホを徹底して なくさないとアカーン 幼児への付きまといが多く感じるので 見回り強化！
環境美化に関してです。桜宮東公園近くに住んでいますが、猫への餌やりをしているご老人たちに困っています。猫だけでなくカラス被害にもつながっています。無責任な行為で環境や健康が害されていると感じています。
歩道に歩行者レーンと自転車レーンがあるが、歩行者も自転車も守っていないことが多くて危ない。歩道で自転車が無茶な走行や歩行者にベルを鳴らしたりすることが多くて危ない。
防災・防犯・マナーの向上にむけて、具体的に区がどのように活動を行っているのか、区民にはいまいち伝わってないのではないでしょうか？広報誌は、毎月配られてますので、拝読しています。
京橋駅周辺が禁煙区域というが、歩きタバコをしている人は多い。地下鉄京橋駅の駅事務所でも朝通勤時にタバコの匂いがする。地下鉄構内は禁煙ではないのか。東野田公園近くで痴漢にあった。防犯対策してほしい。
防災･減災の観点から、地域コミュニティの形成に寄与できる方法があればと思います。若年層が多い地域なので、これからもまち全体に活気がでることを期待しています。
中野町や善源寺町辺りで歩きタバコをする人を見かけますが、子ども連れだと不安に思います。 また、信号のない横断歩道で止まらない車が多いです。
自転車のマナーが悪いので、より啓発活動が必要と思います。歩行者がいるのにも関わらず、猛スピードや逆走で歩道・車道走っている自転車・電動自転車は正直怖いため、自転車道の整備や周知徹底が必要だと思います。
小学生がマナーについて学んだ際に授業で書いた絵が町で掲示される、自分が広報誌に載る、など、市民参加型の政策を期待しております。
京橋駅周辺以外は治安もそこまで悪くなく、便利で住みやすいです。ただ京橋駅周辺は夜は特に女性1人だと危ないように感じます。

マナーの向上に向けて以下の対応をお願いします。 1. 京橋商店街では、自転車から降り、押して通行するよう指導してください。 2. 京橋駅周辺で路上喫煙を頻繁に見かけます。しっかり対策してください。
歩きタバコは引っ越してきてから何年減っているように感じます。ゴミのポイ捨てはまだまだ改善の余地があるように感じます。
京橋駅周辺も10年前くらいのことから考えるとずいぶんきれいになりました。
駐車違反車両が多すぎて危険。自転車の運転マナーが悪い。路上喫煙者が多すぎる。ポイ捨ても。
京橋駅周辺の路上喫煙がひどかったので、何か対策いただけると幸いです。
タバコマナーについて　都島区に限ったことではないですが、喫煙所の設置は難しいでしょうか？別の地域から大阪に引っ越してきましたが大阪の路上喫煙、歩きタバコ、ポイ捨て等、喫煙マナーの悪さに驚いています。街中がタバコくさくてうんざりしています。
公園でのタバコのポイ捨てが多い。歩きタバコも多い。公園での鳥へのエサやりをやめてほしい。
・マナーには規制が必要だ。・犬の散歩で犬のうんちや尿を後しまつしない人がいる。動物をかうための手当をつけてほしい。・京橋駅周辺の客引きがひどい、その通りを安全に歩けない。・路上喫煙がある、歩きタバコもある、特に京橋、都島駅周辺。・飲食店でタバコ可能な店には補助金なんて出さないで欲しい。・都島で販売するタバコに特別税をつけてほしい。その税でたばこ対策をしてほしい。・タバコの煙で気持ちよく仕事できない。住めない。・自転車こぎながらタバコ吸うものもいる。危険だ。これについては警察も捕まえて指導してほしい。
目が悪い為、朝の親子達の自転車は恐怖です。入園等決まられましたら本来の自転車交通のルールの受講がセットで行われるとよいかもしれません。自動車免許をお持ちではない方は特に悪気も無く完全に交通ルールを知らないように思えます。
防犯カメラ増やして欲しいです。
防犯防災は今後の備えとして高齢者や子供にもわかりやすい紙のチラシ（A4一枚くらいに重要項目のチェック表、自宅に貼れる様な）やオンライン上にて若年層向けにSNS等で定期的に犯罪や防犯情報（身を守る方法、どれが事件になるのか（わかっていない人もいる為）、見極め方、相談先、もし遭遇した時の対処法。誰でも困ったときに（歩けない人も世の中にはいてる旨）すぐに確認できるようになればと思います。誰もが助かりやすくなる旨、未然に防止
カラスがゴミをあさって街が汚れている。早朝、深夜カラスの鳴き声がうるさい。区で対応して欲しい。
路上喫煙禁止地区を都島区全域に広げて欲しいです。ゴミ出しのマナーを周知して美しい町並みは理想です。人気のある区であり、意識の高い人が集まれば民慶の向上につながります。今後さらに増えていく高齢者が安心して暮らせるようにバリアフリーなど福祉の充実を希望します。
路上喫煙禁止地区での喫煙をたまに見かけます。もっと周知・パトロールなど強化して欲しい。
防犯カメラの設置を増やして欲しい。特に人が多い場所です。
京橋だけではなく多くの子供たちが通学路として利用している都島駅周辺も路上喫煙禁止にしてほしい。毎朝、タバコの煙がマスクにつき匂いがこびりついています。
赤信号でわたろうとした際に突っ込んでくる車が多いのでとても怖いです。
都島区、本通り辺りの裏道などで一時停止のところを一時停止しないマナー違反の車を良く見かけます。あと、スピード違反だったり。こういうのはどうしたら見直して頂けるのでしょうか。
ポスターの提示等はたくさんされていて有効だと思う。とにかく防犯カメラを公園に設置して欲しい。防犯被害にあったので。

医療センター前の公園をよく通過する。看板には喫煙禁止と書かれているが多数喫煙している。先日ベビーカーを押して病院に行く為通過するとタバコの煙をすれ違いざまに吹き掛けれられた。なんとかしてくれませんか。あと小学生の自転車のマナーが悪すぎる。
そもそものマナーがなってない為にいくら向上を目指してもなにもなっていない。まずは自転車の並走、ながら運転等を警察と連携して厳しく取り締めるべき、危険運転が多い為歩道を歩いているだけでも危険を感じて危ないのは大阪がダントツ！
飲食店の店前の清掃をするようにしてほしい、ゴミの散乱や道路の汚れなど不潔なので。
警察官の方が人を見てタメロを使って話しているのをよく見るし私もタメロで話しかけられました。市民を律する立場の方がマナーが悪いことが全ての努力を水の泡にしていると思います。そして、その結果がこの街の汚さを実際に表していると思います。よろしくお願いします。
より多くの防犯カメラを設置したいです。
路上喫煙禁止エリアでの取り締まりを強化して欲しいです。コロナが落ちついても赤ちゃんを連れて出かけられないです。赤ちゃんの検診日を増やして欲しい。
車両通行禁止エリアなどの場所に標識や看板などが無くわかりづらい。にもかかわらず取締りをして反則切符をきっている。もっと通行者にも車両にもわかりやすくして頂きたい。
･音のうるさいバイクの取り締まり、同じ人間がいつも走っている。・一方通行が多いのに逆送している車が多い。
自転車についての掲載が多いが自動車のマナー違反も多いと感じる。携帯ニュース等で変質者の報告が定期的にあるのでその辺も改善してほしい。引越しの多い単身者はハザード情報を入手する意識が低いと思うのでマンション等と連携して情報提供をしてもらえると助かる。
近くによく粗大ゴミが設置される場所がある。ダミーでもいいから防犯カメラをつけてほしいと思います。
たばこのマナーについて。路上喫煙がひどい状況だと思います。地下鉄を利用していますが、駅から上がった瞬間からたばこに火をつける吸う人でいっぱいです。正直目に見える煙よりにおいがだめなので喫煙者には理解されにくいと思います。もっと厳しく取り締まってもいいと考えます。たばこは危ないしくさいし最悪です。
たばこの禁止地区などマナーが悪い人が多いのでどうにかして欲しい。あと、夜中に暴走族なのかわかりませんが土佐堀通りを走っているバイクなど注意して欲しい。
路上喫煙禁止地区において喫煙者をかなり見かけるので今の対策に加えてなにかできないか？
マナーについて・・・自転車の利用率が多く自転車の交通ルールやマナーについて大人も子供も共に確認し学びなおす機会があればいいと思う。路上駐車を選らす為、店舗が連なっている区域に時間制限駐車区間等を設けたりパーキングメーターがあると意識が持ちやすいのではないか。
自転車の違法駐輪がとても多いので困ります。歩道をふさいでいて歩きにくいし危ないです。もっと取り締まりを強化して欲しいです。

広報誌・ホームページ・SNS（22件）
高齢者へ何か発信するのなら、SNSを見ない見れない方もいるので原始的なやり方の方がいいと思います。
SNSを利用した子どもたちへの発信力が足りないと思う。予算をつけてでも、興味関心が湧くTwitterや Facebookにしてほしいし、今はInstagramの時代。やることはまだまだある。
SNSや動画配信サイトの活用はいいと思うけど、結局棒読みの面白くないものになると思う。 やらないよりはマシという感じ。
読んでもあまりいいことがない デザインが見にくい
昔と今の町の違いを写真で掲載してたのは面白かったです。
広報誌は身近な話題が多く、いつもよく読むようにしています。 子どもの登下校の見守り活動は、自身の子どもはもう大きいですが、いつもありがたいなと思っています
広報誌をめったに読むことが無かったのでもう少したまには見ようと思いました。
もう少しわかりやすい情報の提供の仕方をして頂きたいです。
自分の親も含め高齢の方は文字が小さいと読むのが「おっくう」なようです。意識の高い方は情報誌など利用されるでしょうが、あまり区政に興味の無い方への啓発につとめてほしい。冊子を配るだけではゴミ箱に直行ということも多いのでは？家にこもりがちな方や細かい文字を読むのがハードル高い方にもっと働きかけてほしいです。配るときに工夫するとか古紙利用するというふれこみで、冊子を集積所へまとめてもって来てくれた方にポイント付与するとか。
広報誌は毎月かかさず読んでいます。子供がまだ乳児のころは特に子育ての分野で大変お世話になりました。これからも都島区の魅力をどんどん伝えてもらえたらと思います。
区役所のネットが非常にわかりづらく、第一子を出産し、都島に引っ越してきた際に色々な情報を知りたかったがわかりづらく何も得られなかった。ユーザーのことを考えたページづくりをしてほしい。
中央区では区民だよりが郵便受けに届けてありますが都島区は区民だよりはないのでしょうか？
インターネット回答用のQRコードが使えませんでした。
役所に行くことがほぼない企業で働いている者にとっては広報「みやこじま」だけが情報のたよりである。これは続けて欲しいと思います。
広報誌は毎月楽しく読んでいます。楽しく読めているということはページ数もちょうどいいと感じますが「もっと気になるなあ」「知りたいなあ」と思うジャンルには個人差があると思います。ページ数を増やさず個人の「知りたい」に応えるためにもっと知りたい方はコチラとQRコードを貼ってみるのはどうでしょう？そこから飛んできたPV数等の可視化すれば区民の興味関心のあることも見えてくると思います！
いつも大変お世話になり感謝しております。日々の生活でいっぱいなため区役所の方々の大変さなど見えていないと感じます。そんな中広報誌は毎度楽しく拝見しております。都島区民のためにいろいろ活動くださり本当にありがとうございます。
広報誌の件。私の住むマンションでは配布のたびにポストの横のゴミ箱に大量に入っています。部屋に持ち込まずに捨てられているのでそれを見るたびに紙や印刷代がもったいないと思います。いる人いらない人の判断も難しいこともわかりますが時代の流れと共にアプリ等への変更を望みます。資源も税金も無駄にしないでいただきたいです。
様々な啓豪活動をされているようですが街中を歩いていてそれを感じたことは残念ながらありません。市民自らが情報を取りに行かないとたどりつかないのが正直なところかなと思います。
率直に何を知っているのか全く知らない。アピール力を高めて欲しいです。

広報的なことをしているとあまり思わない。していないというよりはうまく伝わっていないように思う。もったいないと思う。
テレビやニュース、ネットニュースなどではなかなか全ての情報を取得しきれないので広報誌のインフォメーションは特に助かっています。いつも有難う御座います。
都島区役所近く、図書館の建物前で連日夜に複数の女性が集まって猫にエサをあげています。高齢の女性で注意しにくいのですが迷惑に感じています。区役所の取り組みについては広報を参考にしております。ありがとうございます。

職員の対応窓口サービスについて（6件）
区役所の待ち時間が長いです。ANAやJALのダイヤモンド会員優先レーンのようなものを作ってほしいです。税金をたくさん払っている人と払っていない人の待ち時間が平等なのは不満です。時間の価値が違います。
台風の災害の後、危険な箇所を連絡したら担当の方が来てすぐ確認してくれ安心出来ました。小学生の子供の防災に関するまとめ学習で区役所の防災マップも使わせてもらったがわかりやすくまとめられていた。避難用鞄に入れておけるハンドサイズの避難場所や公衆電話の使い方など書いた冊子があれば子供に持たせたいと思う。
区役所の窓口の皆さんもいつも丁寧にご対応くださってありがたいです。図書館も使いやすく気に入っています。友達にも住むのにお勧めできるいいところだと思います。いつもありがとうございます。
他の区に住んでいたとき、区役所に行くたび嫌な思いをしていたが、都島区役所では皆さん優しく丁寧に対応してくださいます。大変なことも多いと思いますがよくやってくださってありがとうございます。
コロナでみんな大変だと思いますが、がんばってください。引越しの時期になったので手続きがたくさんあると思います。丁寧に対応して頂けたのでまた安心して手続きにいけます。今年、異動かどうかわかりませんが、またその際はよろしくお願いします。
身内の手続きで障害福祉に関する課に訪問させていただきましたが、窓口対応の方はとても親切に教えて頂きとても気持ちよかったです。どうもありがとうございました。お仕事がんばってください。

市政区政について（15件）
区民の意見（特に苦情）の対応状況を公開してほしい。
電話がいつもつながりにくい。
どの啓発活動も何をしているのかよくわからないものが多いと感じた。フェイスブック、ツイッターは使っていない人も多いのでLINE公式等で配信して頂けるほうが目に入ってくると思う。
①落し物を探したけれどどこに連絡すればいいのかわからない。②避難所をわかりやすくお知らせなどをして欲しいです。宜しくお願いします。
あまりどういうことをやってくれているのか正直何もわからない。
保育園児がいる共働き家庭です。1月4日出勤なのに保育園が1月5日からで認可外保育園も見つかりませんでした。官庁など市役所も4月出なのに4日を保育園を休園されるととても困ります。また年度内にトイレットペーパー、ティッシュボックス、ゴミ袋、雑巾の原物徴収があり、保育園が要求する物品予算を通して欲しい。保育園の物品を保護者が肩代わりするのはおかしいと思う。子育て支援として保育料を無償化するのなら物品予算を通してください。
税金を使って、各教室が開かれているが一部のグループの私物化。新しい人が入りにくいし、入っても居心地が悪くてやめたと聞く。いつも同じ人が何年も固定されている時は、実情を知る必要が有るのでは。
住民、大阪市民への還元がもっとあれば嬉しいなと思います。（地域クーポンなど）
税金が高いので少しでも減税して頂きたいです。
子育て支援センターの予約について、インターネットから手軽に申込ができるようにしてほしいです。つどいの広場で参加したい講座があっても予約数が少なく参加できないのでもったいないと思う。コロナ対策は必要だと思うが、講座の回数を増やすなどしてほしいです。

環状線の桜ノ宮駅から天満駅へ進む際の川沿いに苗を育てる場所？が何年前からあるけど電車から見下ろすとせっかくのきれいな自然がホームレスの移住地のようにみえて本当にもったいないと通るたびに思う。何でだれが一番目立ついい場所にそのような設置を許可したのか本当に都島区の美観を考えてないとしか思えない。
子供が安心して過ごせる街づくりを期待しています。
こちらでいう意見ではないかもしれませんが友ぶち小はマンモスすぎて動きずらそうですし画一的な指導になるしかない気がします。分散するなど出来たらよいのではと思います。あと子供のころから区役所や区役所が行っていることをしって子供たちが自分の住んでいる地域に自然と興味を持てるよう、区役所訪問や出前講座などしていただきたいです！
公助の内訳を指し示して自助の能力アップにつながらないかと思っている。
地道な活動も多いと思いますがこつこつと続けて欲しいです。

区民アンケートについて（3件）
アンケートが長すぎる。 必須ばかり。
このようなアンケートがそもそも無駄です。あまりにも視野が狭くて「知りたい、考えて欲しい」がふりわけられた項目もありませんでした。
問11,13,14,16に関しても選択肢に「分からない・知らない」等を入れて欲しかったです。

その他（8件）
都島区役所や図書館を綺麗にしてください。 図書館を利用したいが、椅子やテーブルが少なく、いつも利用できません。 また、他の市の図書館と比べても汚いです。
１歳の子供がいますが、都島区図書館の雰囲気、選書が少し残念です。改善されると嬉しい。
図書館の情報など、新刊や新しく入荷した絵本や本の情報。
児童遊園で子供がやわらかいボールで２ｍほどの距離のキャッチボールくらい許して欲しい。そんなことも禁止されているから大阪の子の体力が低下している。管理者もしゃしゃり出てきて偉そうにするな。ゲートボールもボール遊びではないか。高齢者は良くて、なぜ子どもはだめなのか。
新型コロナウイルスの感染症の影響が無いマスクのいらない状態に早く戻って欲しい。
もっと融通を利かせる
都島の駐輪場を利用しています。D区画全て同じ料金なのにママチャリはコチラと看板があります。なぜ同じ料金でそのような指示があるのですか？ママチャリと定義とは？後ろにイスがあるor電動で大きなイスがあるものなど。その場所は駅から遠いです。不満です。
いつも街のことを考えてくださりありがとうございます。おかげさまで安心して暮らせています。

※原則として、ご記入頂いた内容をそのまま反映しています。

【お問合せ先】都島区役所総務課（政策企画）〒534-8501 都島区中野町2-16-20
電話：06-6882-9989 ファックス：06-6882-9787